



SVC100/500

ユーザーマニュアル



米連邦通信委員会声明(CLASS A)



本装置は米連邦通信委員会(FCC)規則第 15 部に準拠しています。本装置の操作は以下の 2 つの条件を前提としています: (1) 本装置は有害な障害を引き起こさないこと、(2) 本装置は好ましくない操作結果を引き起こす可能性のある電波障害を含め、いかなる電波障害も容認しなければならない。

FCC 適合宣言

注意— この機器はテストされ、FCC 規則第 15 部に基づくクラスAに準拠することが確認されています。これらの制限は、住居に設置した場合の有害な電波障害に対する適正な保護を提供することを目的としたものです。この機器は無線周波エネルギーを生成、使用、放射する可能性があり、取り扱い説明書の記載どおりに設置、使用しない場合には、無線通信に有害な電波障害を引き起こす可能性があります。ただし、特定の設置方法において電波障害が発生しないという保証はありません。この機器の電源をオン/オフに切り替えることにより、この機器が無線またはテレビの受信に有害な電波障害を引き起こしたことが確認された場合は、電波障害を修正するために次の対処方法のうちいくつかをお試しください:

- 受信アンテナの向きや設置場所を変える。
- この機器を受信機から離す。
- 受信機が接続されている回路とは別の回路にコンセントを接続する。
- 販売店または無線機/テレビに熟達した技術者に相談する。

CLASS A ITE

Class A ITE は、Class B ITE の限度値を満足せず、Class A ITE の限度値を満足する上記以外のITE です。それらの装置の販売は制限されませんが、使用に関しては以下の警告に留意する必要があります。

警告— これはClass A 製品です。本製品を室内で使用すると無線干渉を引き起こすことがあり、使用者には適切な手段を講じるよう求められることがあります。

CE CLASS A (EMC)



本製品は電磁気両立性指令2014/30/EU に関する加盟諸国の法律の近似化の議会指令で制定された条件に適合していることが確認されています。

警告— これはClass A 製品です。本製品を室内で使用すると無線干渉を引き起こすことがあり、使用者にはこの干渉を解消する適切な手段を講じる

よう求められることがあります。

免責事項

本書に記載された内容、品質、性能、商品性、特定の目的に対する適合性については、明示的にも暗示的にも、いかなる保証または表明もいたしません。本書に記載された情報については十分に信頼性が確認されていますが、記載内容の誤りについては、一切責任を負いません。本書に記載された情報は予告なしに変更される場合があります。いかなる場合も、アバー・インフォメーション株式会社は、本製品または本書の使用あるいは使用できないことに起因する直接的損害、間接的損害、特別損害、偶発的損害、派生的損害について、そのような損害の可能性について告知されていた場合でも、一切責任を負いません。

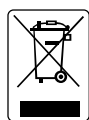
商標

AVer は AVer Information, Inc.の登録商標です。

著作権

© 2017 by AVer Information Inc. 著作権を所有します。本書のいかなる部分も、AVer Information Inc. 及び アバー・インフォメーション株式会社から事前に文書による許諾を得ることなく、いかなる方法によっても無断で複製、送信、複写、翻訳、情報検索システムへの保管、翻訳することは禁止されています。

この装置は、クラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。VCCI-A



ゴミ箱のマークは他の家庭用廃棄物と一緒に本製品を廃棄してはならないことを示しています。むしろ、不要になった電気および電子装置をリサイクルのために指定された集積場に持参して、不要な装置を廃棄する必要があります。リサイクルするために不要な装置を廃棄する場所に関する詳しい情報については、家庭用廃棄物処理サービスセンターまたは製品を購入した販売店にお問い合わせください。

目次

はじめに	1
主な特徴	1
パッケージ同梱物	2
製品概要	3
SVC シリーズの基本構成	3
コーデック本体	3
付属マイク	4
付属 PTZ カメラ	4
リモコン	6
インストール	7
モニターとの接続 (HDMI 出力)	7
PTZ カメラとの接続 (カメラ入力)	8
セカンドカメラの接続 (HDMI 入力)	9
マイクケーブルの接続 (マイク入力)	9
LAN ケーブルの接続 (RJ-45)	10
電源アダプターの接続 (DC 12V)	10
画面を共有するパソコンとの接続 (HDMI 入力または DVI 入力)	11
音声の接続 (音声入力/出力)	11
USB ストレージ (USB ポート)	12
マイク用ケーブル固定コネクタの取付手順	13
カメラとマイク	14
カメラの設置	14
赤外線リモコンによる操作	14
マイクの配置	15
AVER SVC ウィザード セットアップ	16
起動	16
言語	17
サイト名	17
ネットワーク設定	17
ローカル IP 設定 (ファイアウォール外部とポート転送):	18
SIP 設定	20
AVER SVC の操作	23
基本操作	23
メニュー画面	23
カメラアイコンとマイク アイコン	24
WAN アドレス	24
現在時刻	24
システム情報	25
ダイヤル	26
通話を終了する	27
ビデオレイアウト	28
電話帳	29
グループ化	29
連絡先リスト	38
Skype for Business の連絡先	38

オンライン電話帳	38
お気に入り	39
通話履歴	40
設定	42
通話設定	42
システム設定	45
モニター	51
日時	52
システムの初期化	54
ライセンス	55
既定のレイアウト	56
ビデオ/オーディオ	57
カメラ	57
2nd カメラ設定	60
マイク	61
ビデオ/音声 コーデック	64
ビデオ、ファイル共有および音声コーデックを設定します。	64
ネットワーク	65
LAN 構成	65
IPv6	68
802.1x と VLAN 設定	69
SIP	72
SIP サーバー	75
ゲートキーパー	80
Skype for Business のセットアップ	83
RTMP	84
テスト ユーティリティ	85
WEB 管理ツール	87
Web 管理ツールの使用	87
電話帳の管理	90
編集と保存	90
電話帳エントリのアップロード	91
通話履歴をダウンロード	91
通話履歴をダウンロードします。	91
LDAP 設定	92
オンライン電話帳	92
ファイルのアップロード設定 (グループコール のみ)	93
一般設定	94
録画機能オン/オフ	94
ファイル共有とビデオ通話の帯域幅調整	94
システムのアップデート	95
EZ Join	96
ロゴアイコンと起動アニメの変更	97
トラブルシューティング	98
音声	98
ビデオ/表示	98
ネットワーク	99
その他	101

LAN 接続のシナリオ	102
パブリック IP 設定（ファイアウォール外部）.....	102
ローカル IP 設定（ファイアウォール外部とポート転送）.....	103
H.460 ゲートキーパーとファイアウォール トラバーサル.....	104
リモコンの電池に関する安全上の注意.....	106
保証について	106
保証の制限.....	106
保証の放棄.....	107
責任の限定.....	107
準拠法と使用者の権利.....	107

はじめに

ビデオ会議システム SVC シリーズをご利用いただき、誠にありがとうございます。

SVC シリーズはシルバーを基調とした省スペースデザインを採用しました。

接続方式は従来の H.323、SIP 接続に加え、新たに Skype for Business との互換接続に対応します。

H.323・SIP・Skype for Business の 4 プロトコル同時通話により柔軟な拠点構成でビデオ会議を行うことができます。

主な特徴

- ▶ SVC100→単拠点モデル SVC500→6 拠点モデル
- ▶ ライセンスアップグレードにより、最大接続数を 16 拠点まで拡張可能
- ▶ H.323、SIP 標準、SIP TLS、Microsoft Lync 2013、Skype for Business 2015 に対応
- ▶ H.323、SIP、Lync 2013、Skype for Business 2015 での同時通話が可能です。
- ▶ RTMP プロトコルに対応、RTMP 方式のライブ配信にご利用いただけます。
- ▶ デュアルカメラによる 2 つのカメラ映像同時出力に対応
- ▶ 60fps のコンテンツ共用に対応(送受信) ※DVI-I または RGB からコンテンツを送信
- ▶ デュアルディスプレイ表示対応
- ▶ CIF (352x240) から Full HD (1920x1080 60fps)までのビデオ解像度に対応
- ▶ 2 メガピクセル CMOS センサー搭載・最大 18 倍ズーム(光学 12 倍・デジタル 1.5 倍)
- ▶ SVC 専用マイク(最大 4 個まで連結可能)
- ▶ 10/100 と Gigabit イーサネットに対応;通信帯域 64Kbps~4Mbps
- ▶ IPv4/IPv6 and Wake-on-LAN (WOL)対応
- ▶ メニュー画面は 22 の言語をサポート
- ▶ 電話帳のダウンロード・アップロード・編集
- ▶ 通話履歴のエクスポート・お気に入り設定
- ▶ NAT/ファイアウォールトラサージ (H.460)対応
- ▶ G.722.1C*ワイドバンド対応
- ▶ Telnet 経由での API をサポート
- ▶ セキュア通信はデータ暗号化 AES-128 採用
- ▶ 録画用 32GB 内蔵メモリを搭載

*G.722.1/G.722.1C Polycom®よりライセンス付与

パッケージ同梱物

パッケージには以下の内容が同梱されています。

本製品を使用する前にすべての付属品が同梱されていることを確認してください。



- | | |
|-------------------|-------------------------|
| 1. コーデック本体 | 10. HDMI ケーブル x 2(1.5m) |
| 2. PTZ カメラ | 11. カメラケーブル(3m) |
| 3. マイク | 12. RJ-45 ケーブル(3m) |
| 4. リモコン(電池付属) | 13. 保証書 |
| 5. 電源アダプタ(1.3m) | 14. クイック設定ガイド |
| 6. 電源コード(1.8m) | 15. 接続端子参考シール |
| 7. RGB ケーブル(1.8m) | 16. マイクケーブル固定コネクタ |
| 8. DVI-RGB 変換コネクタ | |
| 9. マイクケーブル(5m) | |

➤ 電源コードは、販売国の標準電源出力によって異なります。

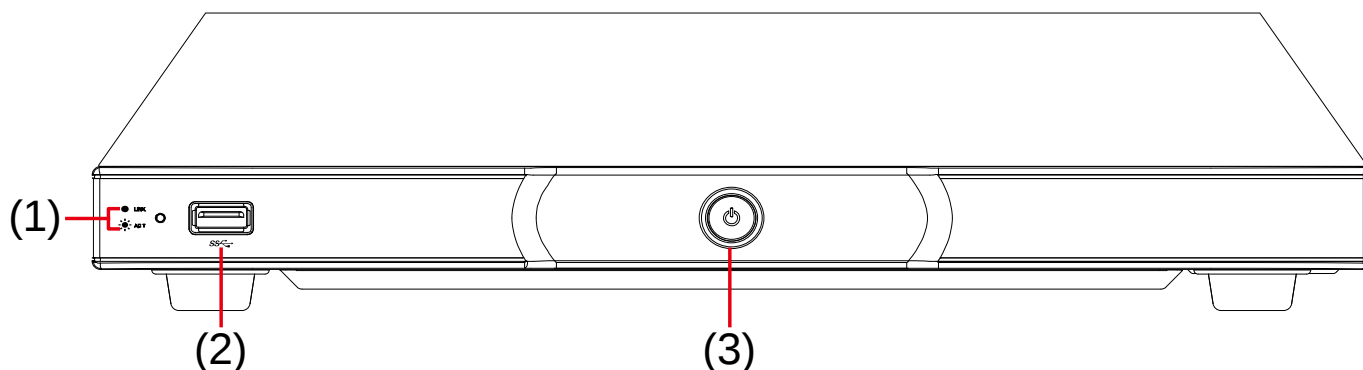
製品概要

SVC シリーズの基本構成

テレビ会議システム SVC シリーズは主にコーデック本体・マイク・カメラ・リモコンで構成されています。

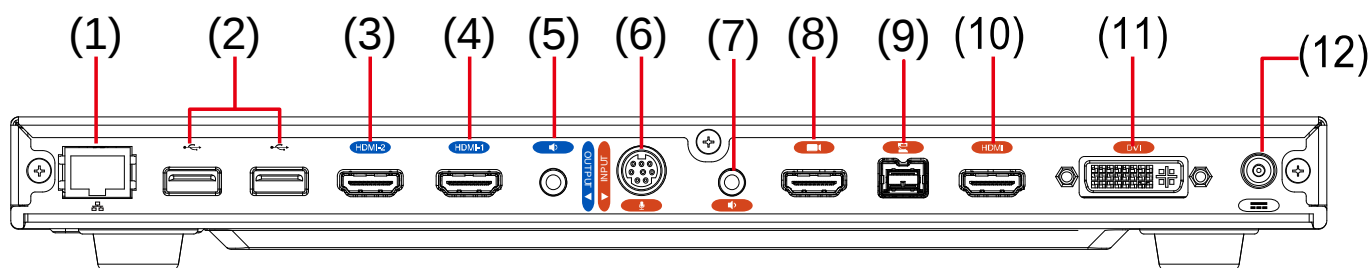
コーデック本体

フロント パネル:



名称	機能
(1) LED インジケーター	LAN 接続のステータスを示します。 1. LED 緑点灯: LAN へ正常に接続されています 2. LED 緑点滅: 通信中
(2) USB ポート	システムログの保存とファームウェア更新時に使用する USB メモリを接続するために使用します。
(3) 電源ボタン	このボタンを押してコーデック本体の電源をオンまたはオフにします。 赤点灯: 電源オフの状態 青点灯: 電源オンの状態

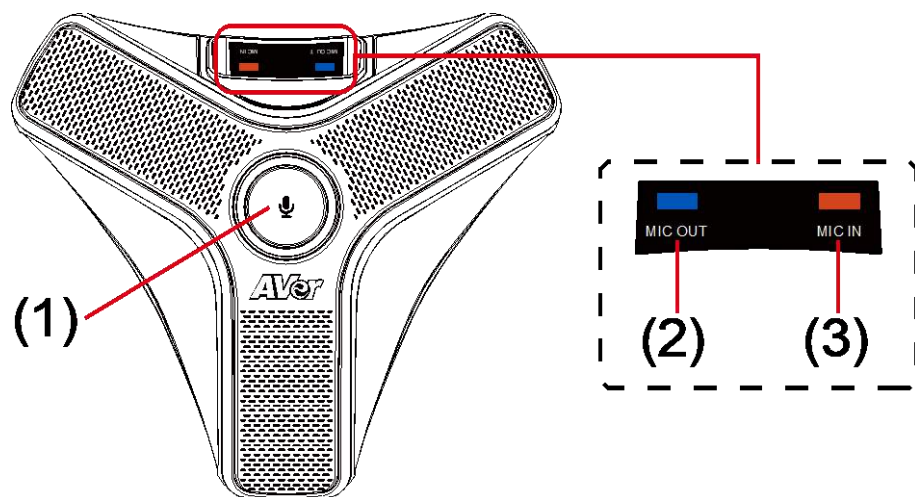
背面パネル:



名称	機能
(1) LAN ポート	RJ-45 ケーブルを使用し、使用するネットワークの LAN ポートと接続します。
(2) USB ポート	システムログ保存・FW 更新時、USB メモリを接続するために使用します。
(3) HDMI 出力端子-2	この HDMI ポートは出力端子です。 モニターと HDMI ケーブルで接続すると、モニターに映像・音声が出力されます。 デュアルモニタ出力時、HDMI-2 は自動的に入力された映像を出力します。

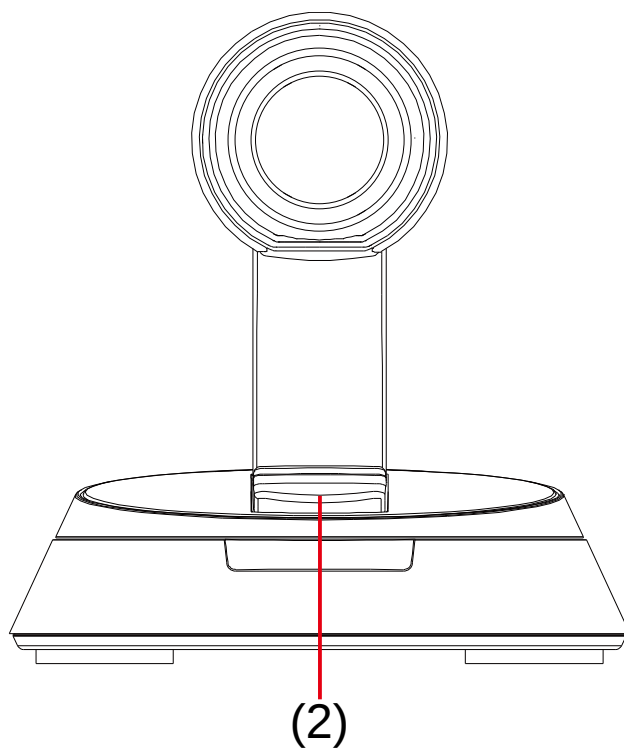
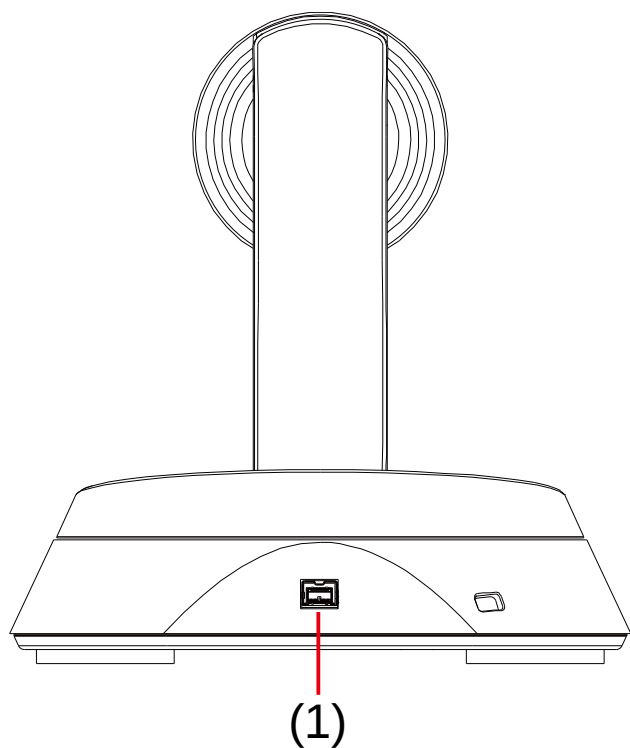
名称	機能
(4) HDMI 出力端子-1	この HDMI ポートは出力端子です。 モニターと HDMI ケーブルで接続すると、モニターに映像・音声出力されます。 デュアルモニタ出力時、HDMI-1 はメインモニタの映像を出力します。
(5) 音声出力 (3.5m ステレオミニプラグ)	外部スピーカーまたはアンプを接続し、テレビ会議の音声出力します。
(6) マイク音声入力	専用 MIC ケーブルを接続し、専用マイクからのマイク信号を入力します。
(7) 音声入力 (3.5m ステレオミニプラグ)	音声ケーブルを使用し、外部の音声ソースから音声信号を入力します。
(8)2nd カメラ用 HDMI 入力端子	HDMI ケーブルを使用し、2nd カメラを接続します。
(9) カメラ入力端子	カメラケーブルを使用し、カメラをコーデック本体と接続します。
(10) HDMI 入力端子	HDMI ケーブルを使用し、パソコンなどの外部 HDMI 出力機器を接続します。
(11) DVI 入力端子	付属 DVI-RGB 変換コネクタを使用し、パソコン等の RGB 出力機器を接続します。
(12) 電源ポート	付属電源アダプタを接続します。 電源コード側はコンセントに接続してください。

付属マイク



名称	機能
(1) ミュートボタン	マイクのミュート(消音)を切り換えます。 青:ミュートオフ、赤:ミュートオン
(2) マイク出力端子(青)	付属マイクから集音した音声を本体へ出力します。 1個目のマイクケーブルは、この端子に接続してください。
(3) マイク入力端子(赤)	増設マイクから集音した音声を入力します。 増設するマイクのマイクケーブルを、この端子に接続してください。

付属PTZカメラ



名称	機能
(1) カメラ映像出力端子	付属カメラケーブルを使用し、本体とカメラを接続します。
(2) 赤外線受光部	リモコン操作の信号を受信します。 リモコン操作信号受信時、青色ライトが点滅します。

リモコン

リモコンには単4電池が2個必要です。

メニュー画面・カメラ操作時はリモコンをカメラの赤外線受光部へ向けて操作を行います。

※リモコンを使用する前に、電池が正しく挿入されていることを確認してください。

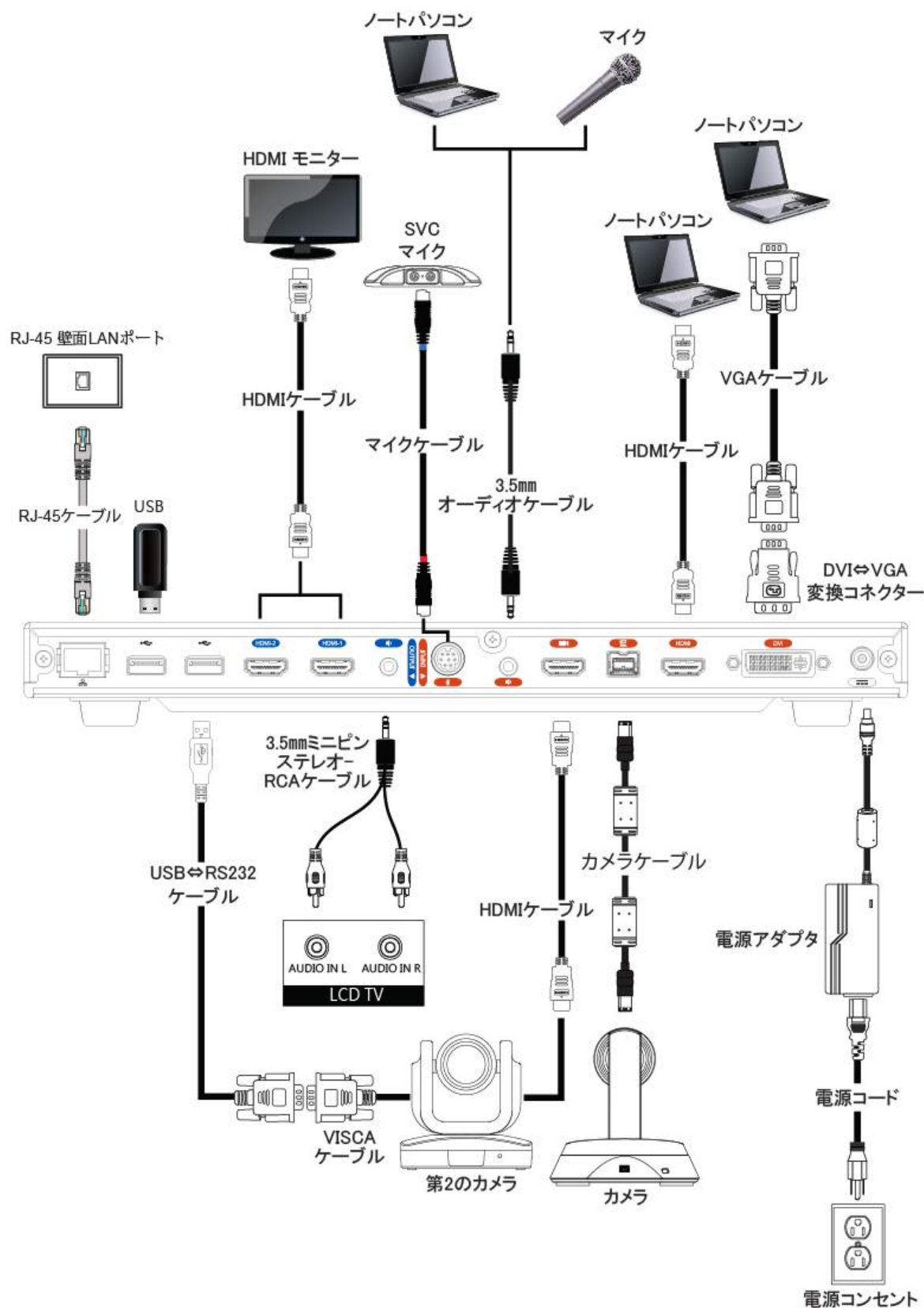


インストール

下図配線図を参考に各周辺機器との配線・セットアップを行います。

※接続を行う前に、すべての機器が電源オフになっていることを確認してください。

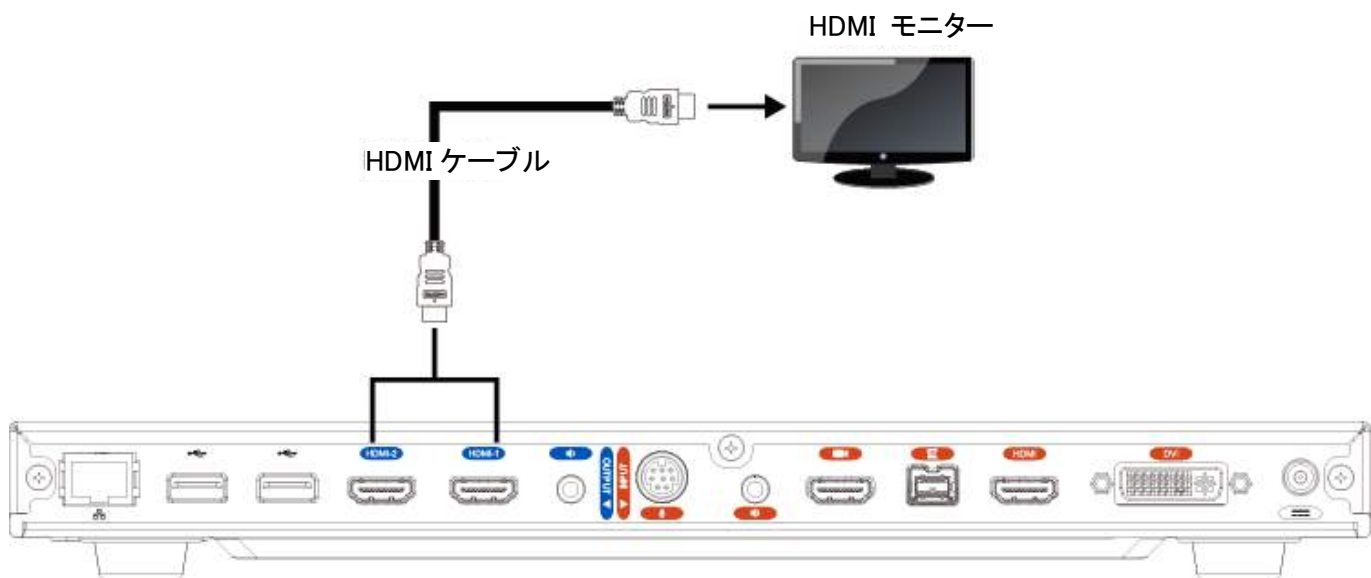
※SVC に接続する周辺機器のユーザーマニュアルも併せてご参照下さい。



➤ SVC 本体の起動前に、すべての機器が正常に接続されていることを確認してください。

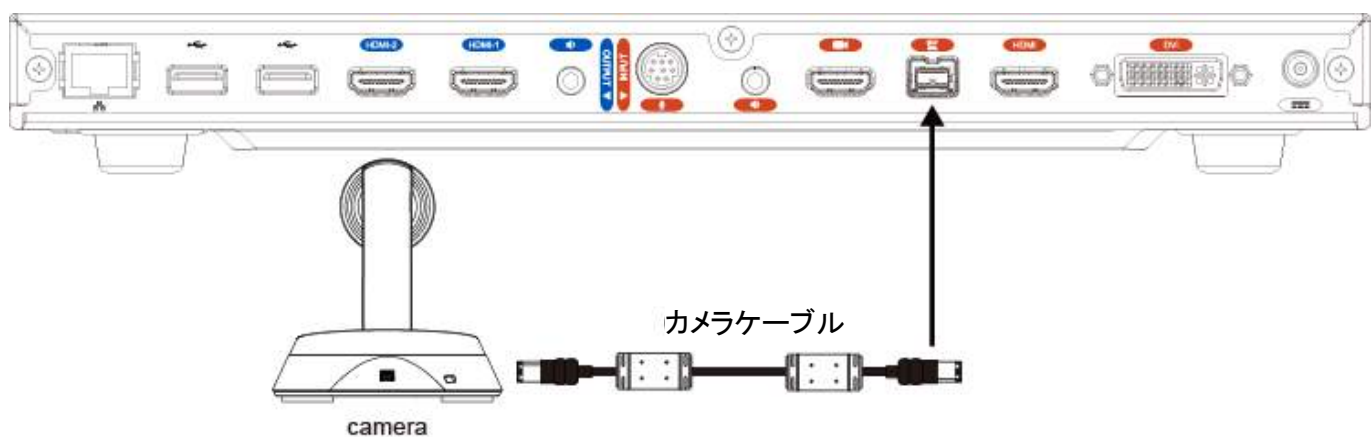
モニターとの接続 (HDMI 出力)

HDMI ケーブルを使用し、使用するモニターと本体背面の HDMI 出力端子を接続します。
デュアルモニター構成では HDMI 出力 1 と HDMI 出力 2 の 2 系統が同時に出力されます。



PTZ カメラとの接続 (カメラ入力)

付属カメラケーブルを使用し、本体背面の「カメラ入力端子」と「PTZ カメラ側の端子」を接続します。

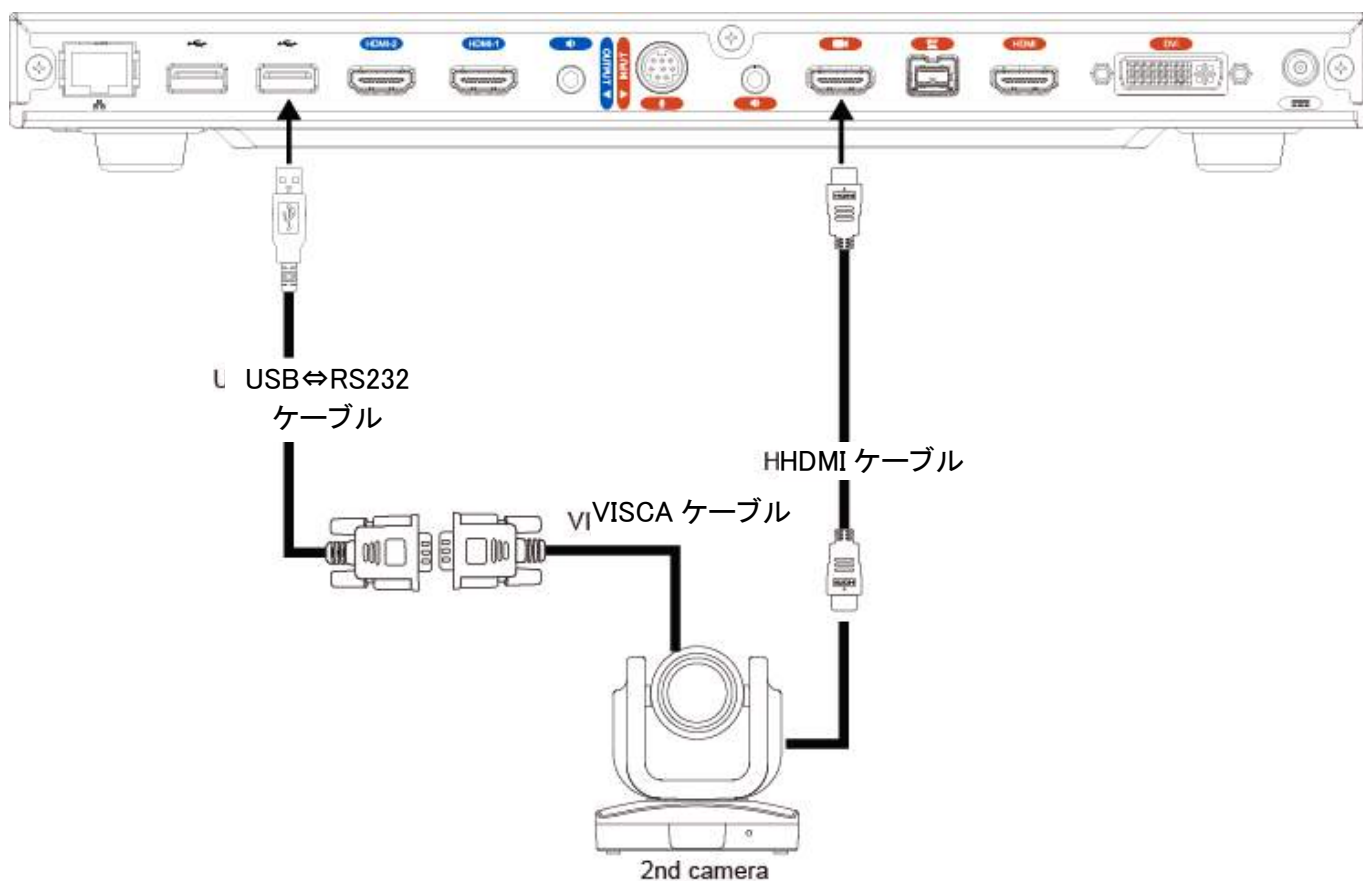


セカンドカメラの接続 (HDMI 入力)

HDMI ケーブルを使用し、HDMI カメラと SVC 本体の HDMI 入力端子に接続します。

※2nd カメラを制御する場合、USB-RS232 変換ケーブルと VISCA ケーブルが必要です。

※USB-RS232 変換ケーブルと VISCA ケーブルはお客様にてご用意ください。



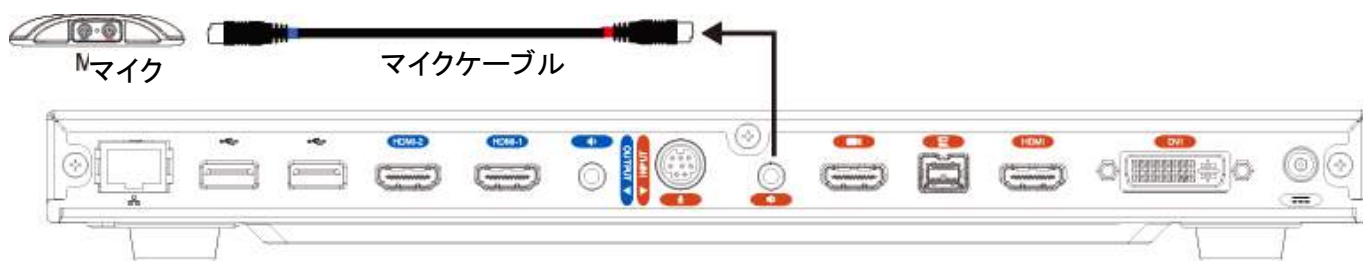
マイクケーブルの接続 (マイク入力)

付属マイクケーブル使用し、マイクと SVC 本体を接続します。

「ケーブル赤色コネクタ側を SVC 本体のマイク入力端子」に、

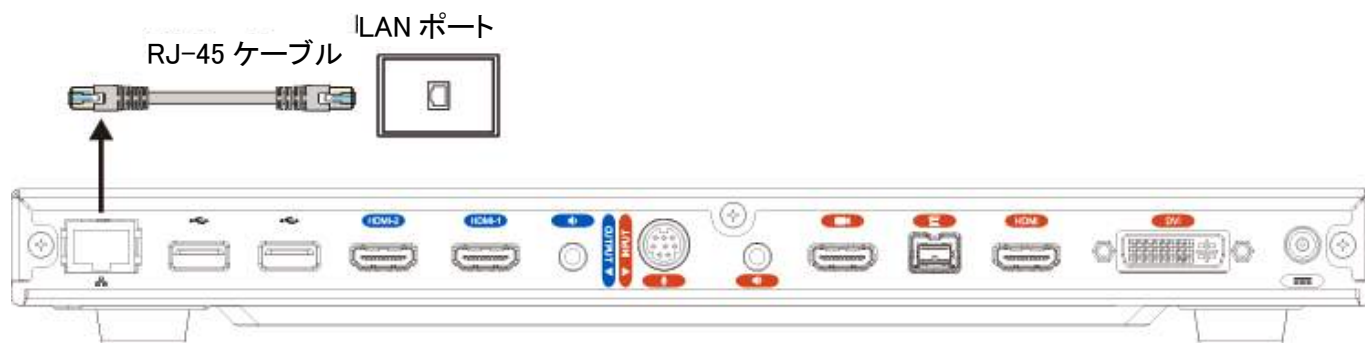
「ケーブル青色コネクタ側をマイクの青色の端子」に接続します。

➤ マイクケーブルとマイク端子の色に従い各ケーブルと端子を接続してください。(赤と赤・青と青同士)



LAN ケーブルの接続 (RJ-45)

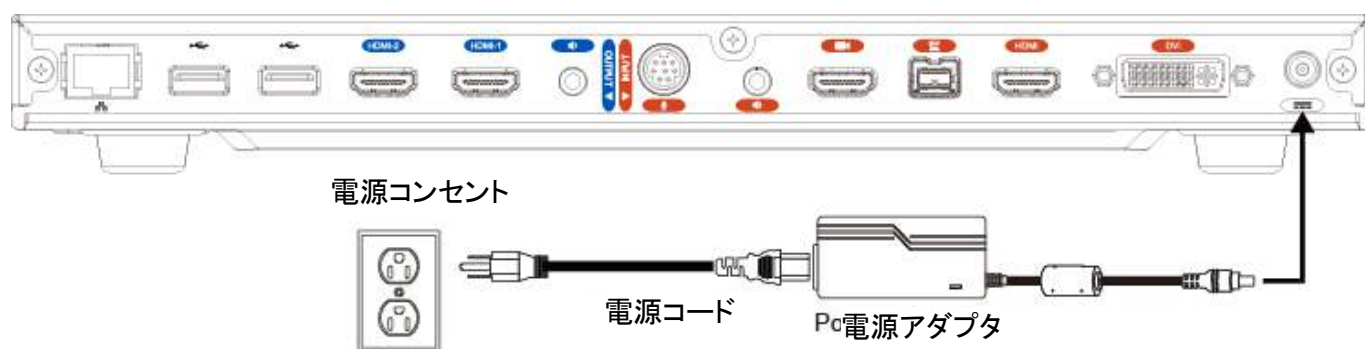
LAN ケーブルを使用し、SVC 本体 LAN ポートと、テレビ会議を使用するネットワークに繋がる LAN ポートを接続します。 ※LAN 接続には IP ネットワークが必要です。



電源アダプターの接続 (DC 12V)

付属電源アダプターと電源コードを使用し、100V ～ 240V AC 電源コンセントに接続します。

- 感電防止のため、すべての接続が正常に完了していることを確認した後、電源ケーブルを接続して電源を入れてください。
- 必ず付属の純正電源アダプター・電源コードを使用してください。



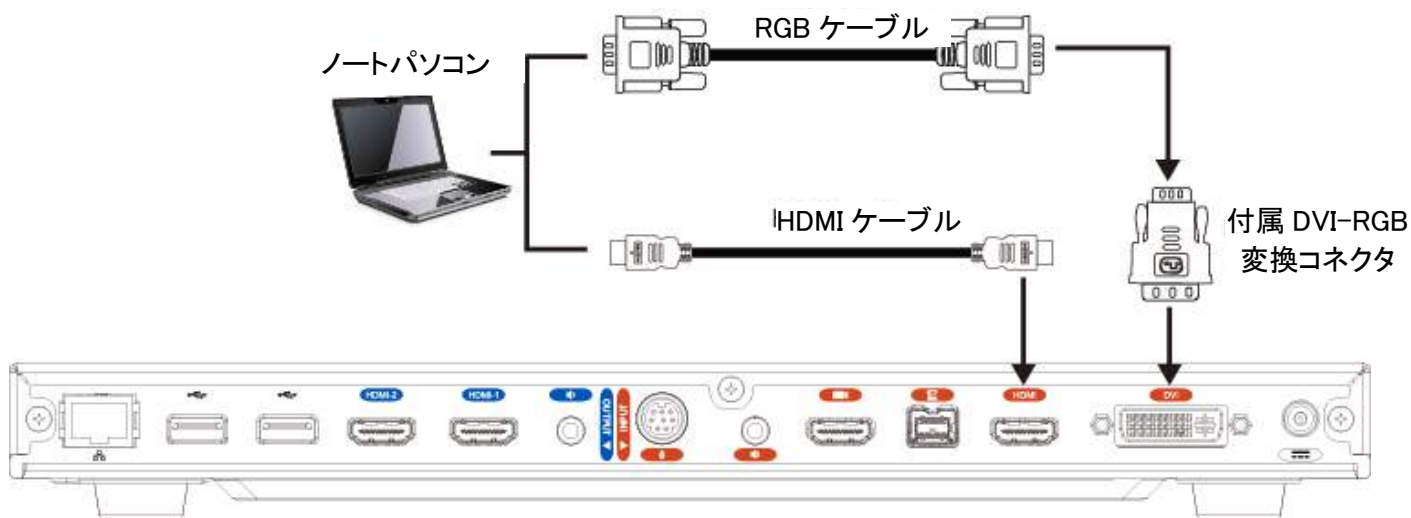
画面を共有するパソコンとの接続 (HDMI 入力または DVI 入力)

HDMI ケーブルを使用し、画面を共有するパソコンの HDMI 出力端子とコーデック本体の HDMI 入力端子を接続、テレビ会議上で画面共有を行います。

※パソコンの出力端子が RGB 出力の場合、

付属 DVI-RGB コネクタを使用し RGB ケーブルでノートパソコンの RGB ポートに接続します。

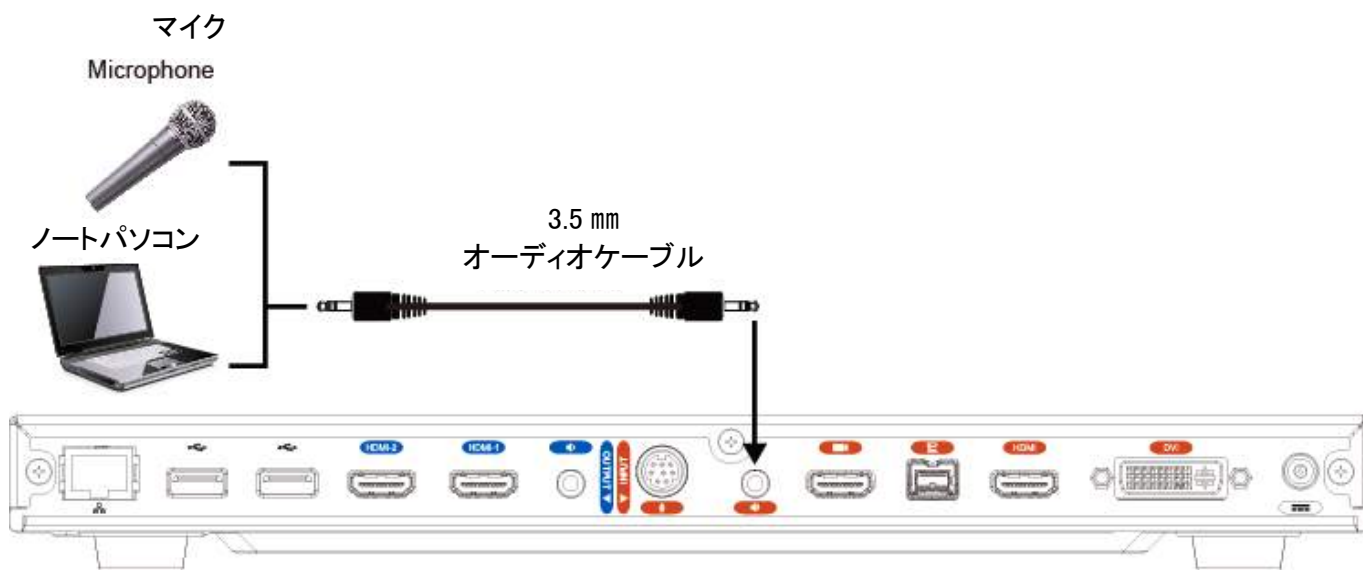
- ノートパソコンからのビデオ信号を共有するには、[画面共有] を押して「HDMI」または「DVI」ソースを選択します。



音声の接続 (音声入力/出力)

音声入力:

パソコンの音声出力端子(ステレオミニ)と、オーディオケーブルを使用し、マイクやパソコン等の音声信号をコーデック本体に入力します。

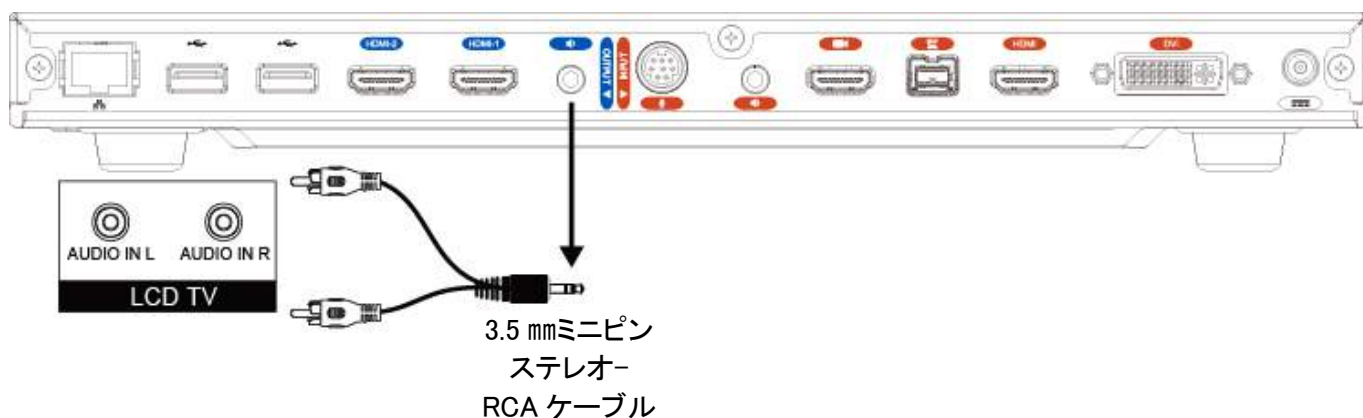


音声出力:

音声出力に使用するテレビ、またはモニターの音声入力端子と接続します。

3.5mm ステレオミニ端子を直接接続、

または市販の RCA 変換ケーブルを使用しテレビまたはモニターのスピーカーに音声を出力します。

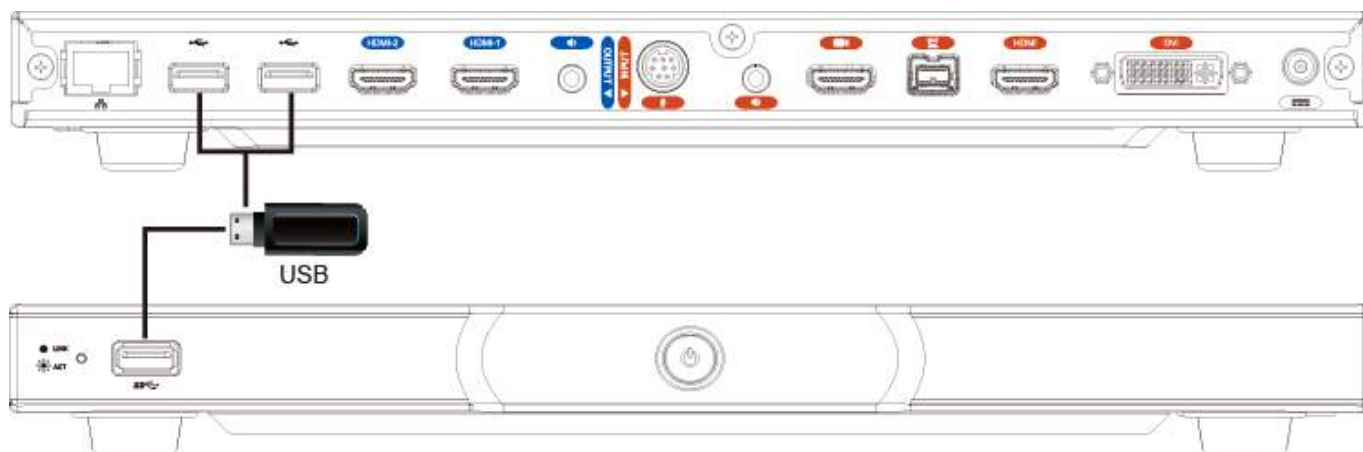


USB ストレージ (USB ポート)

USB2.0 ポートが3つ(背面に2つ、前面に1つ)搭載されています。

※USB ポートはファームウェア更新とログファイルの保存に使用します。

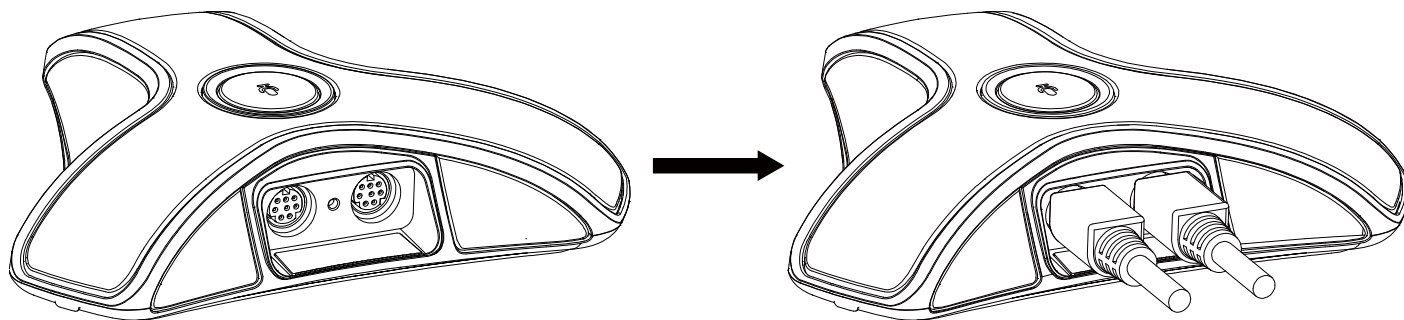
※外部デバイスへの電源供給はサポートしておりません。



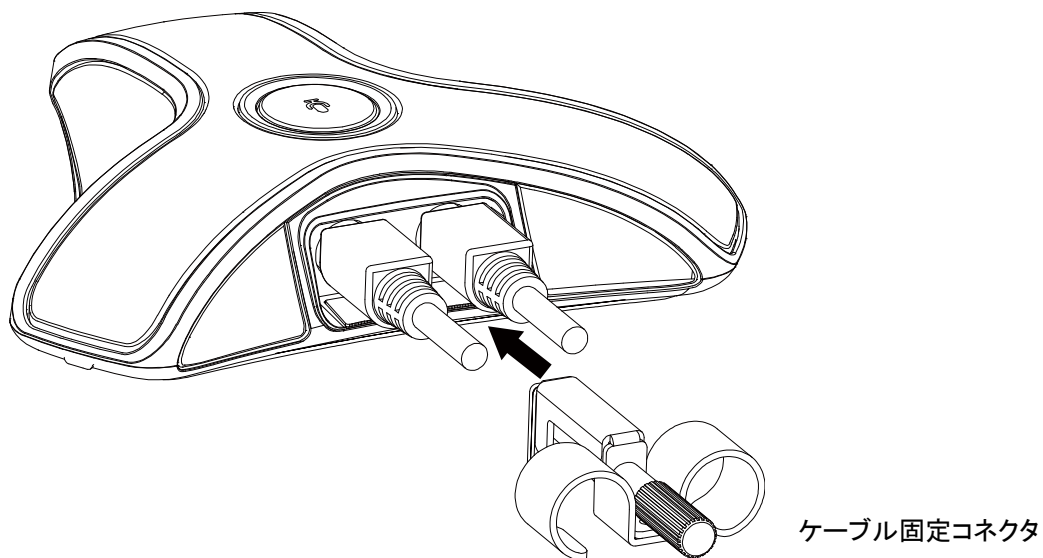
マイク用ケーブル固定コネクタの取付手順

ケーブル固定コネクタを使用して、マイクからケーブルが外れないようにします。

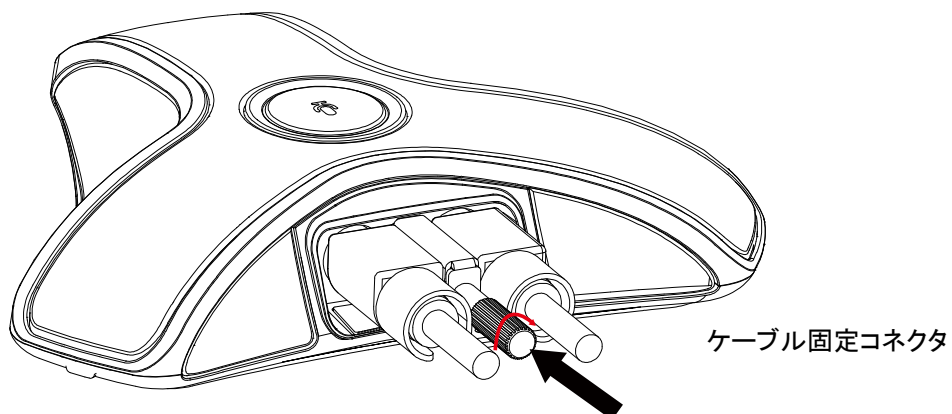
1. ケーブルをマイクに接続します。



2. ケーブル固定コネクタをケーブルに差し込みます。



3. コネクタをマイクに固定するため、ケーブル固定コネクタのネジを締め付けます。



カメラとマイク

この項目では、カメラとマイクの設置・使用方法について説明します。

カメラの設置

SVC100/500 には専用の PTZ カメラが同梱されています。

リモコンの方向キー▲、▼、◀、▶、ズームイン、ズームアウトキー使用し操作を行います。

※システムの電源オンの状態で、カメラを手動で回転させないでください。モーターやギアが壊れ使用不可能になり、製品保証の対象外になります。カメラ操作には必ず付属リモコンを使用してください。

赤外線リモコンによる操作

リモコン操作時、付属カメラの赤外線受光部へリモコンを向けて操作してください。

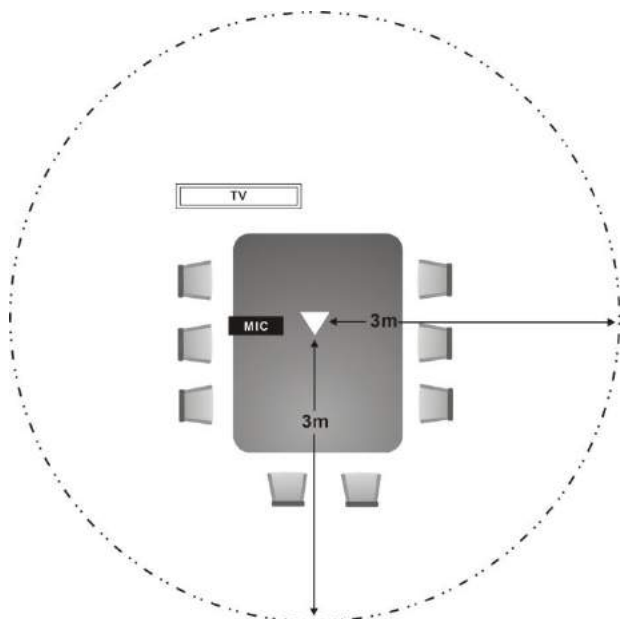


マイクの配置

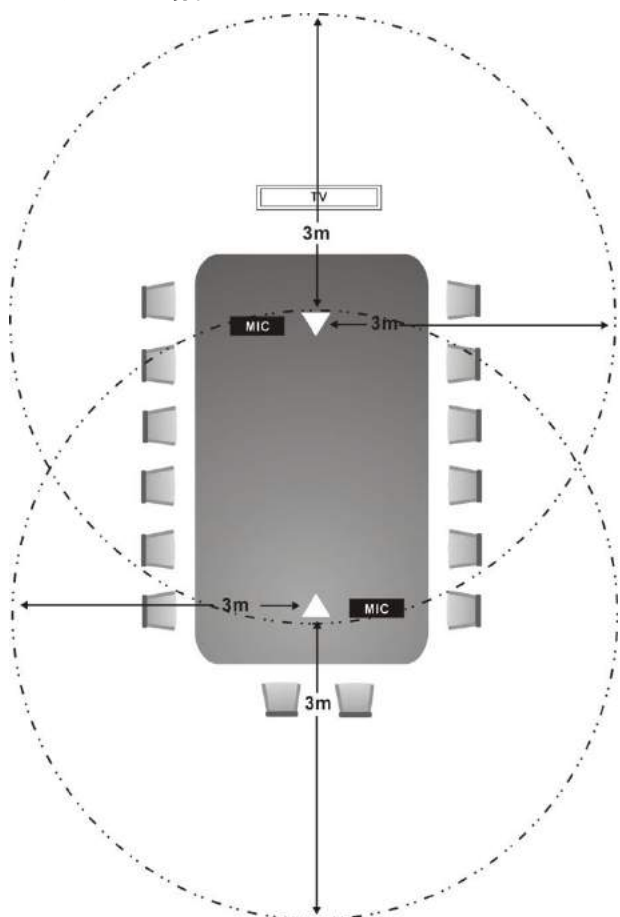
SVC シリーズのマイク集音範囲は約半径 3m です。

ハウリング防止のためスピーカー等の音源から 2m 以上離れた場所に設置してください。

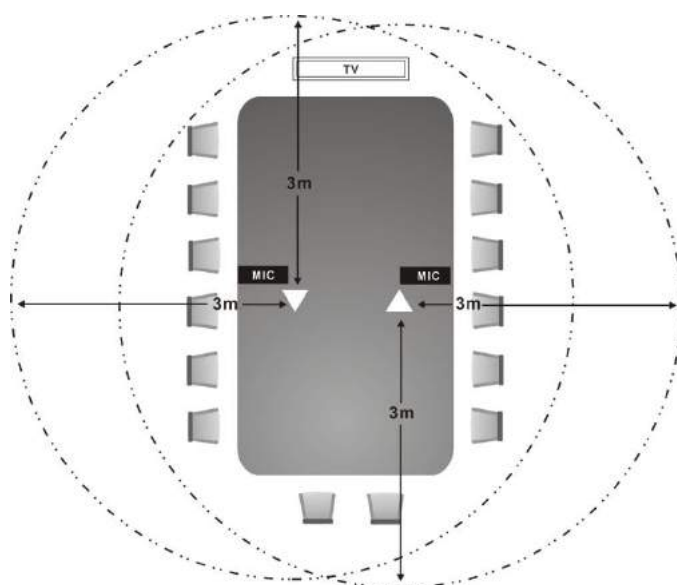
※またマイクは付属マイク含め最大 4 つまでカスケード接続が可能、集音範囲を拡張することができます。



マイク 1 つの場合



マイク 2 つの場合



AVer SVC ウィザード セットアップ

システム初回起動時、インストールウィザードの指示に従いセットアップを行います。

セットアップが完了すると、SVC システムの使用を開始できます。

インストールウィザードでは、リモコンにある以下のボタンを使用して、項目間を移動、選択項目を確定の操作を行います。

: 設定の選択肢を開くには、選択項目を確定します。

: カーソルを上下に動かします。

: カーソルを右方向または「次へ」ボタン上に動かします。

: カーソルを左方向または「戻る」ボタン上に動かします。

起動

次の説明に従ってセットアップを行います。

SVC システムが起動すると、インストールウィザード画面が表示されます。



ウィザードによるセットアップをスキップする場合は、 ボタンを押して「スキップ」ボタンに移動し、

 を押して「ホーム」ページに進みます。



言語

SVC システムの言語を選択します。

◀ を押して選択肢を開きます。
▲ または ▼ ボタンを使用して項目間を移動し、◀ を押して選択を確定します。選択後、▶ を押して [次へ] オプションに移動し、◀ を押して次の手順に進みます。



サイト名

SVC システムの名前を設定します。リモコンの数字パッドを使用してサイト名を入力します。

サイト名を入力した後、▶ を押して [次へ▶] に移動し、◀ を押して次のステップに進みます。

前のステップへ戻るには

◀ を押して [戻る] に移動、◀ を押して確定します。

[メモ]

- 1) ボタンを繰り返し押して、入力文字を選択します
- 2) サイト名はアルファベットのみに使用できます。



ネットワーク設定

テレビ会議に使用するネットワーク環境を選択します。

▲ または ▼ ボタンを使用して選択項目に移動し、◀ を押して選択を確定します。

[メモ]

ネットワークの設定については、「LAN 接続のシナリオ」の章を参照してください。

ネットワーク設定オプションを選択後、環境に併せてネットワーク設定が必要です。
次の説明に従ってネットワーク設定を行います。



ローカル IP 設定 (ファイアウォール外部とポート転送):

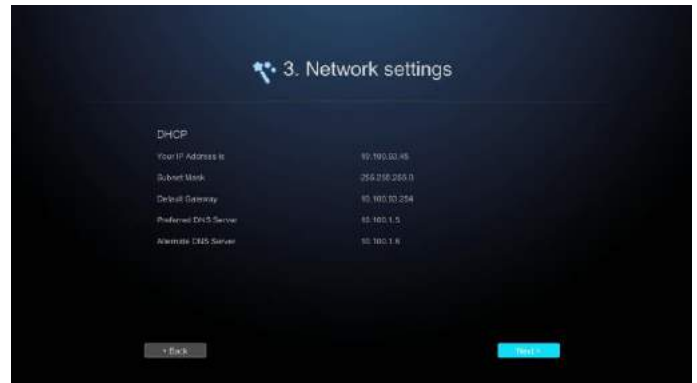
ファイアウォール経由でのインターネット接続の場合

DHCP で IP アドレスを自動取得する

ネットワーク上の DHCP サーバーから自動的に IP アドレスを取得します。

SVC は LAN 上の DHCP サーバーによって割り当てられた IP アドレスを自動的に取得します。

自動取得後に IP アドレスと関連情報が表示されます。[OK] をクリックして設定を適用します。



固定 IP を入力する

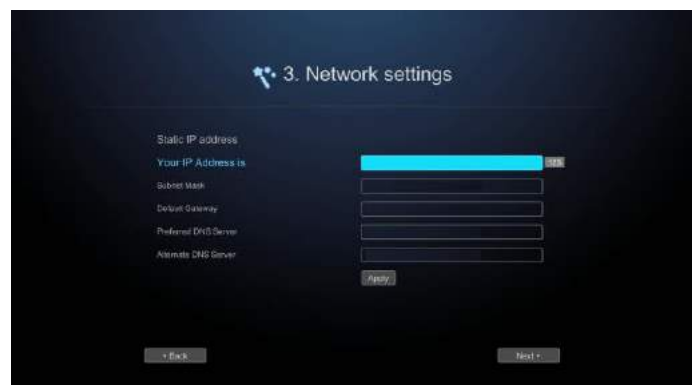
割り当て済みの固定 IP アドレスを使用するようにシステムを設定します。

パブリック IP アドレスが利用可能な場合はこれを選択します。

以下の情報を入力し、[適用] をクリックして設定を保存します。

次の手順に進むには [次へ] をクリックします。[ネットワーク設定] ページに戻るには [戻る] をクリックします。

1. **使用する IP アドレス:** SVC に使用する固定 IP アドレスを手動で入力します。
2. **サブネットマスク:** システムが自動的にサブネット マスクを取得しない場合、サブネットマスクのアドレスを入力します。
3. **デフォルトゲートウェイ:** システムが自動的にゲートウェイを取得しない場合、ゲートウェイのアドレスを入力します。
4. **優先 DNS サーバー:**
使用する優先 DNS サーバーの IP アドレスを入力します。
5. **代替 DNS サーバー:**
使用する代替 DNS サーバーの IP アドレスを入力します。



IPv6:

IPv6 アドレスは、コロンで区切られた 16 進表記の 128 ビット IP アドレスです。

以下の情報を選択および入力し、[適用] をクリックして設定を保存します。次の手順に進むには [次へ] オプションをクリックします。[ネットワーク設定] の手順に戻るには [戻る] をクリックします。

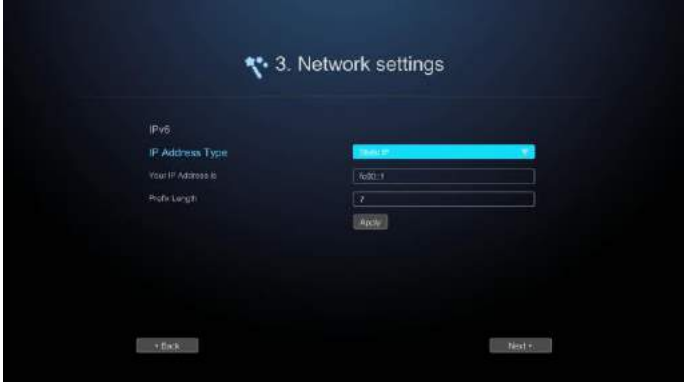
1. 使用する IP アドレス

静的 IP: 割り当てられた IP アドレスを使用するようにシステムを設定します。パブリック IP アドレスが利用可能な場合はこれを選択します。

自動: 動的 IP アドレスを自動的に取得します。この場合、下の入力項目に IP アドレスとプレフィックス長を入力します。

2. 使用する IP アドレス: IP アドレスを手動で入力します。

3. プレフィックス長: プレフィックス長により、基盤のネットワーク メディアで許容される限りの IPv6 デバイスを配置できます。



The screenshot shows a dark-themed interface titled '3. Network settings'. Under the 'IPv6' section, there are three input fields: 'IP Address Type' (with a dropdown menu), 'Your IP Address is' (containing 'fd00::1'), and 'Prefix Length' (containing '7'). An 'Apply' button is located below these fields. At the bottom of the screen, there are two buttons: 'Back' on the left and 'Next >' on the right.

SIP 設定

SIP の設定を行います。 ※SIP 設定はスキップ・後から設定可能です。



SIP 設定時、以下の情報を入力・選択します。

1. **SIP サイト名:**他のユーザーが本機を識別できるように SIP サイト名を入力します。SIP サイト名は Web アクティビティのドメインと同じものでも異なるものでも構いません。数字パッドを使用し、入力欄に SIP サイト名を入力します。
2. **インターネット プロトコル:**IP プロトコルとして IPv4 または IPv6 を使用することを選択します。 を押して選択肢を開き、、 を使用して選択項目を移動します。 を押して選択を確定します。
3. **SIP トラnsポートプロトコル:**選択肢から、使用する SIP トラnsポートタイプを選択します。インターネットプロトコル (IP) トラフィックには 2 つのタイプがあります。(TCP/UDP) 適切な接続のために、通信を行う両者が同じプロトコルを使用しているかどうか確認してください。**デフォルトでは UDP に設定されています。**

TCP:TCP の動作は相互接続が前提となっています。接続が確立されると、データは双方向に送信できます。

UDP:UDP の動作は TCP よりシンプルで、相互接続を必要としないインターネットプロトコルです。複数のデータが UDP を使用しパケットとして一括送信されます。

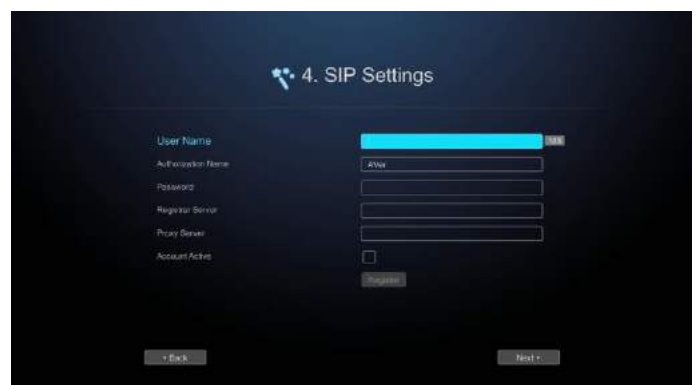
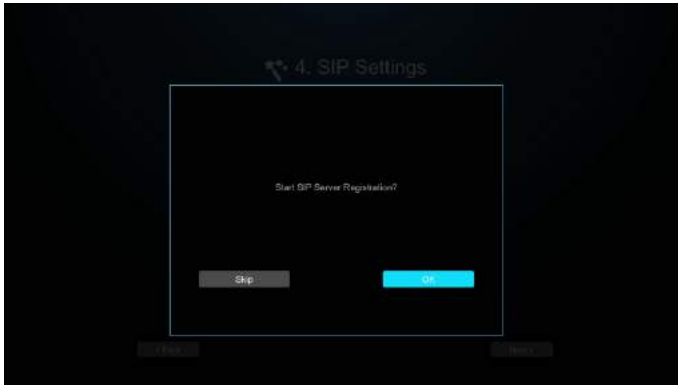


4. **STUN サーバー:**STUN (NAT 向けセッション トラバース ユーティリティ) は、標準化された一連のメソッドで、エンドホストが NAT の外側にある場合にパブリック IP アドレスを検出できるようにするネットワークプロトコルです。
5. **STUN ポート:**STUN サーバーのポート番号を入力します。
6. **STUN サーバー:**STUN サーバーのポート番号を入力します。

SIP サーバー登録

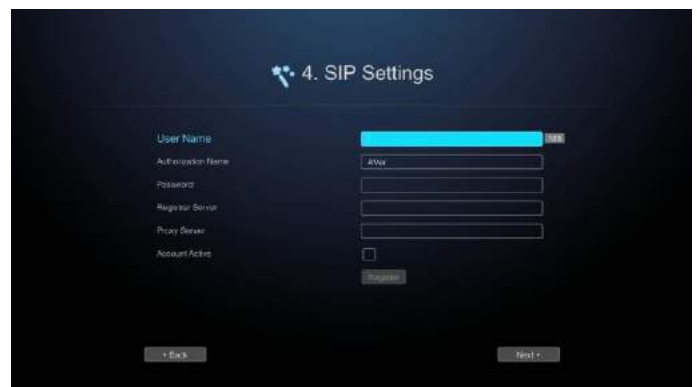
通常の SIP セッションでは、クライアントが SIP サーバーに対してセッションをリクエストします。リクエストを受信すると、SIP サーバーはユーザーにレスポンスを返し、セッションが利用可能であるかどうかを示します。

SIP 設定後、**SIP サーバー登録**を行うか、**スキップ**できます。



SIP サーバー登録を行うには、以下の情報を入力し、**[登録]** をクリックして設定を保存します。完了したら、**[次へ]** をクリックして次の手順に進みます。

1. **ユーザー名**: 接続先の SIP サーバー名を入力します。
2. **認証名 & パスワード**: サーバーの認証名とパスワードを入力します。
3. **レジストラー サーバー**: レジストラー サーバーはユーザーからの登録を受け入れ、ロケーション サービスとして知られるデータベースにこれらの登録情報（基本的にはロケーション情報）を入れます。使用するレジストラーサーバー名を入力します。
4. **プロキシ サーバー**: プロキシ サーバーは、通信ネットワーク内においてデータ処理デバイスとその他のデバイスとの間のインターフェイスとなるコンピューティング デバイス（通常はサーバー）です。これらのデバイスは同一のローカル エリア ネットワーク上または外部ネットワークにあります。プロキシ サーバー名を入力します。
5. **アカウントを有効にする**: **[登録]** を選択してアカウントを有効にします。



日時設定

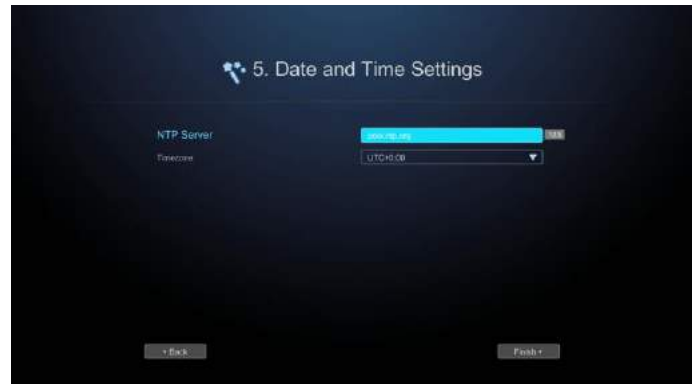
SVC システムの日時を設定します。

NTP サーバーを使用し日時を取得、または現在の日時を手動で入力することができます。

ネットワーク タイム プロトコル (NTP)

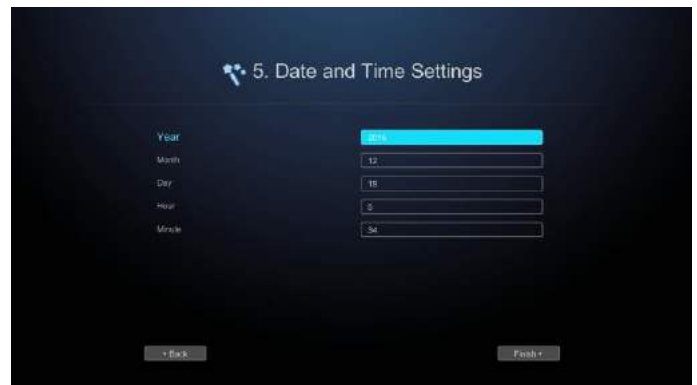
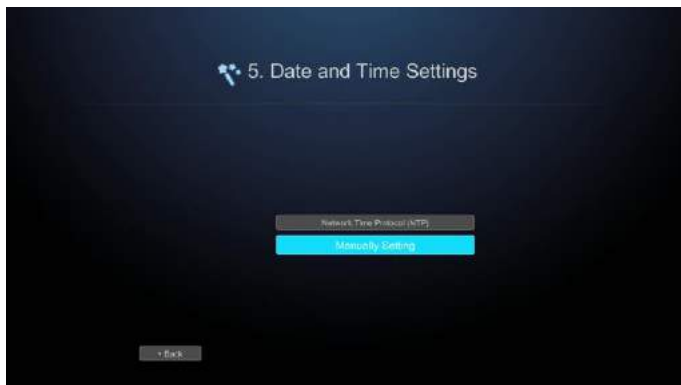
ネットワーク タイム プロトコル (NTP) は、デバイスのネットワークでシステム時刻を同期するために使用されるプロトコルです。

1. **NTP サーバー:**使用する NTP サーバー名を入力します。
2. **タイム ゾーン:**別の国または地域にいるときに、タイムゾーンを利用して元の地域と同じ時刻を保つように調整ができます。タイムゾーンは協定世界時 (UTC) からのオフセットの整数時間 (UTC-12 から UTC+14) です。



手動設定

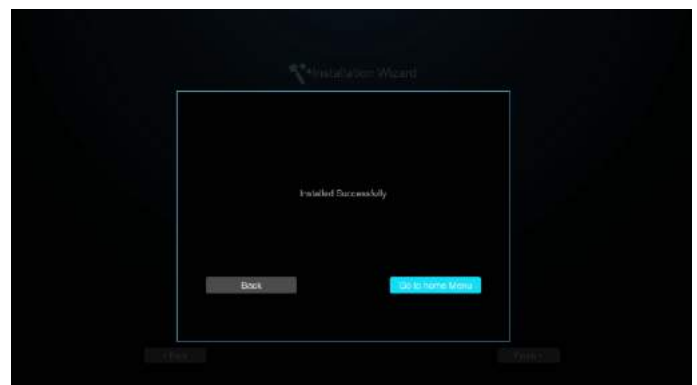
現在の年、月、日、時、分、秒を手動で入力します。



日時のセットアップが完了後、[終了] をクリックしてインストールウィザードのセットアップを完了します。

通信テストを行うか、ホームメニューに移動します。

ビデオ通話の開始方法は、「**ダイヤル**」の章をご参照ください。



AVer SVC の操作

カメラ・マイク・コーデック本体・ディスプレイ・電源アダプタを配線・接続後、電源ボタンを押し SVC を起動します。
電源ボタンが青色に点灯し、AVer ロゴ表示された後にアニメーションと音楽が流れます。
起動から約 60 秒後に、カメラ映像とメニュー画面が表示されます。

基本操作

基本操作

方向キー: ▲、▼、◀、▶ ボタンを使用して、リモコン上の選択項目を移動します。

確定ボタン: ⏮ を使用して、リモコン上の選択項目を確定します。

適用:変更された値を有効にします。(AVer SVC アプリケーション向け)

保存:作成された値を受け入れ、システムに保存します。

キャンセル:値の変更をキャンセルし、現在の画面を閉じます。

メニュー画面

SVC システムが起動すると、メニュー画面が表示されます。

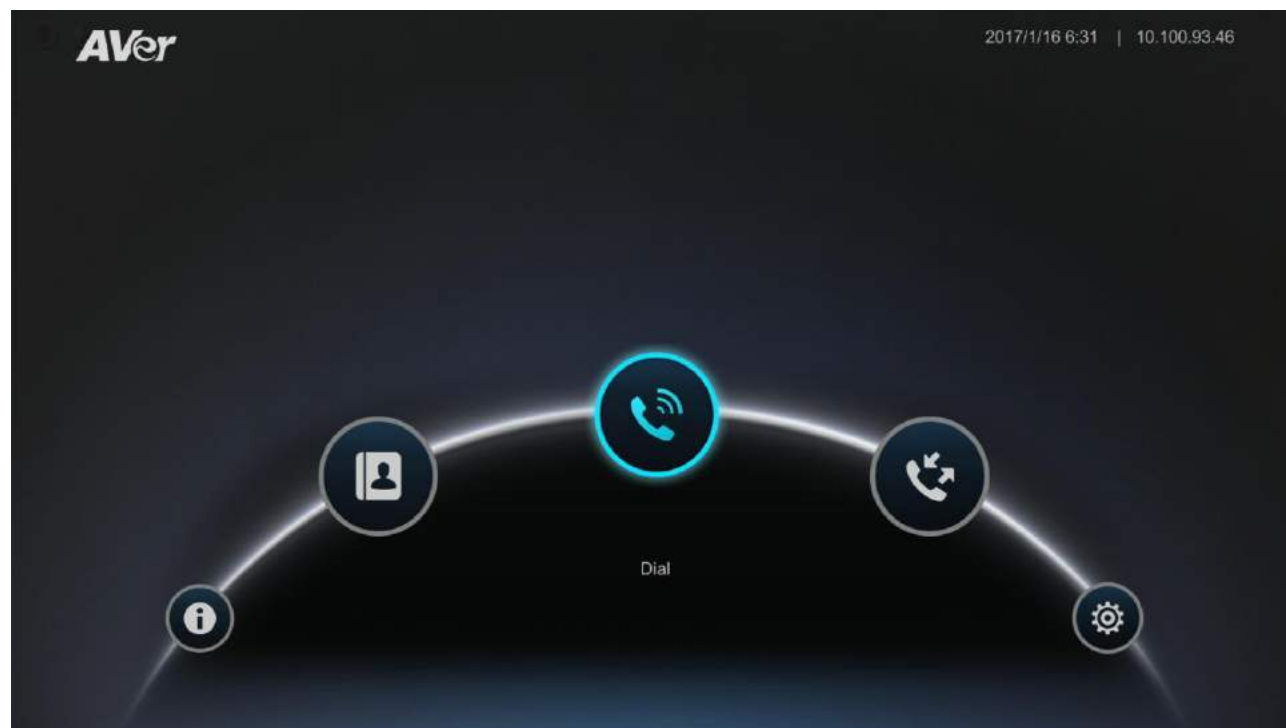
◀、▶ ナビゲーション ボタンを使用して選択項目間を移動し、⏮ を押して選択を確定します。

メニュー画面は [情報]・[電話帳]・[ダイヤル]・[通話履歴]・[設定]の5つのメニューで構成されています。

[ダイヤル]、[電話帳]、または [通話履歴] では、連絡先を選択して通話を行うことができます。

[一般設定]、[ビデオ/音声]、および [ネットワーク] ではシステムの設定を行います。

※管理パスワード設定により、システム設定の不用意な変更を事前に防止できます。



カメラアイコンとマイク アイコン

メニュー画面の左上に、カメラとマイクのアイコンが表示されます。

起動中にカメラが取り外されると、「カメラが切断されました」というメッセージが表示され、青色画面が表示されます。

画面に  が表示されているときは、遠方サイトをリモコンで操作できることを表しています。

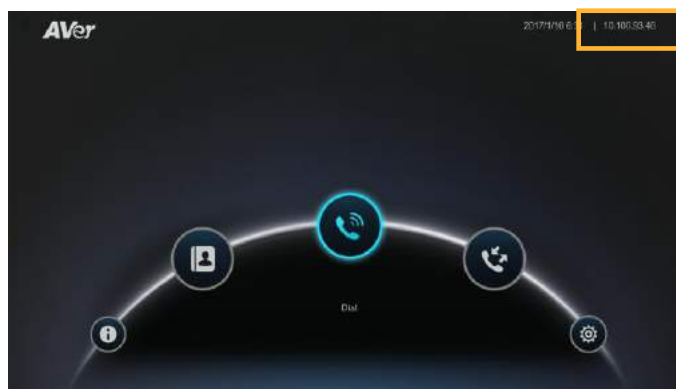
 が表示されている場合は、マイクがミュートの状態です。マイクまたはリモコンのミュートボタンを押して、マイクミュートを解除します。

(マイク有効→マイク LED が青に点灯します。)



WAN アドレス

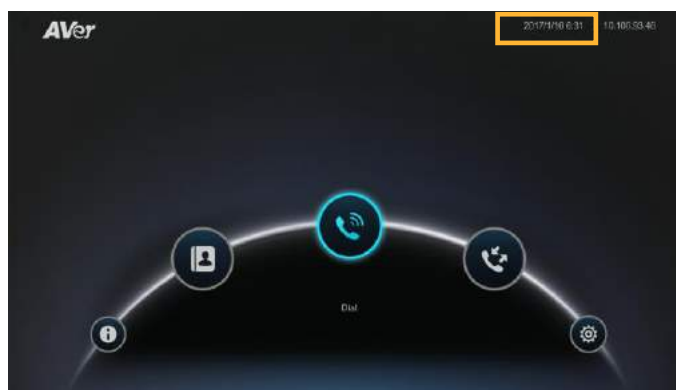
WAN IP アドレスは、メニュー画面右上に表示されます。



現在時刻

現在時刻がメニュー画面の右上に表示されます。

システム関連設定が終了すると、現在時刻はシステムと同期されます。



システム情報

メニュー画面で  を選択すると、
システム情報が表示されます。

ローカルの情報(Local Site Info)：

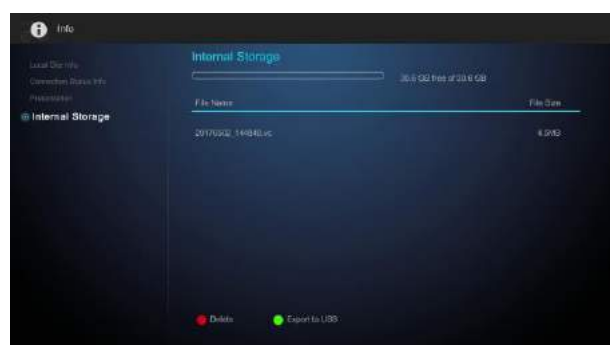
- システム名、モデル名、IP アドレス、MAC アドレス、システムバージョンを表示します。

接続先の統計情報(Connection Status Info)

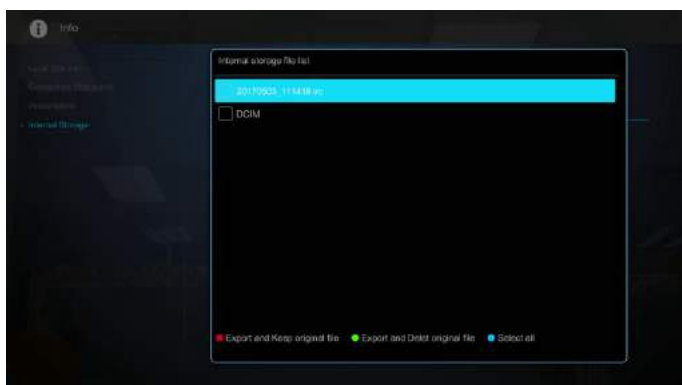
会議中の通信状況を表示します。



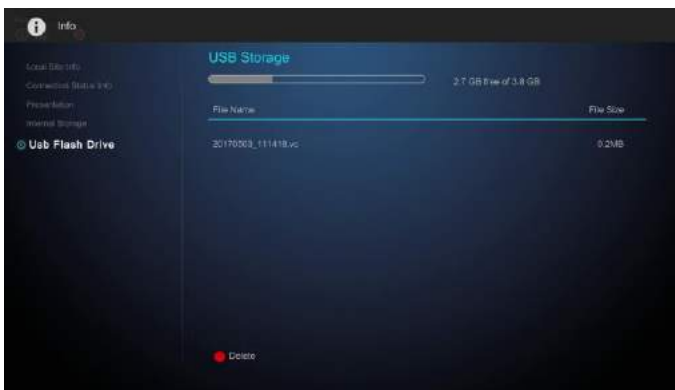
- **ファイル共有**：ファイル共有モード時の状態を表示します。
- **内部ストレージ**：内部ストレージとビデオファイルを表示します。ファイル保存場所の優先順位は内部ストレージ>ネットワーク>ハードディスク>外部ストレージです。
- **リモコン**  ボタンを押すと、ファイルを削除します。



録画データを USB メモリに移動するには、USB メモリを SVC システムに接続し、リモコンの  ボタンを押してファイルを選択します。  を押すと、すべてのファイルが選択されます。次に、  ボタンを押してファイルをコピーして元ファイルを保留するか、  ボタンを押してコピーしてから SVC にある元ファイルが自動的に削除されます。

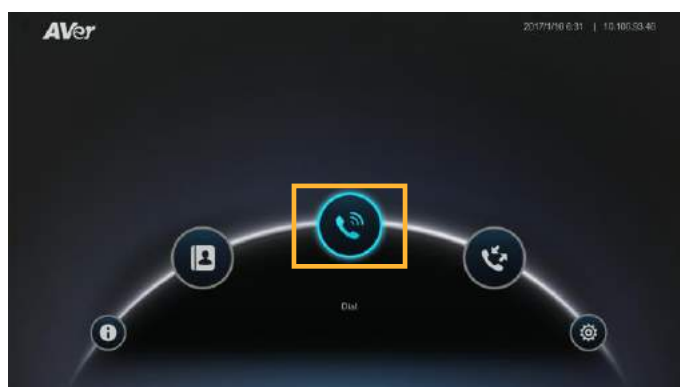


- **USB メモリ:** USB メモリが SVC システムに接続されたときに USB メモリ関連情報が表示されます。



ダイヤル

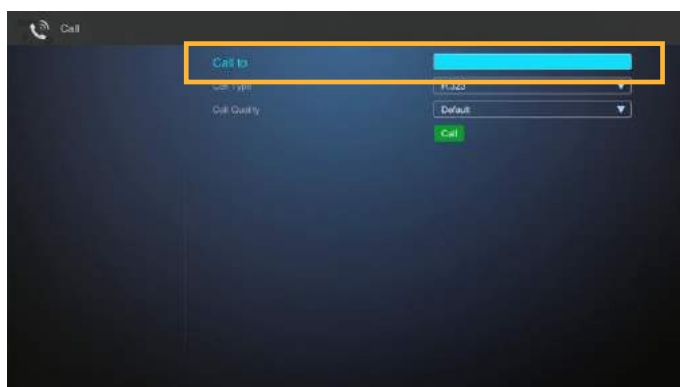
「ダイヤル」選択では、
ダイヤル画面を開き電話をかけることができます。
リモコンの  ボタンも同様の動作になります。



通話先 IP アドレスの入力

リモコン上の数字キーを使用して、通話相手の IP アドレスまたは SIP URI (sip:username.password@host) を入力します。AVer リモコンは、英数字の操作をサポートしています。数字キーを数回押し、表示される英字または記号を選択してください。

[メモ]  ボタンを長押しで入力モード切り換え
→数字モード (123) と英数字モード (ABC/123)



通話タイプ

SVC シリーズは、H.323、SIP、SIP 音声の通話タイプに対応しています。H.323 はビデオ会議システムで使われ、SIP はさまざまな VoIP デバイスで使われます。▼ ボタンを使用して、目的の通話タイプを選択し、 を押して確定します。

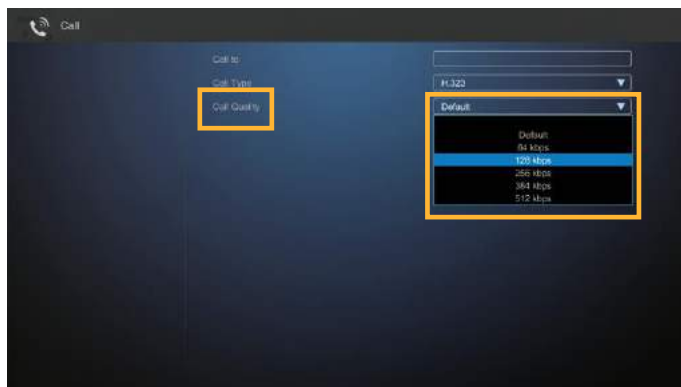
[[メモ] H.323・SIP は SVC が親機となる場合、テレビ会議内での混在(同時通話)が可能です。



通話品質

通話品質を、選択肢から適切な通話品質（またはネットワーク帯域幅）を選択します。

（デフォルト、または 128K から 4Mbps まで）。



ダイヤル設定画面で「発信」を選択し、 を押すと通話が始まります。

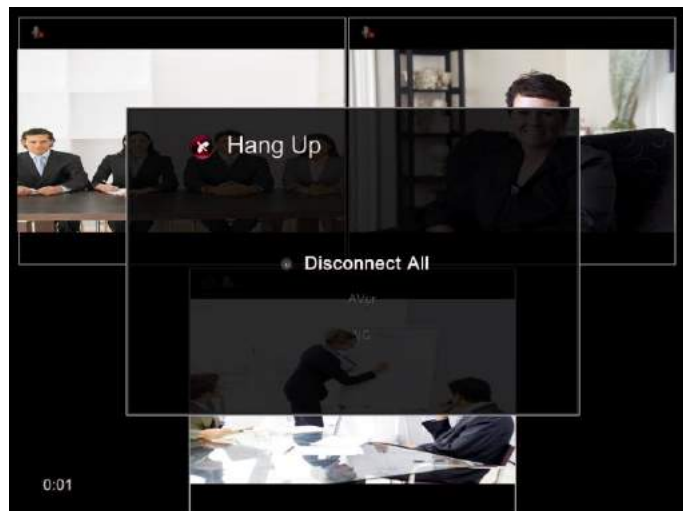
※通話を開始する前に LAN ケーブルが本体に接続され、ネットワークが正常に動作していることを確認してください。

※接続に問題があると「ネットワーク ジャックが接続されていません」という情報が表示されます。[OK] をクリックして、ネットワークへの接続を確認してください。



通話を終了する

1. 複数サイトでの電話会議の場合、リモコンで  ボタン（終了）を押すと、通話中の拠点がリスト形式で表示されます。
2. ▲ または ▼ ボタンを使用し、通話を終了する拠点を選択し、 を押します。全ての会議を一度に終了する場合、[すべて切断] を選択します。
3. 会議でのサイト名は色分けされています。切断するサイトの名前がわからない場合は、フレームの色で識別してください。
4. 複数サイトのテレビ会議では、どの拠点との通話を終了するかリストから選択できます。



ビデオレイアウト

複数拠点を接続した際のビデオレイアウトは下図のようになります。
リモコンの「Layout ボタン」を押すと画面のレイアウトを変更することができます。

Video layout on multisite connections						
Layout Sites	1	2	3	4	5	6
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						

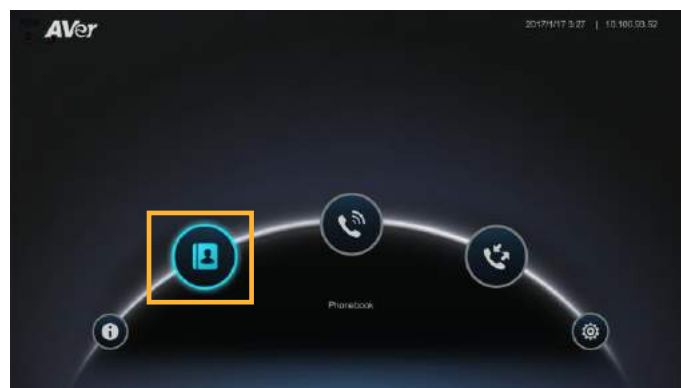
- 16 拠点のビデオ映像を同時に表示する場合、下図のレイアウト 1 (等分割表示) を選択します。
- 9 拠点以上接続するときに、レイアウト 1 で全員表示可能ですが、他のレイアウトでは通話に参加した順番の 9 番目までが表示され、残りの拠点は音声通話のみになります。

電話帳

電話帳では、連絡先の作成・編集、カテゴリー別での連絡先グループ化、連絡先の検索を行うことができます。

グループと連絡先（サイト）名はアルファベット順に保存・表示されます。

Web 管理ツールから電話帳の編集・インポートが可能です。

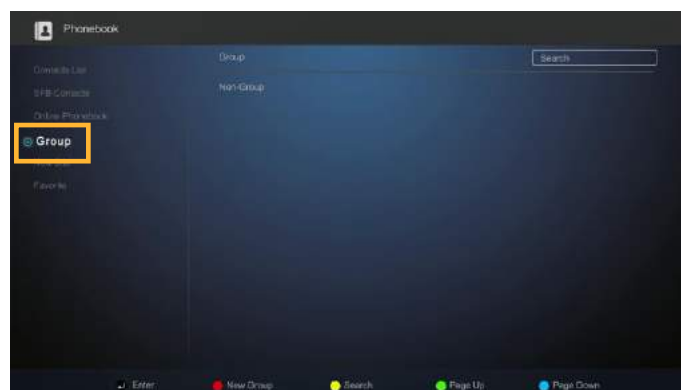


グループ化

電話帳を選択して  を押します。

 を押して、グループを選択して  を押します。

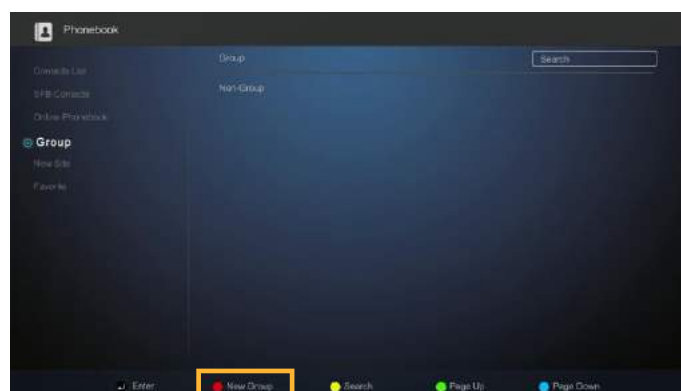
連絡先が多く登録されている場合は、クライアント、ベンダー、会社、支社などのグループに分類・整理することができます。



新しいグループの作成

[グループ化] 設定画面でリモコンの赤  ボタンを押し、[グループ名の入力]を表示します。

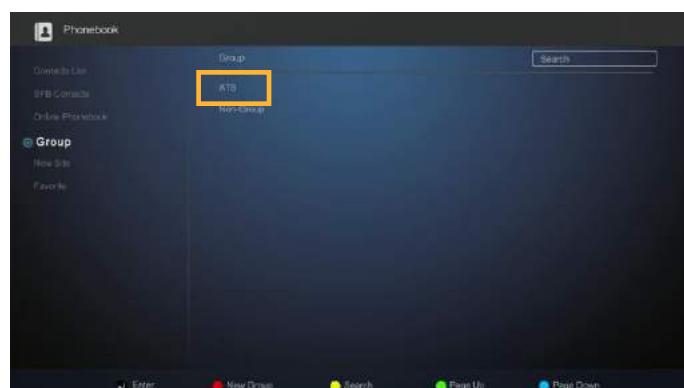
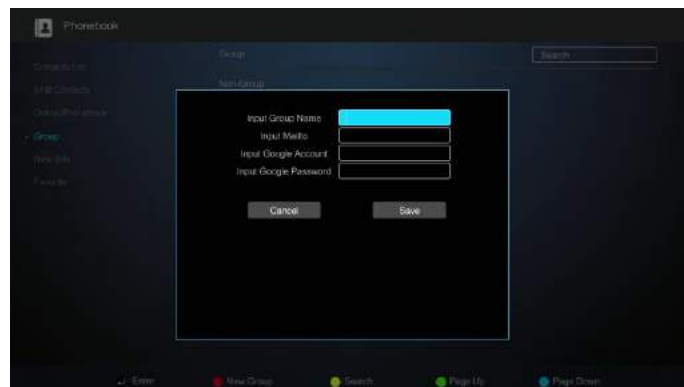
<次ページに続く>



- **グループ名を入力する:**グループ名を入力
- **メールアドレスを入力する:**ファイルアップロード通知を受け取る電子メールアドレスを入力
- **Google アカウントを入力する:**[メールアドレスを入力する]で設定したメールアカウントからファイルアップロード通知を受け取る Google アカウントを入力
- **Google パスワードを入力する:** [Google アカウントを入力する]で設定した Google アカウントのパスワードを入力

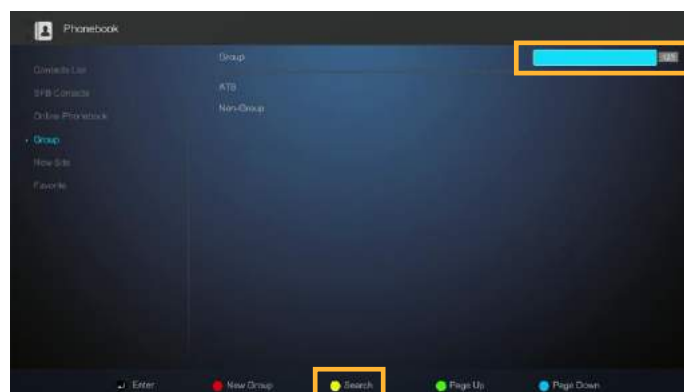
[保存]を選択して、新しいグループを保存します。または[キャンセル]を選択して[グループ名の入力]ダイアログ ボックスを閉じます。

新しいグループ名は、グループ リストに保存および表示されます。



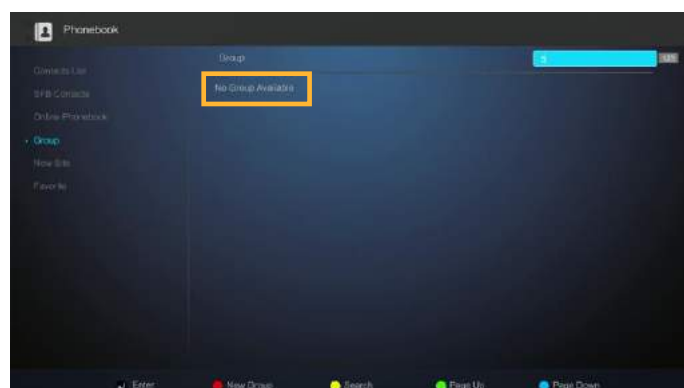
作成されたグループの検索

リモコンの黄色いボタンを押して、検索するグループ名を入力します。

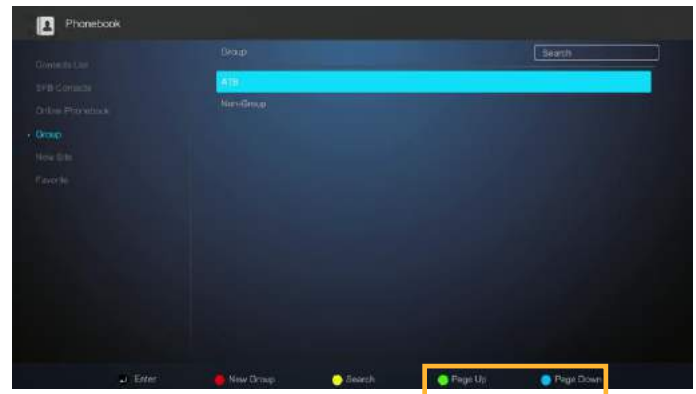


入力した名前が作成されていない場合、「利用可能なグループはありません」と表示されます。

この場合は、もう一度検索してください。



グループ データが 1 ページを超える場合は、緑  ボタンまたは青  ボタンを押してページを上下にスクロールできます。



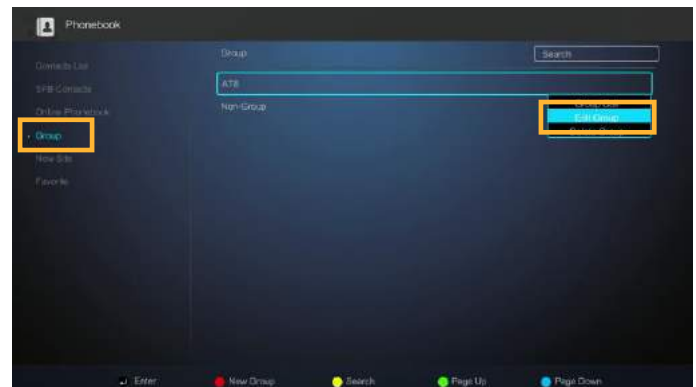
グループの編集

[電話帳] の [グループ化] を選択して

 を押します。

グループ リスト内で、変更する名前を選択します。

[グループの編集] を選択して  を押します。



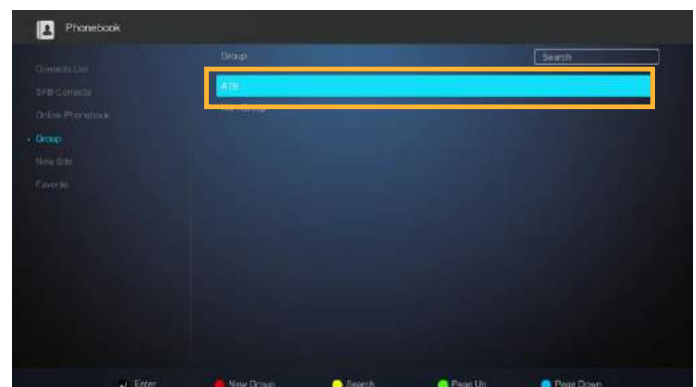
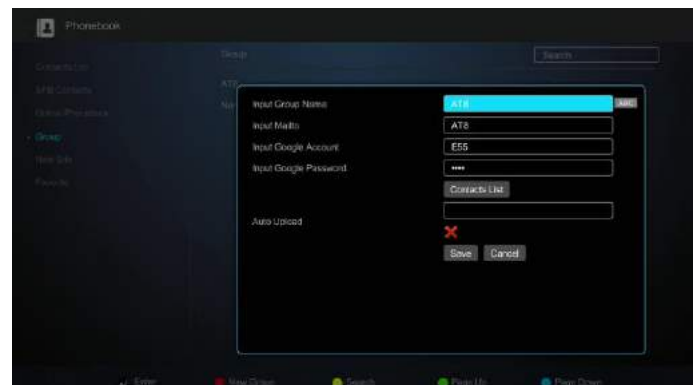
グループ名を変更して、[保存] を選択し、変更されたグループ名を保存します。

自動アップロード: 録画データとスナップショットを自動的に Google ドライブにアップロードする機能を有効/無効にします。赤色“X”が表示されている場合は、自動アップロード機能が無効の状態です。Web 管理ツールでアップロード機能を設定してください (Web 設定セクションを参照)。

[メモ]

1. グループ通話の録画ファイルと静止画のみ、自動的にアップロードすることができます。
2. ビデオ会議終了の 1 時間後にアップロードが自動的に実行されます。

変更されたグループ名は、グループ リストに保存および表示されます。



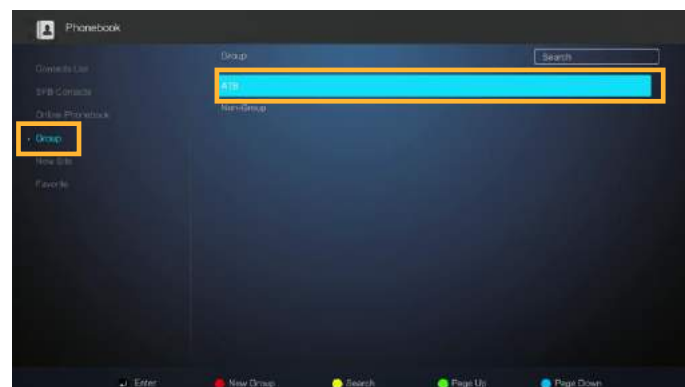
🔍 変更された名前が保存された名前と同じである場合、変更された名前は無視されます。

グループ リストからの連絡先の追加

「電話帳」の「グループ化」を選択して

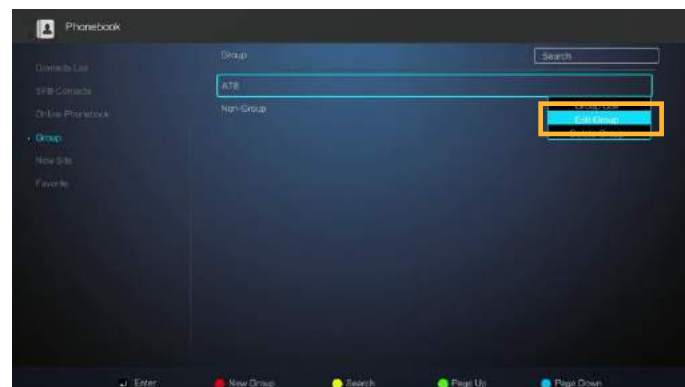
 を押します。

連絡先リストに追加するグループ名を選択します。



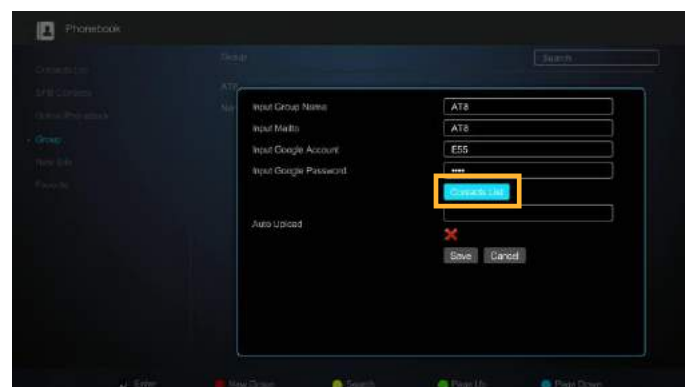
「グループの編集」を選択して

 を押します。

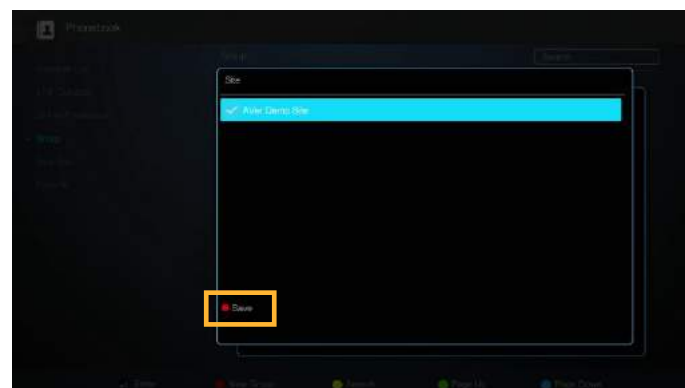


連絡先リストに追加するグループ名を確定して、

「連絡先リスト」を選択します。



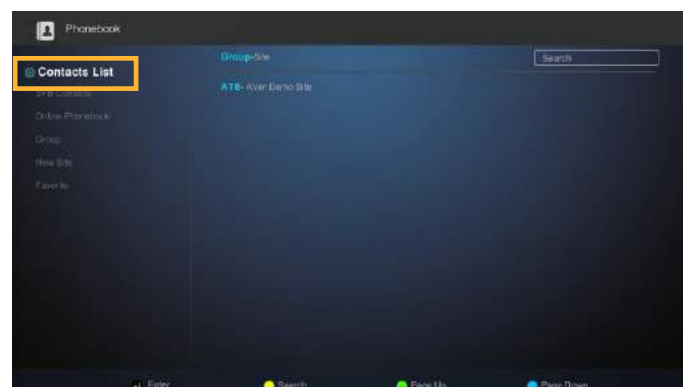
グループ サイト リストで、連絡先リストに追加する項目を選択してリモコンの赤い  ボタンを押して選択を保存します。



[保存] を選択して、グループ名と追加されたサイトを連絡先リストに追加します。



選択されたグループ名と追加されたサイトは、連絡先リストに追加されます。

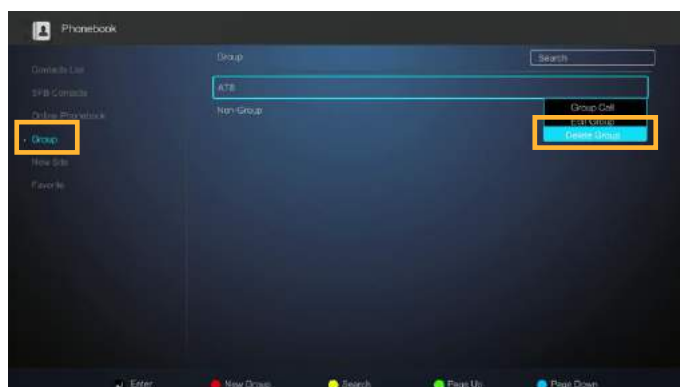


グループの削除

[電話帳] の [グループ化] を選択して  を押します。

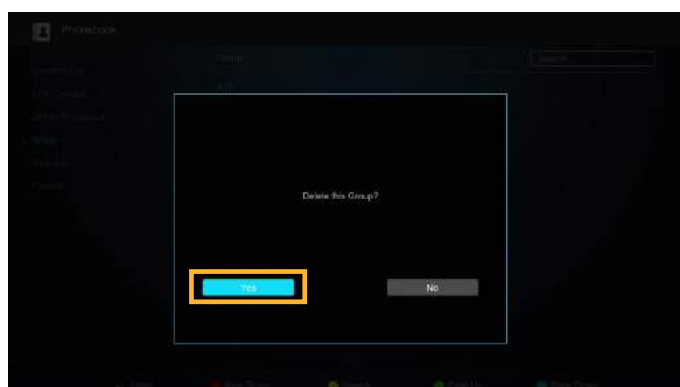
グループ リスト内で、削除する名前を選択します。

[グループの削除] を選択して  を押します。



選択されたグループ名を削除する場合は [はい] を選択し、グループ名の削除をキャンセルする場合は [キャンセル] を選択します。

選択されたグループ名は、削除されるとグループ リストに表示されなくなります。

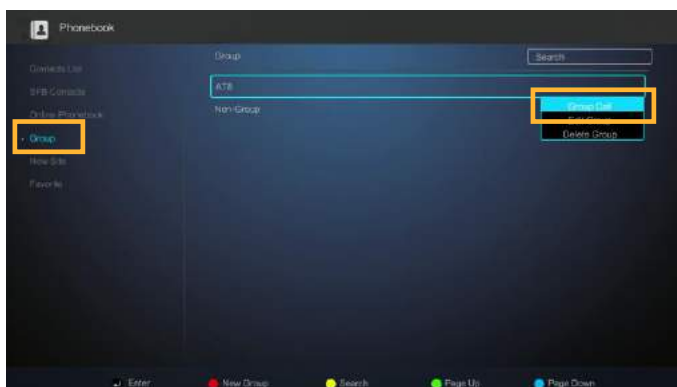


グループコール(登録済みグループの一斉コール)

[電話帳] の [グループ] を選択して  を押します。

[グループコール] を選択して  を押します。

グループ名を選択して、コールを開始します。[キャンセル]を選択すると、コールを停止します。



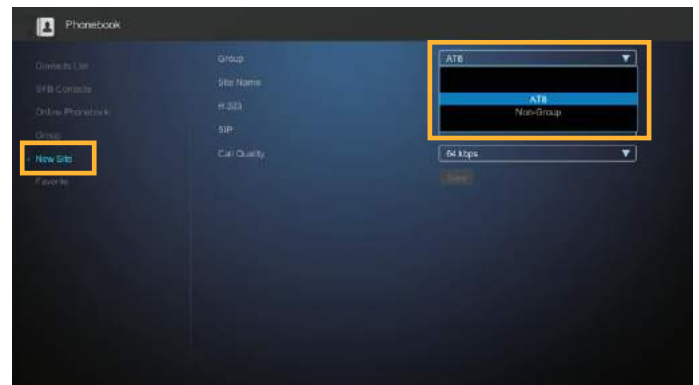
新しいサイト（電話帳内の連絡先）

「新しいサイト」では、各サイトについて、情報を作成および編集できます。

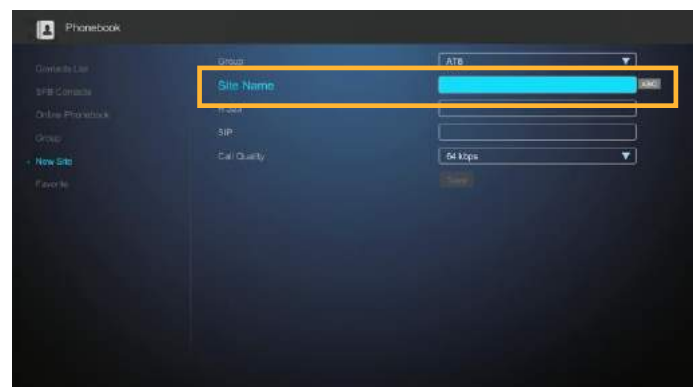
新しいサイトの追加

「電話帳」の「新しいサイト」を選択してを押します。

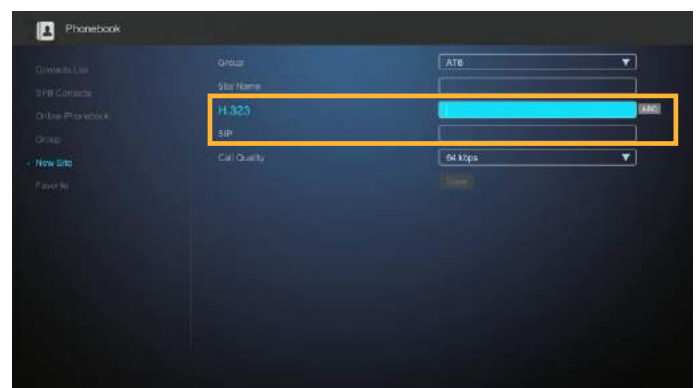
グループ名を選択して、エントリをグループに追加しない場合は、「非グループ」項目を選択してください。



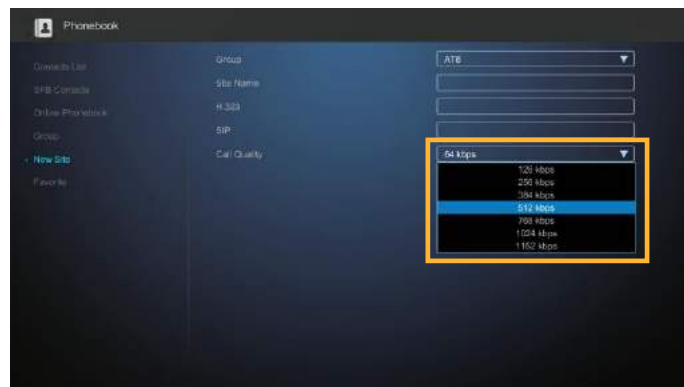
「サイト名」ボックスを選択します。リモコンでサイト名を入力して、を押します。



使用する通話タイプ（H.323 または SIP）を入力します。



選択項目からで通話品質の値を選択します。



[保存] を選択し、
新たに追加されたサイト連絡先を保存します。

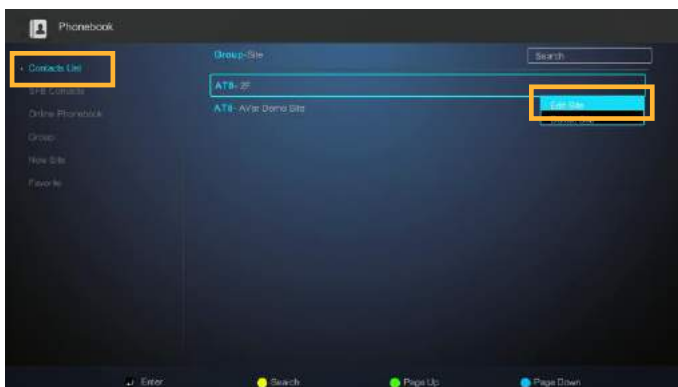


新しいサイトの編集

[電話帳] の [連絡先] を選択して  を押します。

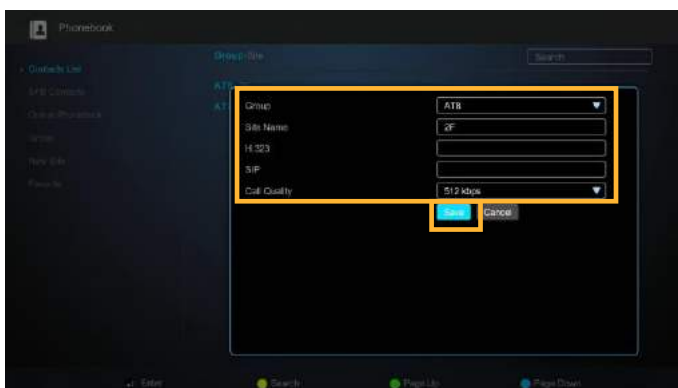
編集する連絡先を選択して  を押します。

[サイトの編集] を選択して  を押します。

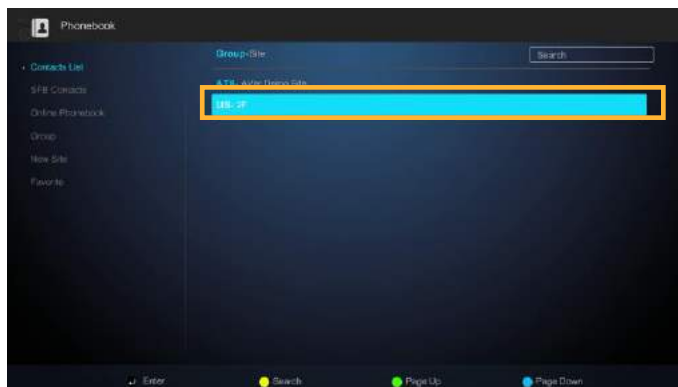


[サイトの編集] 画面で、グループ名、サイト名、H.323、SIP および通話品質を変更できます。

変更後、[保存] を選択して新しい変更を適用するか、
[キャンセル] を選択して元の設定に戻します。



保存された変更は、グループサイトにリスト表示されます。

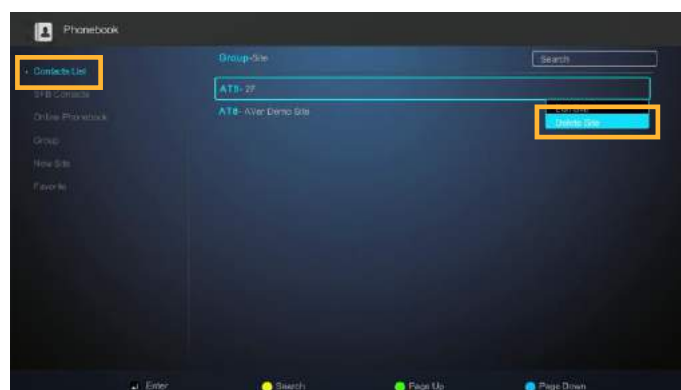


新しいサイトの削除

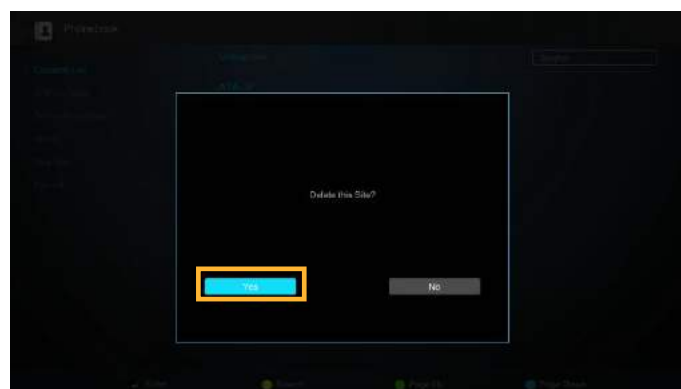
「電話帳」の「連絡先リスト」を選択して $\leftarrow$ を押します。

削除する連絡先を選択して $\leftarrow$ を押します。

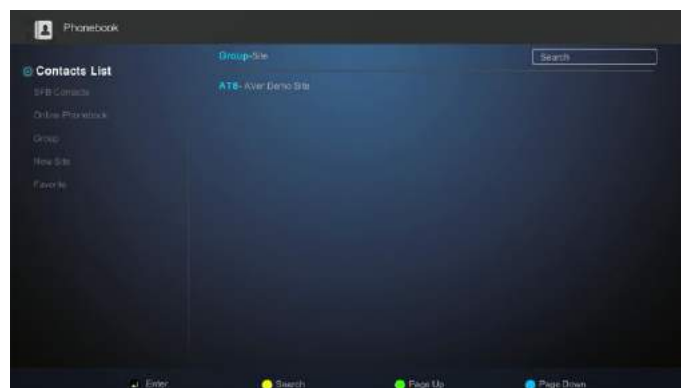
「サイトの削除」を選択して $\leftarrow$ を押します。



選択された連絡先を削除する場合は「はい」を選択し、連絡先の削除をキャンセルする場合は「キャンセル」を選択します。



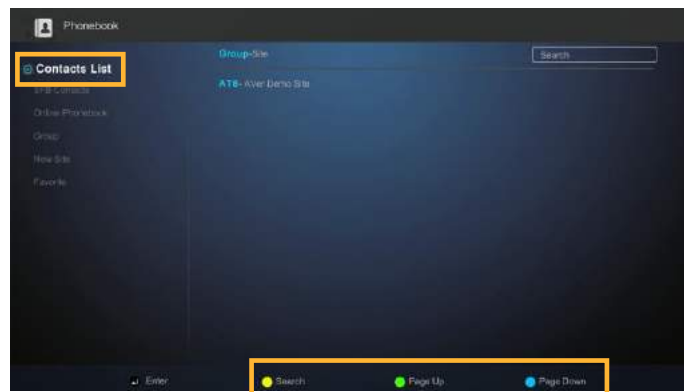
選択された連絡先は、削除されるとグループリストに表示されなくなります。



連絡先リスト

連絡先リストには、作成および保存した連絡先がすべて表示されます。**連絡先リスト**から連絡先を直接選択して編集または削除できます。

連絡先リスト設定画面で、リモコンの黄色  ボタンを使用して、対象の連絡先を検索することもできます。グループ サイトが 1 ページを超える場合は、緑  ボタンまたは青  ボタンを押してページを上下にスクロールできます。

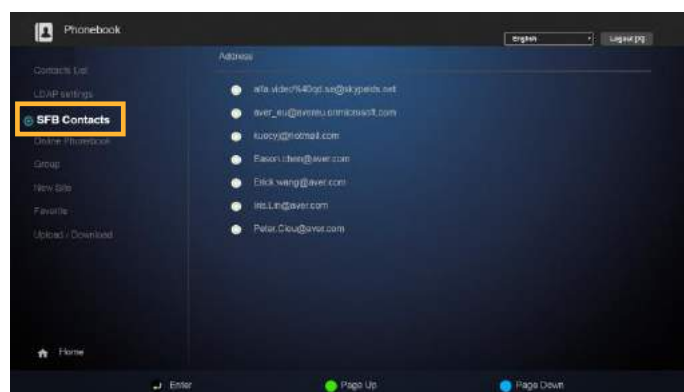
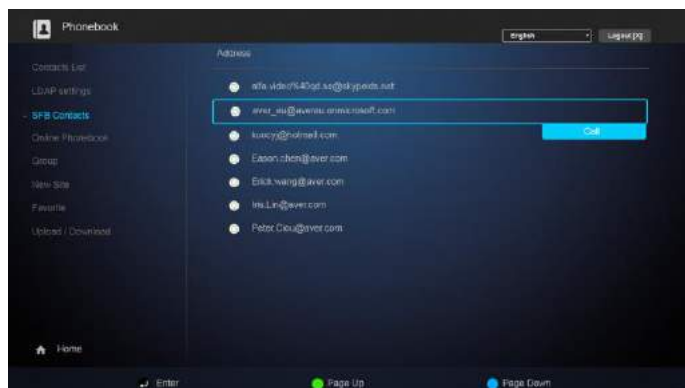


Skype for Business の連絡先

Skype for Business アカウントにログイン時、連絡先リストが表示されます。

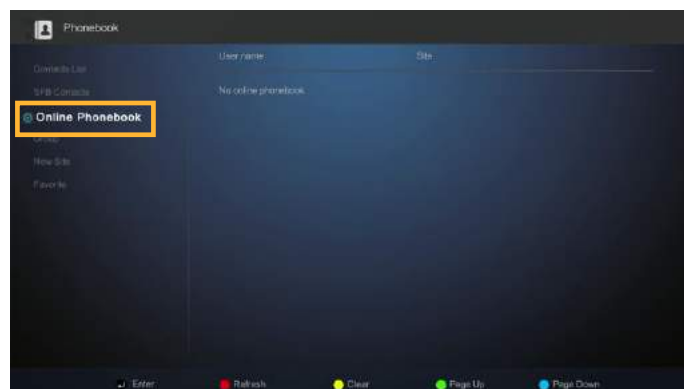
[電話帳]の[SFB 連絡先]を選択し  を押します。

ユーザーは連絡先リストから直接電話をかけることができます。



オンライン電話帳

LDAP サーバーからダウンロードされた電話帳を表示します。

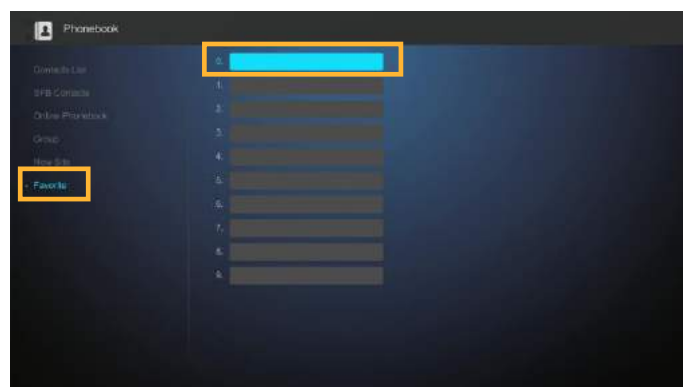


お気に入り

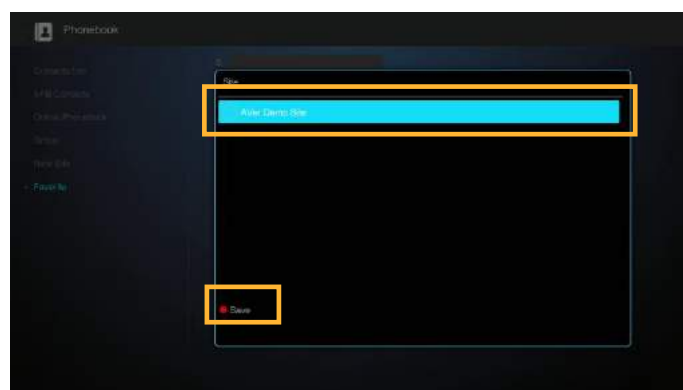
お気に入りリストに最大で 10 件の連絡先を登録できます。

【電話帳】の【お気に入り】を選択して  を押します。

お気に入りの連絡先として登録する数字 (0～9) を選択して  を押します。

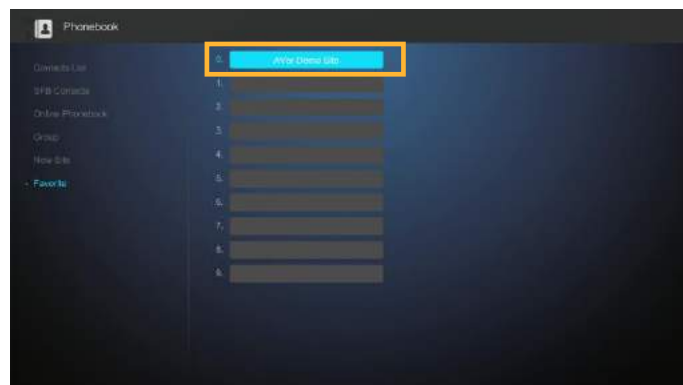


ポップアップされるグループサイトのリスト一覧から連絡先を選択し、リモコンの赤  ボタンを押して選択を保存します。



選択された連絡先がお気に入りリストに登録されます。

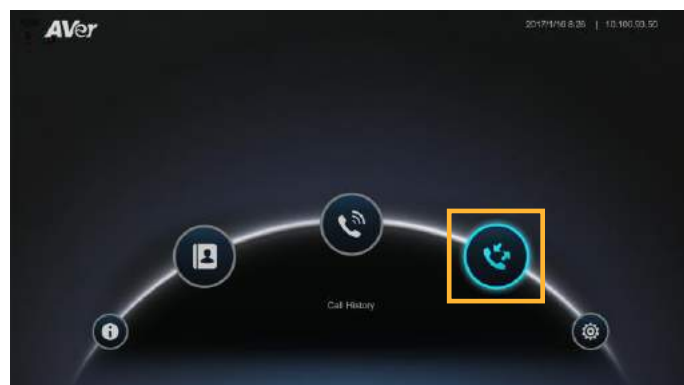
登録済みのお気に入りリスト (0 ～ 9 番) から電話をかけるには、【ホーム】メニュー画面でリモコンのボタン (0 ～ 9 番) を長押しします。



通話履歴

通話履歴では、過去の着信/発信とそのステータスを確認できます。

通話履歴リストから項目を選択して発信することもできます。

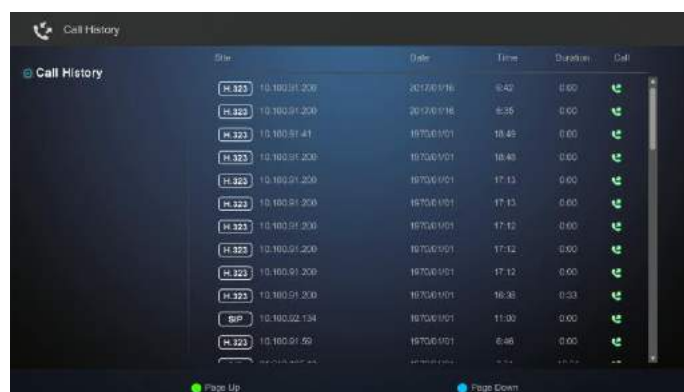


通話ステータス

「通話履歴」を選択して  を押します。

通話履歴には、あなたの IP アドレス、またはコールタイプとサイト名を表示日付/時刻、通話時間、およびステータスを呼び出します。

ステータス	通話	不在着信
着信		
発信		



通話履歴から電話をかける

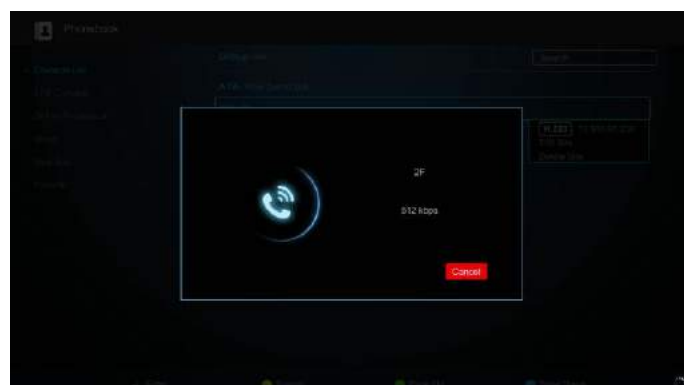
「通話履歴」を選択して  を押します。

 および  ボタンを使用して、選択項目を移動し、通話履歴リスト内で上下にスクロールします。

 を押して「発信」を選択して電話をかけます。または、リモコンの  ボタンを押して電話をかけます。



発信が開始されます。



通話履歴から連絡先を作る

通話の着信/発信情報を連絡先リストに保存することもできます。

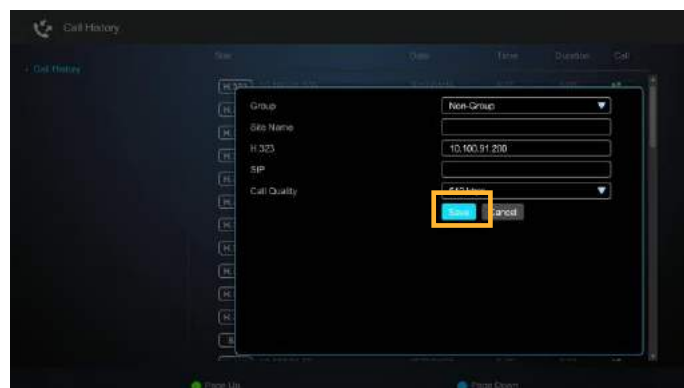
「通話履歴」を選択してを押します。

 および  ボタンを使用して、選択項目を移動し、通話履歴リスト内で上下にスクロールします。

 を押して「保存」を選択すると、連絡先編集フォームが表示されます。通話履歴で選択した通話エントリに基づいて、すでにすべての関連情報が連絡先フォームに入力されています。

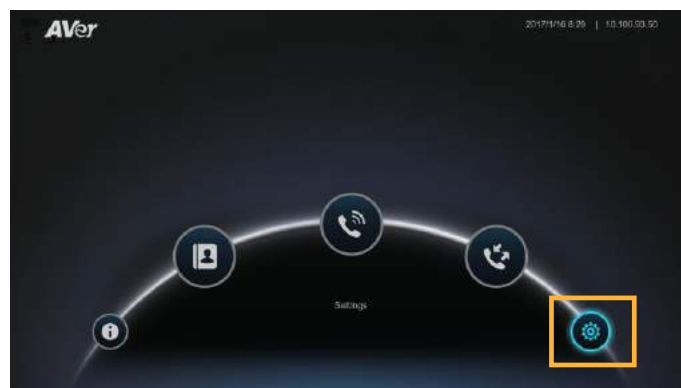


グループの選択を確認して、「保存」を選択し、通話エントリを連絡先に保存します。



設定

一般設定では、システム設定の変更、システム情報の確認、システムのテスト、録画された会議ファイルの再生を行うことができます。



通話設定

通話設定では、着信時の応答設定、既定の通話品質、データ暗号化の設定を行います。

自動応答

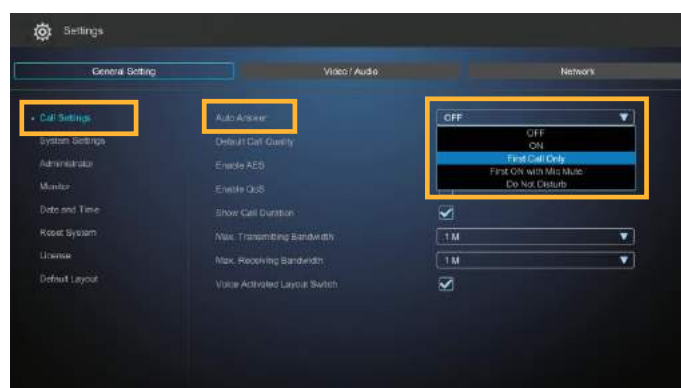
[一般設定]の[通話設定]を選択して $\leftarrow$ を押します。[自動応答]を選択し、選択肢を開きます：

- オフ：自動応答をしません。
- オン：自動応答をします。

最初の通話者のみ応答：最初の着信コールに自動的に応答し、次の着信コール以降に応答するか拒否するか手動で決定します。

マイクミュートで応答：最初の着信に自動的に応答します。ただし自拠点はミュートの状態です。

取り込み中：すべての通話に応答しません。

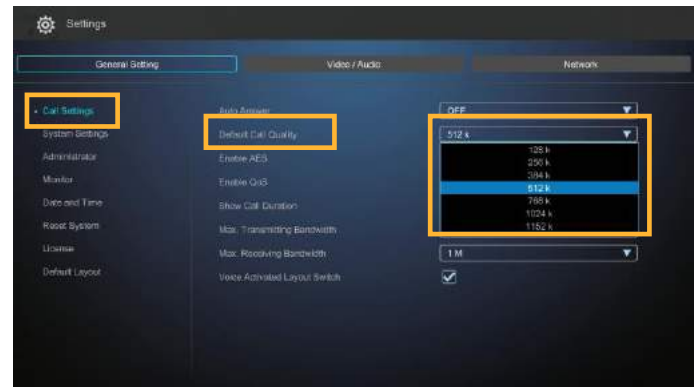


※すでに会議中の場合は、自動応答がオンになっている場合でも、次の着信を手動で受ける必要があります。

既定の通話品質

既定の通話品質として、64k、128k、256k、384k、512k、768k、1024k、1152k、1472k、1536k、1920k、2048k、3072k、4096k の選択をサポートしています。

※既定では 512k に設定されています。

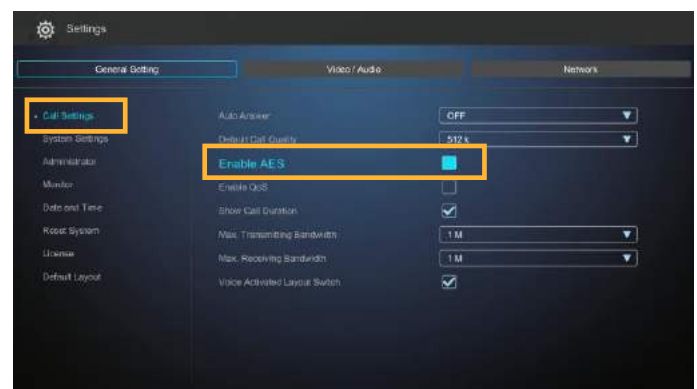


AES の有効化/無効化

暗号化（AES）は、ビデオ会議中に転送されるデータを暗号化します。暗号化されたデータは同様に AES 標準をサポートするデバイスでしか読み取れません。この機能を使用するには**通話する両者が AES をサポートしている必要があります**。

※通話先の機器が AES 暗号化非対応の場合、データは暗号化されません。

[一般設定] の [通話設定] を選択して  を押します。[AES を有効にする] チェックボックスを選択して、この機能を有効にします。



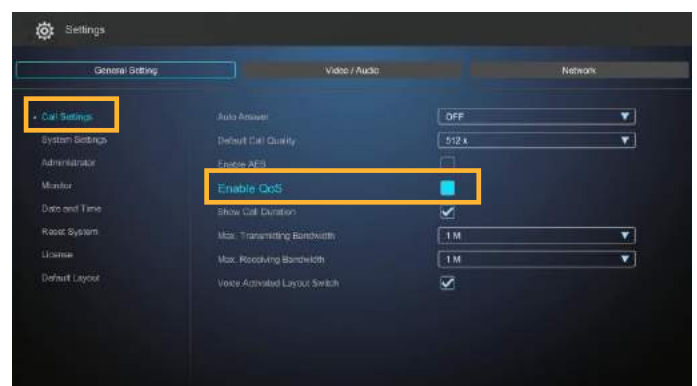
 この機能は、一部の国では制限され使用できない場合があります。

QoS の有効化/無効化

（QoS）は、ビデオ会議データフローで一定レベルのパフォーマンスを保証するために様々な優先データフローを提供します。

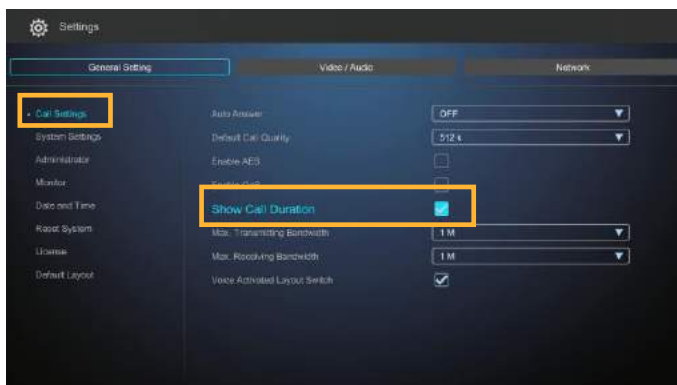
QoS を有効にするには、[一般設定] の [通話設定] を選択して  を押します。[QoS を有効にする] チェックボックスを選択して、この機能を有効にします。

※デフォルトでは、この機能は無効です。



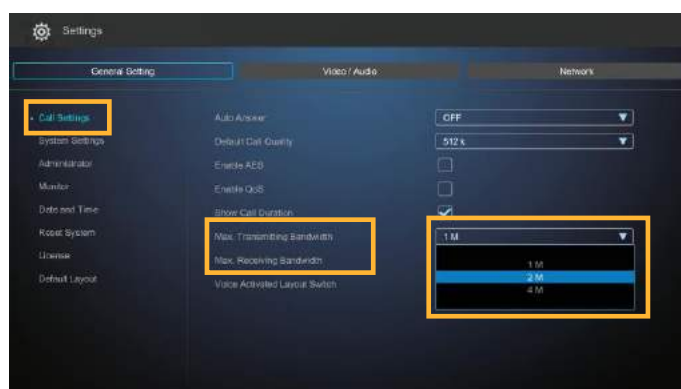
通話時間の表示

通話時間の表示を有効または無効にします。
※デフォルトでは、この機能は有効になっています。



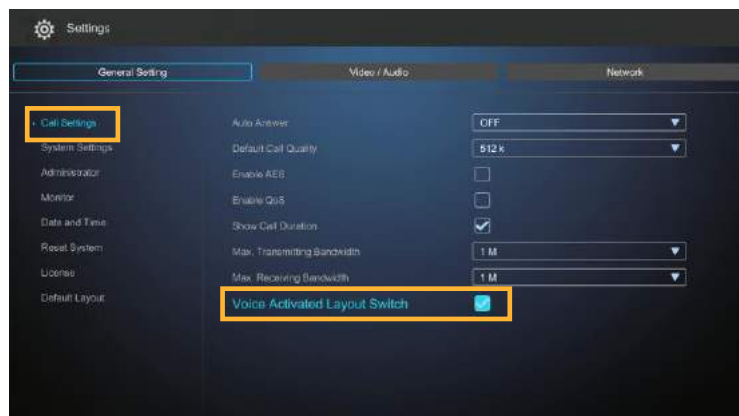
最大転送/受信帯域幅

受発信に使用する最大帯域幅を指定します。
最大 36M までの接続帯域をサポートします。



音声識別によるレイアウト切替

ビデオ会議中、SVC システムはどの接続ポイントが発話しているかを検出し、発話ポイントのビデオの画面を拡大表示します。



[音声識別によるレイアウト切替について]

1. 音声識別によるレイアウト切替機能を有効にする場合、3 拠点以上接続されている必要があります。
2. 音声識別機能が無効時、画面には最初に接続した拠点が表示されます。
3. 下図レイアウト 2、3、4 は一番大きなビデオ画面に発話ポイントが表示されており、残りのポイントは小さなビデオ画面領域に表示されています。接続しているポイントが音声識別によるレイアウト切替機能を有効にしていない場合、小さな画面に表示されます。
4. 下図レイアウト 4 は発話ポイントを一番大きなビデオ画面領域に表示しています。音声識別によるレイアウト切替が有効でない場合、一番大きなビデオ画面領域には自拠点のカメラ映像が表示されます。

Layout Sites	1	2	3	4	5	6
3						

システム設定

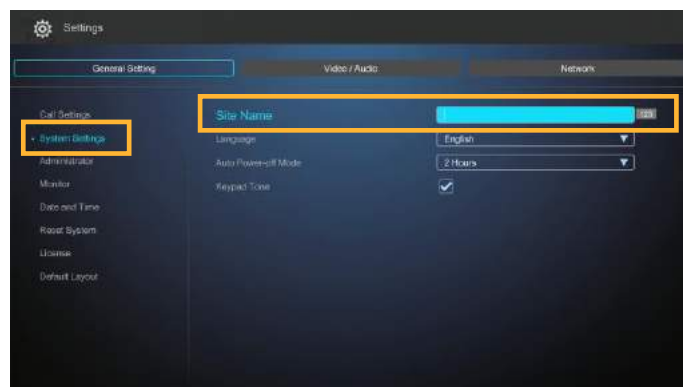
システム設定では、通話先に表示される自拠点のサイト名、言語設定、自動電源オフ設定、コーデック本体のキーパッド機能の有効/無効化を行うことができます。

サイト名

[一般設定]を選択して▼を押します。

[システム設定]を選択して↶を押します。

サイト名はこの SVC システムの名前で表されます。任意のサイト名を入力してください。



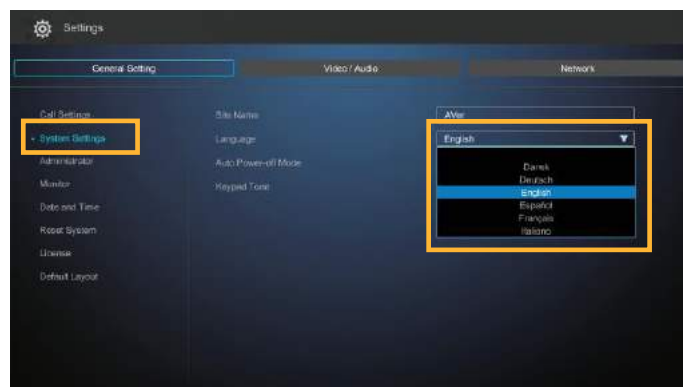
言語

[一般設定]を選択して▼を押します。

[システム設定]を選択して↶を押します。

SVC シリーズは 21 言語をサポートしており、この中から選択できます。

選択肢から言語を選択すると、システム言語が選択した言語へ変更されます。



自動電源オフ設定

自動電源オフモードでは、システムの電源を自動的にオフにする時間を設定できます。

[一般設定]を選択して▼を押します。[システム設定]を選択して↶を押します。

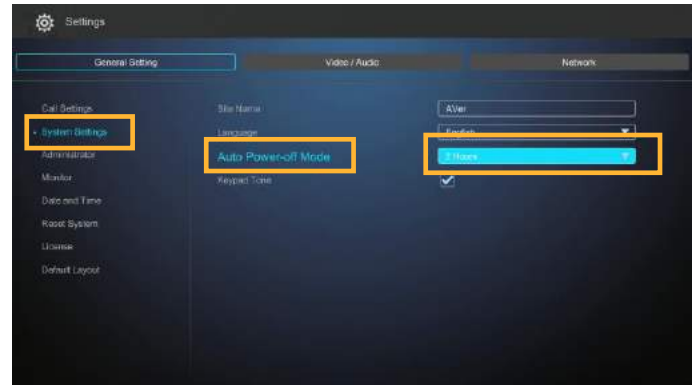
[自動電源オフ モード]

選択肢から時間を選択します。

(オフ/30 分/1 時間/2 時間/3 時間/4 時間)

この機能を無効にするには、[オフ] を選択してください。

自動電源オフが実行されると、システムは完全に電源オフの状態になります。システムをオンにするには、電源ボタンを押す必要があります。



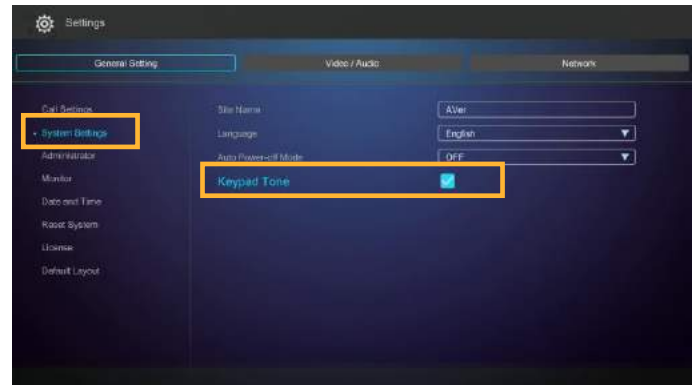
ダイヤル音

ダイヤル音では、リモコン操作音を有効または無効にできます。

[一般設定]を選択して▼を押します。[システム設定]を選択して↶を押します。

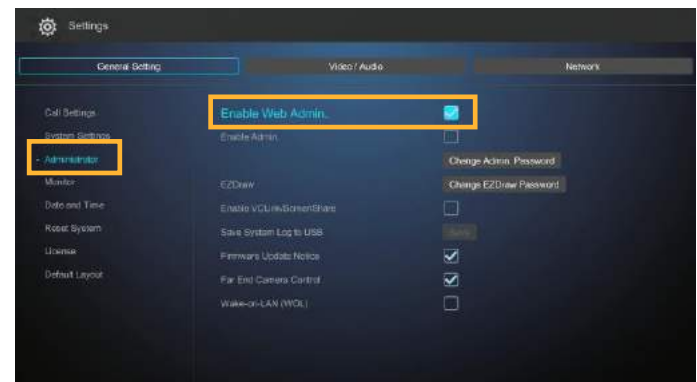
リモコン操作音を有効にするには、[ダイヤル音]の チェックボックスをオンにします。

※デフォルトでは、この機能は有効です。



ウェブアドミンを有効にする

[一般設定]を選択して▼を押します。[アドミン]を選択して↶を押します。[ウェブアドミンを有効にする]チェックボックスにチェックを入れます。SVC システムの設定と操作のため、ユーザがコンピュータのブラウザで遠端操作で SVC システムにログインできるようにします。



管理者権限を有効にする

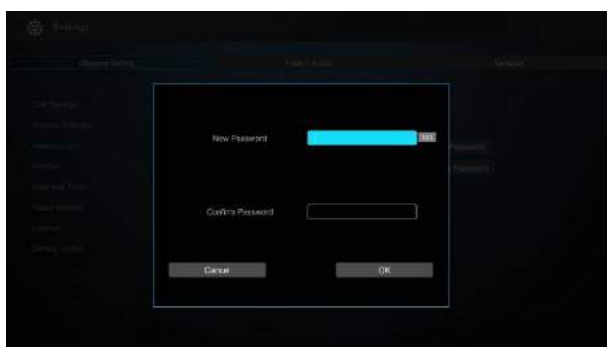
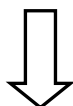
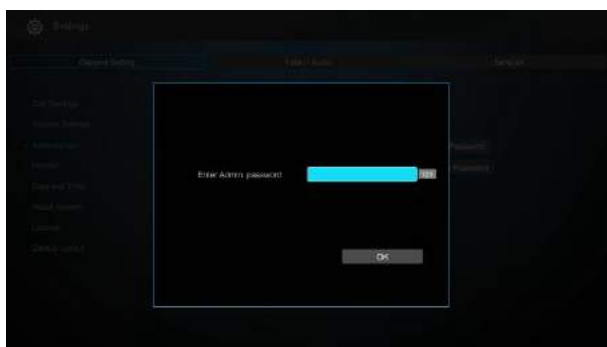
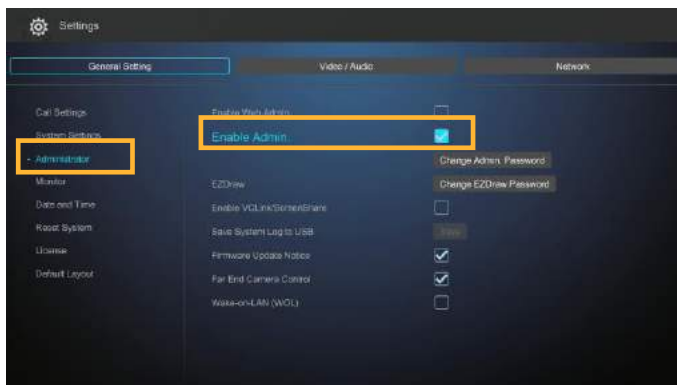
⬅️[一般設定]を選択して▼を押します。

[アドミン]を選択して⬅️を押します。

システム管理者の権限を有効にすることができます。既定のパスワードは「1234」です。

パスワードを変更するには、[アドミンパスワードを変更する]を選択します。

管理者パスワードを入力し、新しいパスワードを入力してパスワードを再確認し、OK を選択してパスワードを変更します。



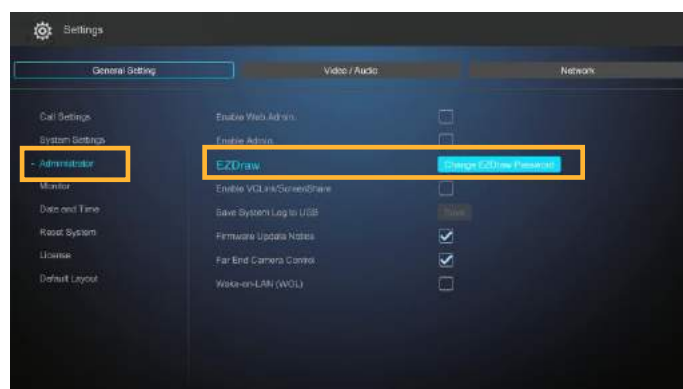
EZDraw パスワードの変更

[一般設定]を選択して▼を押します。[アドミン]を選択して⬅️を押します。

EZDraw が SVC に接続する際のログインパスワードを変更できます。

※EZDraw は最大 10 つのユーザーまで接続可能です。

※デフォルトのパスワードは「1234」です

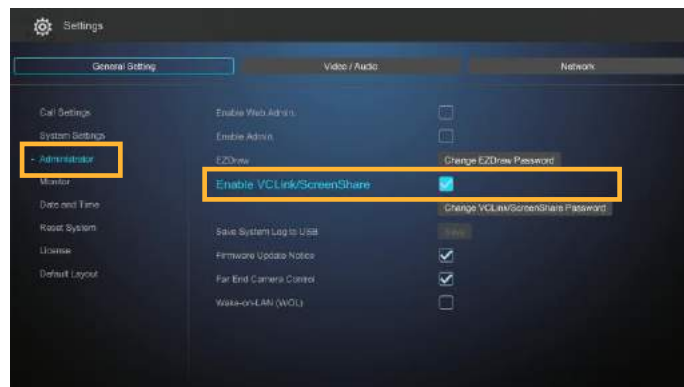


VCLink/ScreenShare を有効にする

[一般設定]を選択して▼を押します。

[アドミン]を選択して↶を押します。

ここでは VCLink と ScreenShare の機能を有効にすることができます。

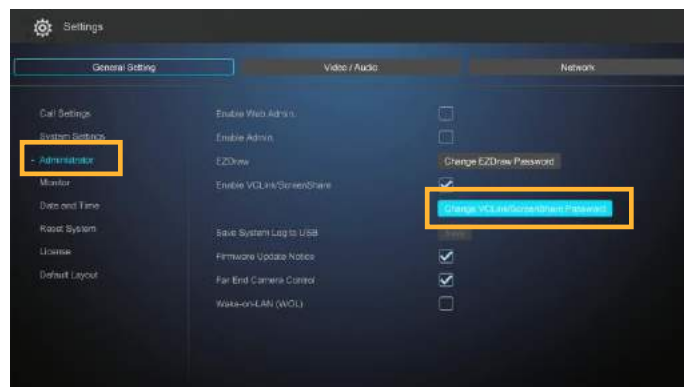


VCLink/ScreenShare パスワードの変更

[一般設定]を選択して▼を押します。

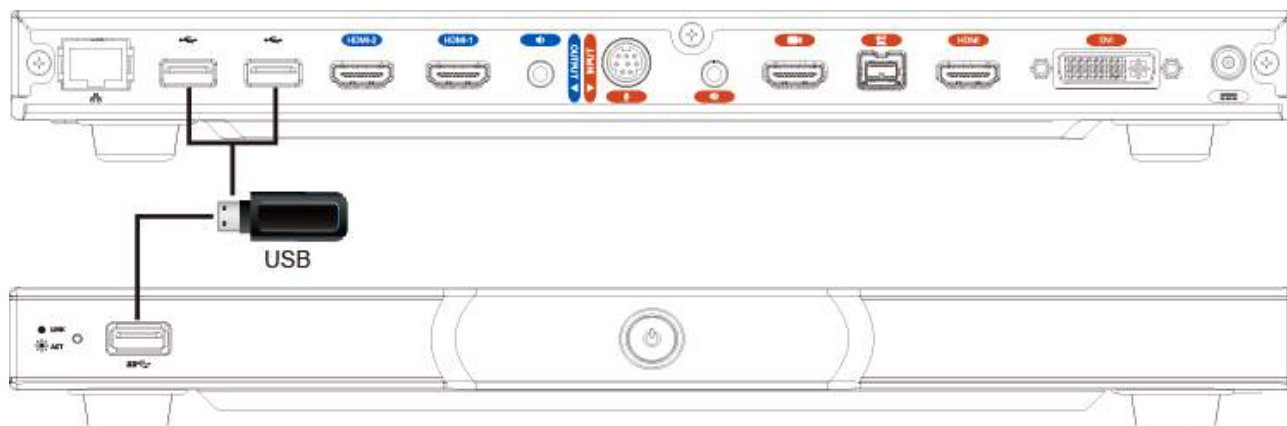
[アドミン]を選択して↶を押します。

ここでは VCLink と ScreenShare のパスワードを変更できます。既定のパスワードは “1234” です。



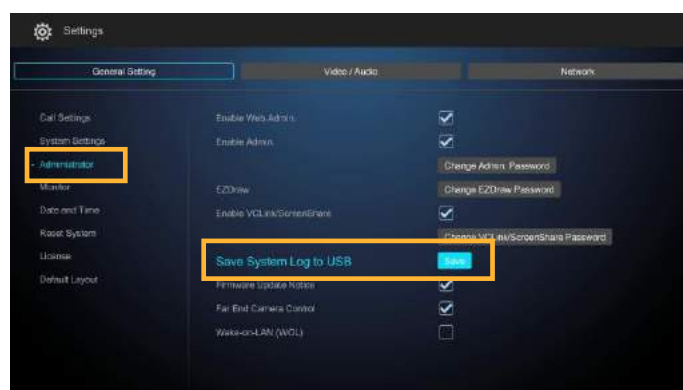
テレビ会議使用時に不明なエラーが発生した場合、システムログデータの保存を行います。

USB メモリを SVC コーデック本体の USB ポート（前面パネル）に挿入します。

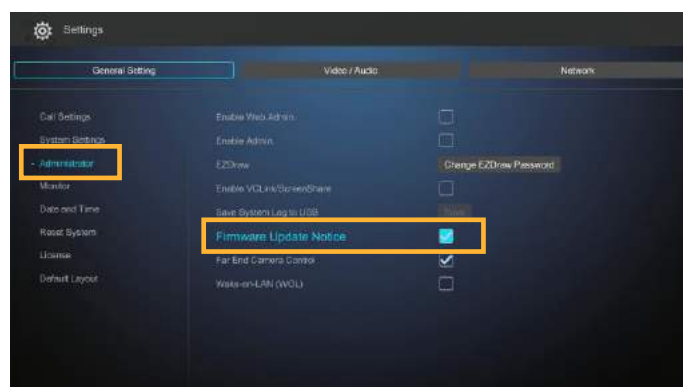


ファイルが保存されたら、[OK] を選択します。USB Flash ドライブを取り外しパソコンに USB メモリを挿入します。

message.tar.gz



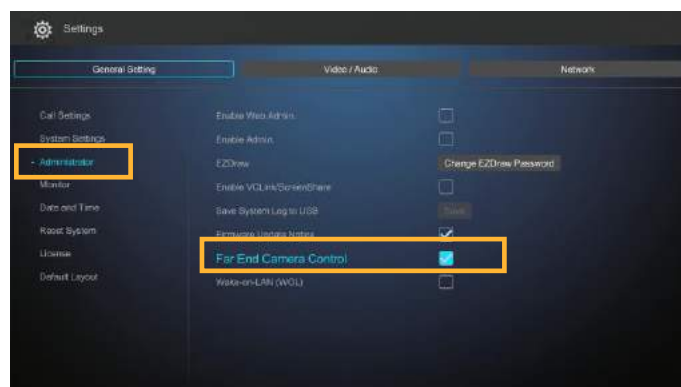
※デフォルトでは、この機能は有効です。



遠距離カメラ コントロール

[カメラの遠方コントロール] のチェック ボックスを選択して、遠方サイトを有効にしてカメラを制御します。

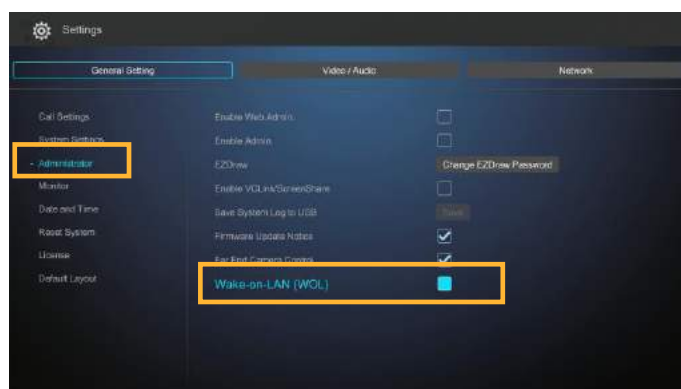
※デフォルトでは、この機能は有効です。



Wake-On-LAN (WOL)

Wake-on-LAN は、ネットワーク メッセージによってコンピュータを起動またはスリープ解除できる、Ethernet コンピューター ネットワーキング標準です。

※デフォルトでは、この機能は無効です。



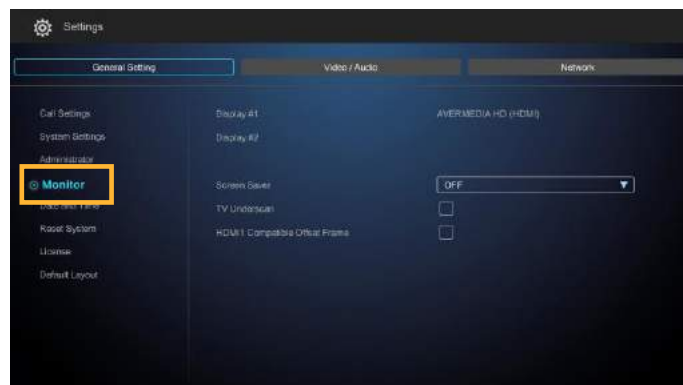
モニター

SVC コーデック本体は、デュアルモニター(2画面同時出力)に対応しています。

モニター設定画面では、各モニターに対して「縦横比」と「スクリーンセーバー」を設定できます。

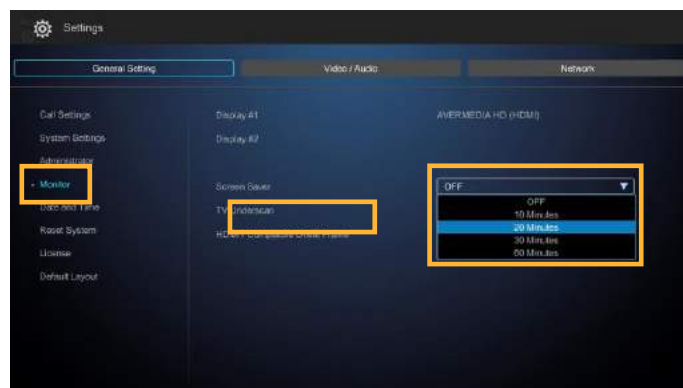
「一般設定」を選択して▼を押します。

「モニター」を選択して↶を押します。



選択肢から目的のモニター縦横比（自動/4:3/16:9）を選択して↶を押します。

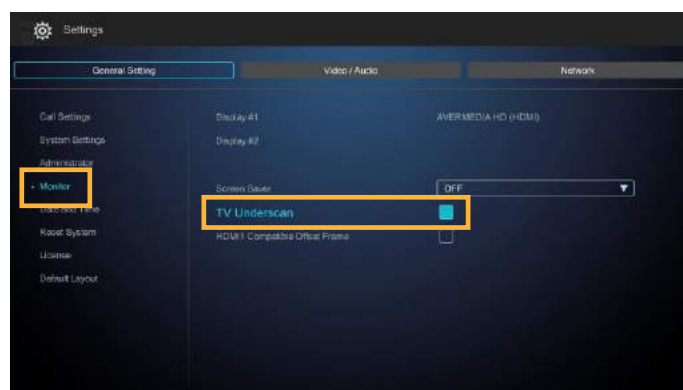
システムが適切な設定を自動的に検出するようにする場合は、「自動」を選択してください。



☞ システムがスタンバイモードに入ると、画面が黒になります。リモコンで任意のボタンを押して、システムを起動状態に復帰させてください。

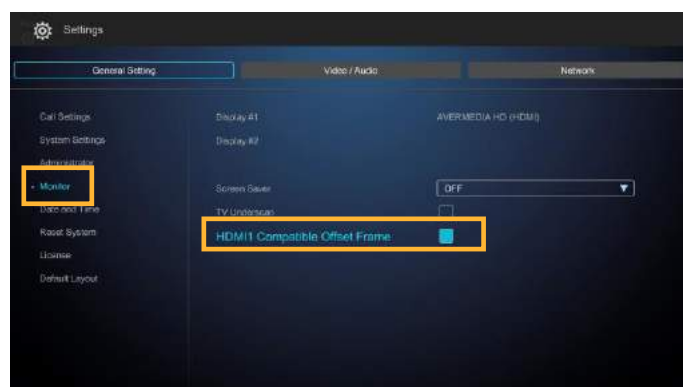
TV アンダースキャン

古いタイプの TV/CRT モニターの場合、この機能を使用すると、GUI がモニターの表示範囲を超えているときに画面表示を自動調節することができます。



HDMI1 互換オフセットフレーム

画面表示が中央に表示されていない場合は、この項目を使用し、画面の位置を調整します。



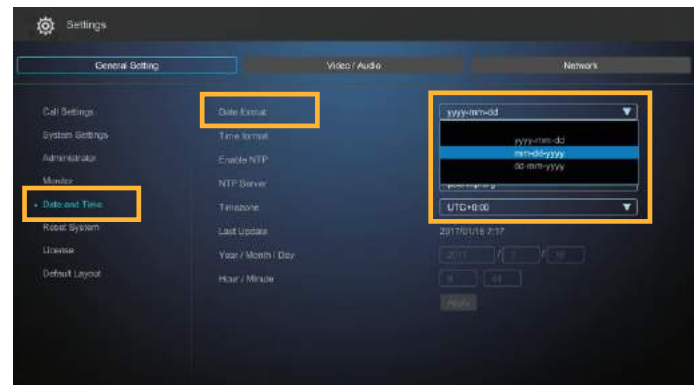
日時

日時設定では、日時形式の設定、時刻設定の調整、世界および国のタイム ゾーンの設定を行うことができます。

日付形式

[一般設定]を選択して、▼の操作で[日時設定]を選択して ↩ を押します。

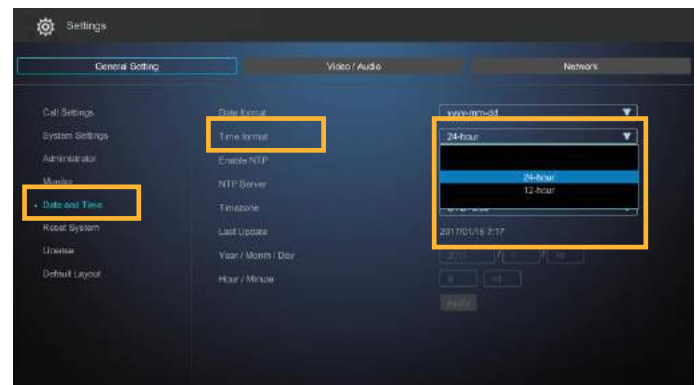
選択肢から目的の日付形式（yyyy-mm-dd/mm-dd-yyyy/dd-mm-yyyy）を選択します。



時刻形式

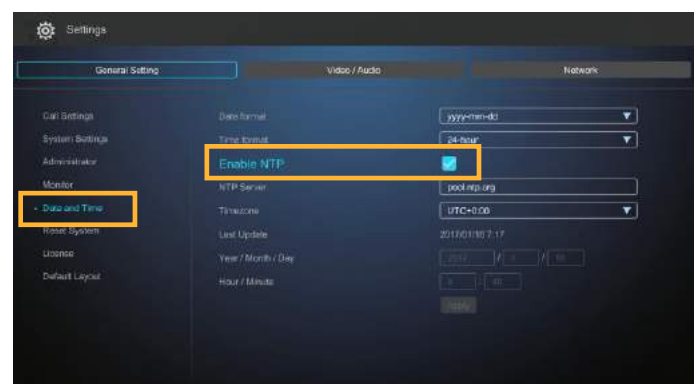
[一般設定]を選択して、↩を押します。▼を押して、[日時設定]を選択して、↩を押します。

選択肢から目的の時刻形式（24 時間/12 時間）を選択します。



NTP を有効にする

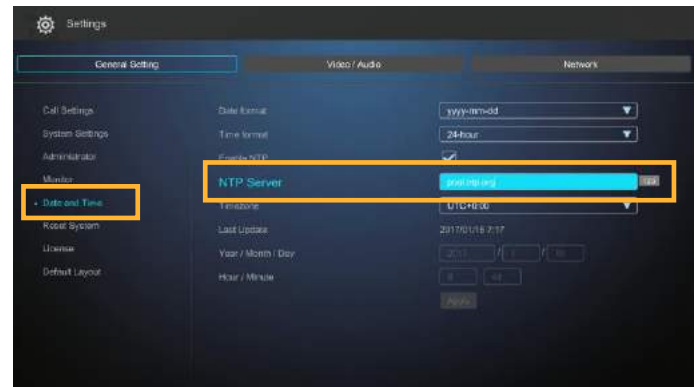
ネットワーク タイム プロトコル（NTP）は、コンピュータのネットワークでコンピュータ クロック時刻を同期するために使用されるプロトコルです。[NTP を有効にする] チェックボックスを選択して、コンピュータ時刻をネットワーク時刻と同じにします。



NTP サーバー

ネットワーク タイム プロトコル (NTP) により、管理者はすべてのネットワーク コンピューターをメイン サーバーと同期できます。

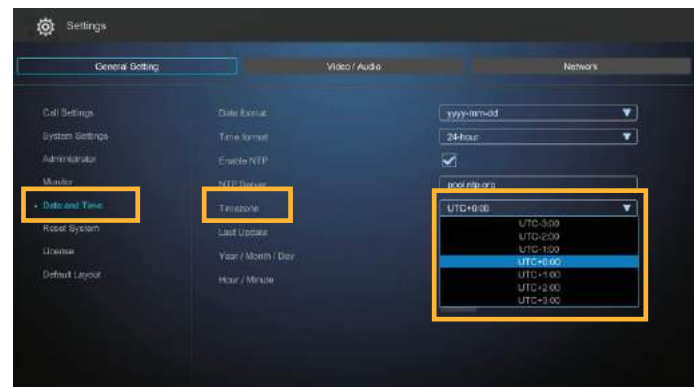
これにより、すべてのネットワーク マシン クロックを同じ時刻に保つことができます。使用する NTP サーバー名を入力します。



タイム ゾーン

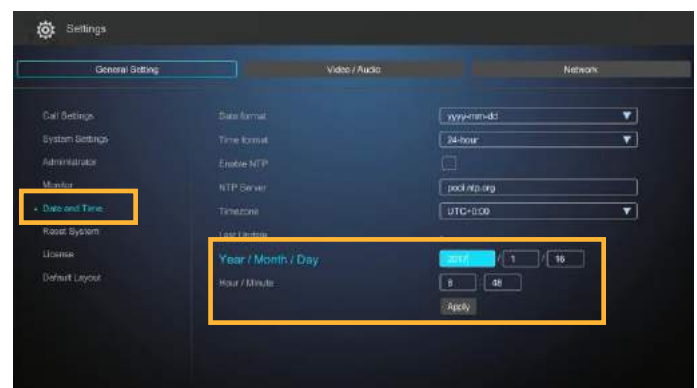
別の国または地域にいるときに、タイム ゾーンを利用して、元の地域と同じ時刻を保つように調整できます。

大陸上のほとんどのタイム ゾーンは、協定世界時 (UTC) からのオフセットの整数時間 (UTC-12 から UTC+14) です。

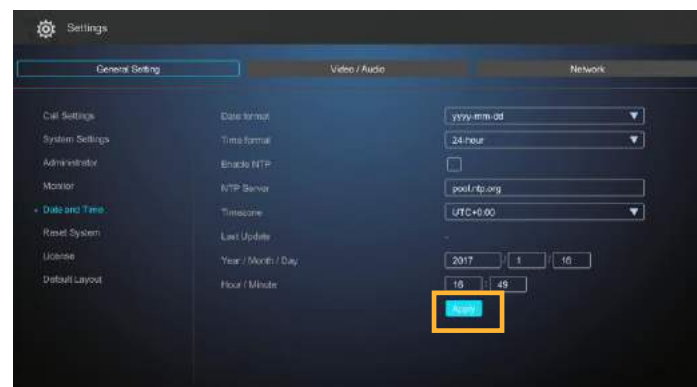


年と時間

現在のシステムに表示させる年、月、日、時、分を含む日時を入力します。



[適用] を選択して、設定を有効にします。

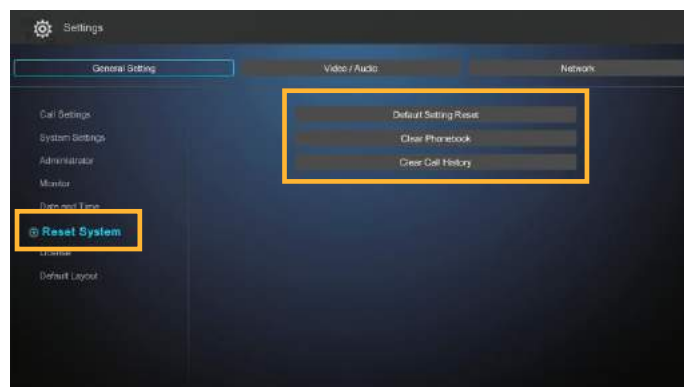


システムの初期化

システムの初期化では、コードック本体を工場出荷時の設定にリセットできます。

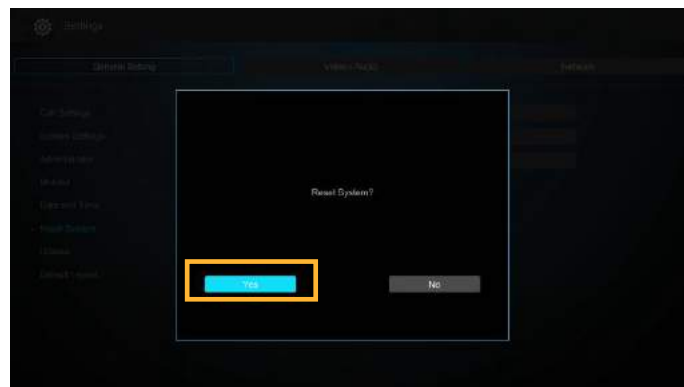
これにより、電話帳のエントリと通話履歴が全て削除されます。

システムをリセットする前に必ずバックアップしてください。



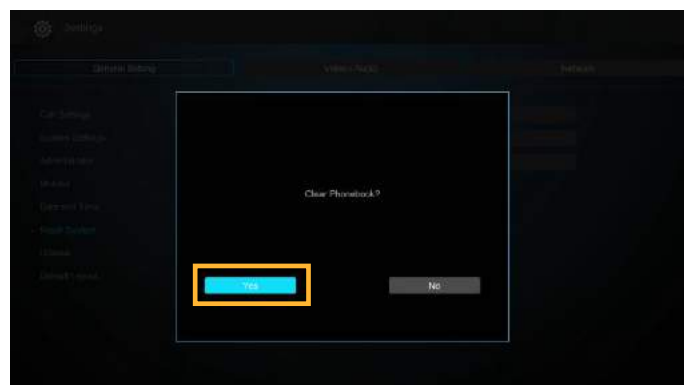
デフォルト設定のリセット:

LAN 設定、ビデオ/音声 コードック選択、通話設定などがリセットされます。[はい] をクリックして、システムを工場出荷時のデフォルト値にリセットします。

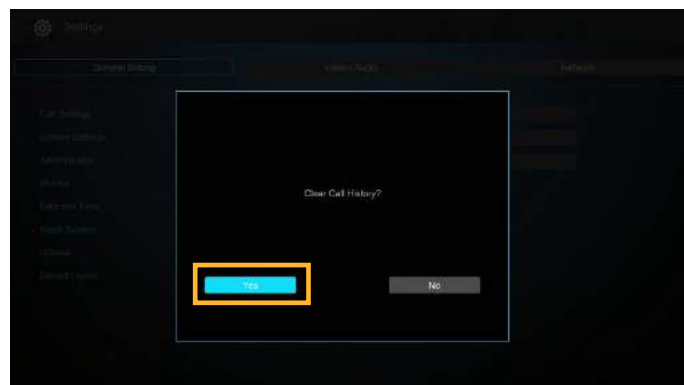


電話帳のクリア:システムに保存されているすべての電話帳エントリが削除されます。

[はい] を選択すると、電話帳のすべての内容が削除されます。

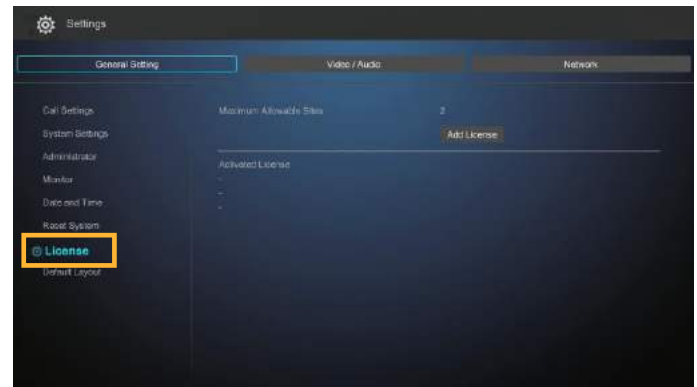


通話履歴のクリア:すべての着信および発信の通話記録が削除されます。[はい] を選択すると、通話履歴のすべての通話情報が削除されます。

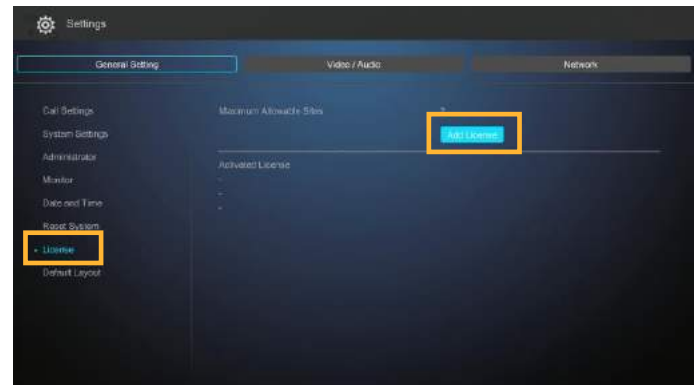


ライセンス

SVC シリーズはライセンスアップグレードにより、
最大 16 拠点の同時ビデオ会議まで拡張が可能です。
ライセンス購入に関しましてはご購入先の代理店までお問い合わせください。



[ライセンスを追加する] を選択し、
ライセンス シリアル番号を入力します。

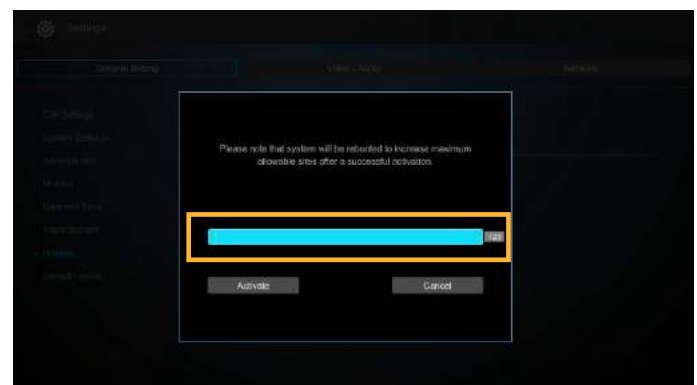


リモコンのキーパッド ボタンを押して、ライセンス シリアル番号を入力します。入力したら、[OK] を選択してライセンス入力ページに戻ります。次に、[有効にする] を選択してライセンスを登録します。

[メモ]

1. ライセンス シリアル番号は大文字小文字を区別します。
2. ライセンスは 1 台につき、1 つのみ有効です。

※複数の SVC で追加ライセンスを共有することはできません。



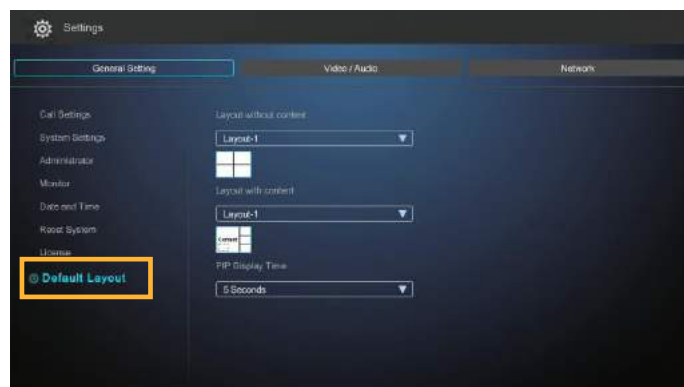
既定のレイアウト

テレビ会議中の既定レイアウトを設定できます。

コンテンツなし・コンテンツありのレイアウト

上記 2 種のレイアウトから選択できます。

通話開始時のテレビ会議中の表示レイアウトは、設定したレイアウトで表示されます。

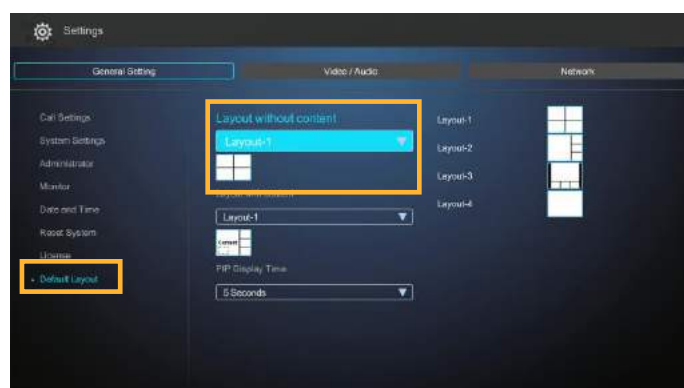


コンテンツなしのレイアウト:

通話映像のみを表示します。

コンテンツ共有画面は表示しません。

4 種の映像レイアウトから選択できます。

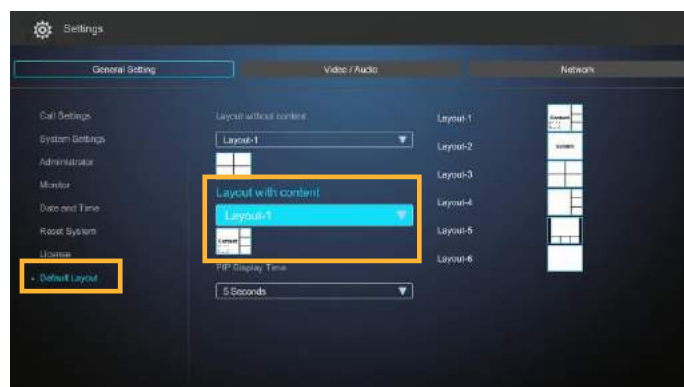


コンテンツありのレイアウト:

通話ビデオとコンテンツ共有画面を表示します。

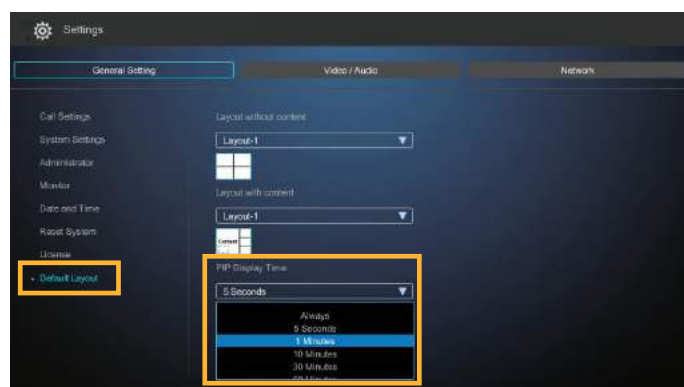
6種のレイアウトから選択できます。

※コンテンツ共有画面が含まれるのは2種のレイアウトのみです。



PIP 表示時間: 会議通話が接続されると、PIP モードで自拠点のカメラ映像が表示されます。PIP モードの表示時間は手動で設定変更が可能です。

※デフォルトの表示時間は 5 秒です。

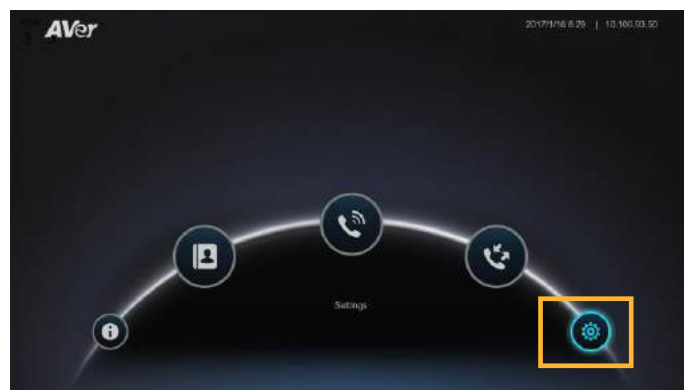


ビデオ/オーディオ

ビデオ/オーディオ設定画面では、
カメラ・マイクの詳細設定・使用するビデオ・オーディオ
形式の設定を行うことができます。

[設定]を選択して、を押します。

を押して、[ビデオ/オーディ]を選択してを押します。



カメラ

カメラ設定では、カメラのホワイト バランス、露出、鮮明度、および周波数を設定できます。

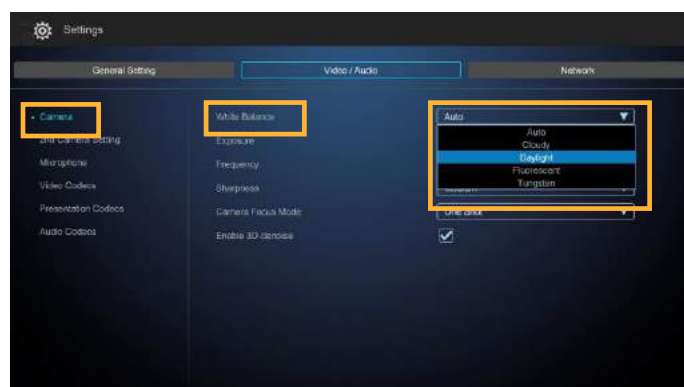
ホワイトバランス

ホワイトバランスは、写真で白い対象物が白くなるように調節する設定項目です。

[ビデオ/オーディ]を選択、

を押して、[カメラ]を選択します。

選択肢から[ホワイト バランス]を選択します。SVC
は 5 種類の撮影シーンをサポートしており、この中から
選択できます。



自動:自動でホワイトバランスを調整します。(デフォルト設定)

曇り:影の青みを補正し、実際に見える風景により近くなるように景色を調整します。

日光:曇非常に明るい日差しの中で撮影するときのみ「日光」設定を使用できます。

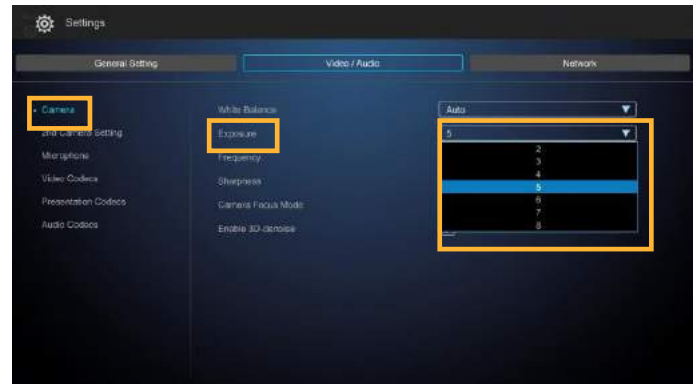
蛍光灯:緑または青の色合いがなくなります。人間の肌の色が青白くなることがあります。

タングステン:この設定は 3,200k の色温度を想定し、通常黄色の光を放つほとんどのタングステン電球環境下で有効です。

露出

露出は、ビデオ映像の光量を調整します。

露出レベルを 1～9 または「自動」から任意の値に設定できます。



周波数

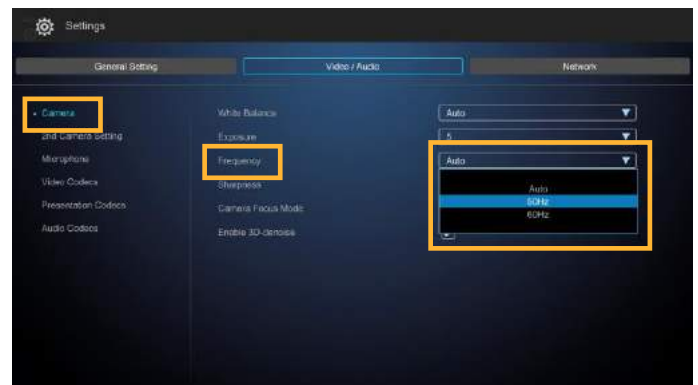
「周波数・地域設定」

選択肢から、周波数設定（自動/50Hz/60Hz/オフ）を選択します。

「参考」

東日本エリア: 50Hz

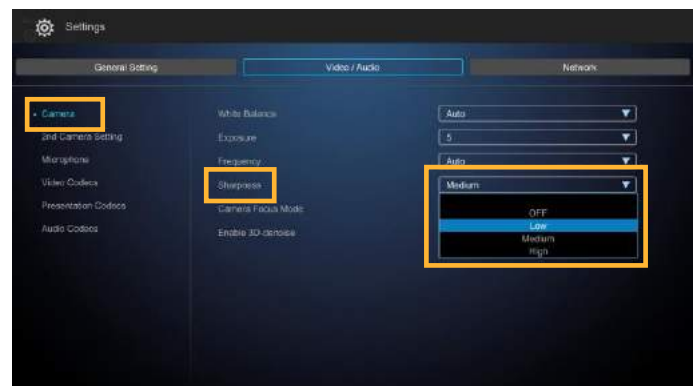
西日本エリア: 60Hz



シャープネス

ビデオ映像のシャープネスを調節します。

画面イメージの鮮明度が高いほど、ノイズが発生しやすくなります。



カメラフォーカスモード

シングルオートフォーカス:

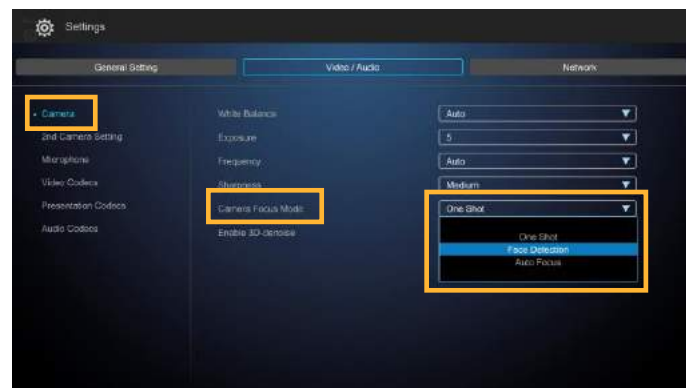
起動時のみピントを合わせます。

人物フォーカス:

起動時、カメラと一番近い顔を検出し、オートフォーカスを行います。リモコンの  キーを押して、もう一度ピントを合わせます。

連続オートフォーカス:

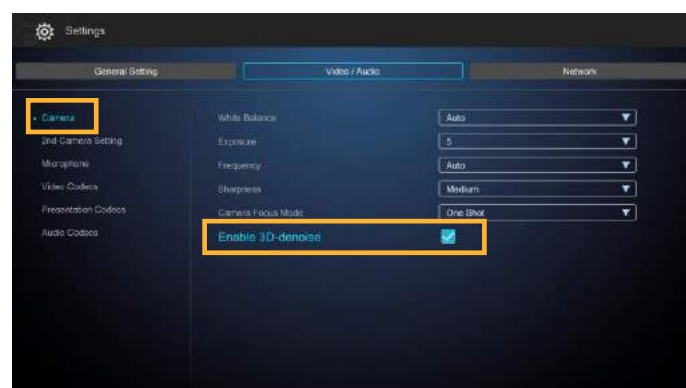
カメラは自動・連続的にオートフォーカスを行います。



3D デノイズを有効にする

この機能により、暗い環境での画像品質を改善することができます。

※デフォルトではオフに設定されています。

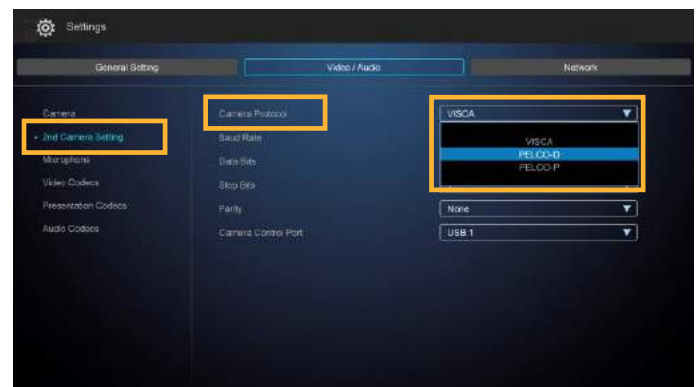


2nd カメラ設定

カメラの通信協定

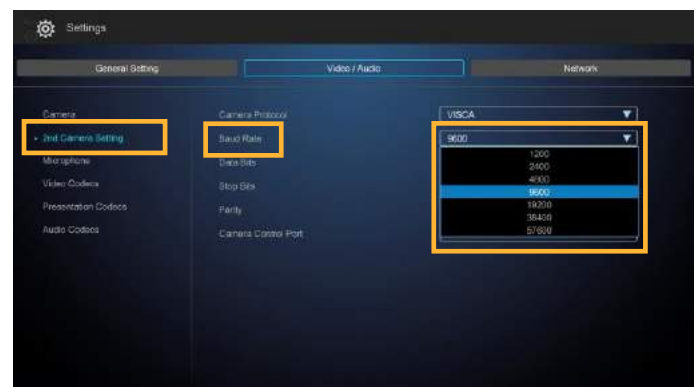
カメラの通信協定を選択します。

– VISCA、Pelco-D、Pelco-P



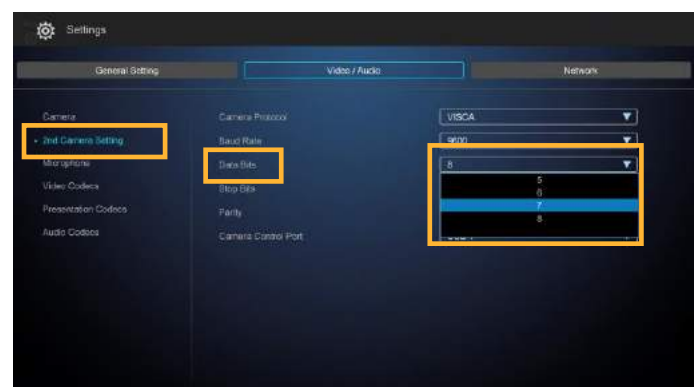
ボーレート

カメラのボーレートを選択します。



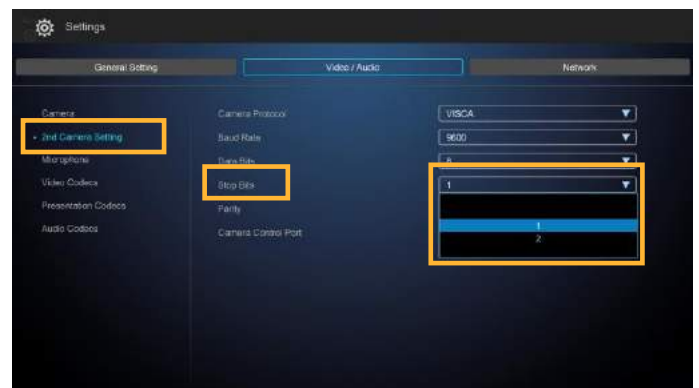
データビット

データビットを設定します。



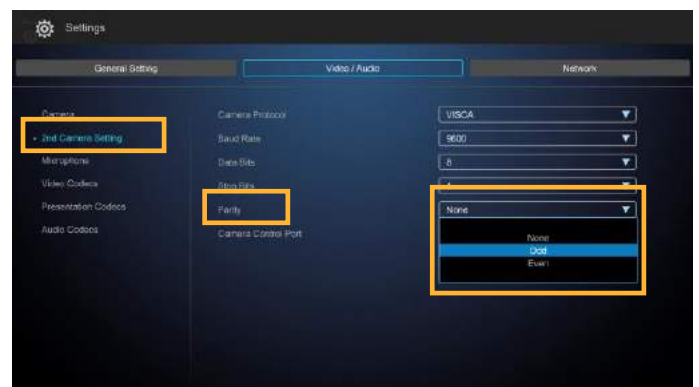
ストップビット

ストップビットを設定します。



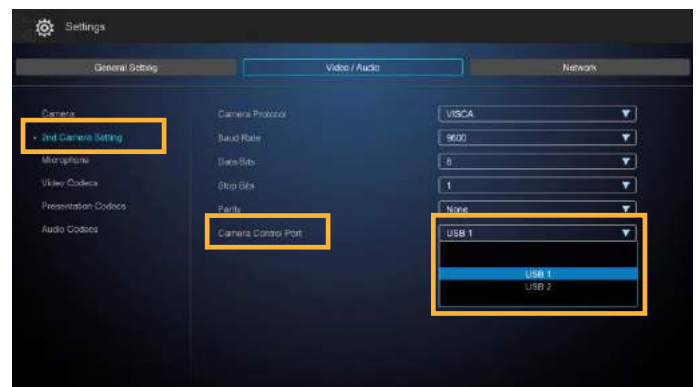
パリティ

パリティを設定します。



カメラコントロールポート

カメラコントロールポートを設定します。



マイク

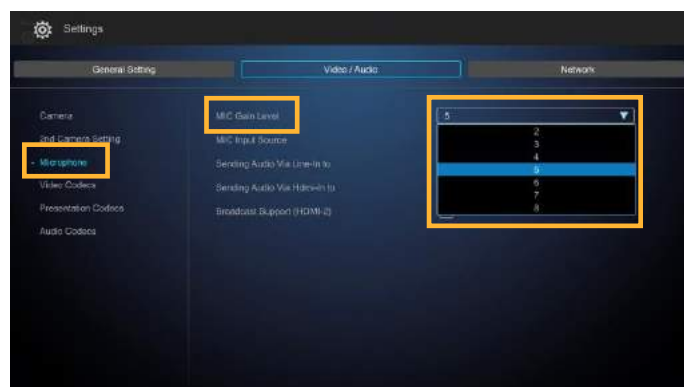
SVC シリーズは設置環境に合わせて、適切なマイク音量を調整することができます。

「マイク ゲイン レベル」は 9 段階で調整することができます。

マイク ゲイン レベル

「ビデオ/音声」の「マイク」を選択して  を押します。

選択肢から「マイクゲインレベル」を選択します。

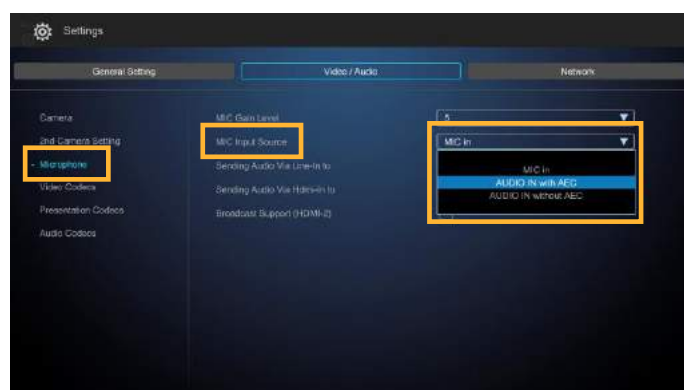


マイク入力ソース

マイク入力ソースを選択します

– マイク入力、音声イン(AEC 有効)または音声イン(AEC 無効)があります。

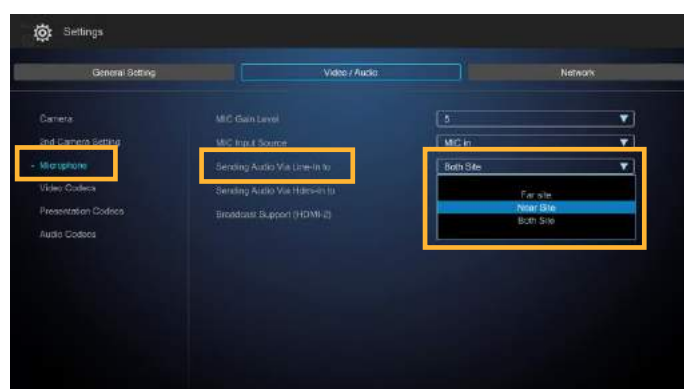
マイクが音声イン(Audio-IN)に接続されている場合、エコーの問題を回避するために、マイク入力ソースを「音声イン(AEC 有効)」の設定を推奨します。



Audio 入力 音声送り先

SVC の音声入力ポートに接続されている音声デバイスから音声送信先を選択できます。(相手側、自分側、両方)

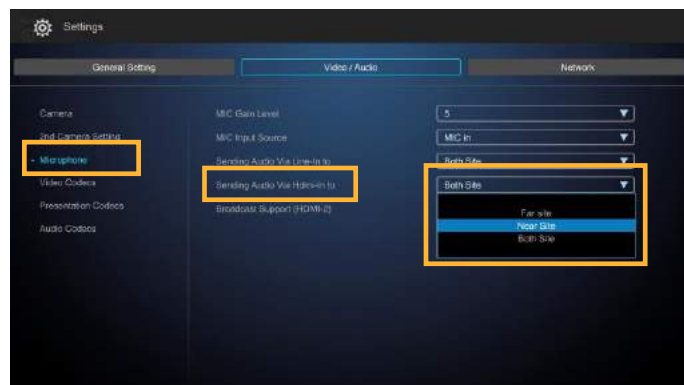
【メモ】 音声入力ポートが音声デバイスに接続され、「ラインイン経由での音声の送信先」機能が有効の場合、SVC 付属マイクは無効になります。



HDMI 入力 音声送り先

HDMI 入力ポートに接続されているデバイスを通して音声を送信します。HDMI 入力からの音声信号の送り先を切り換えることができます。

(相手側、自分側、両方)

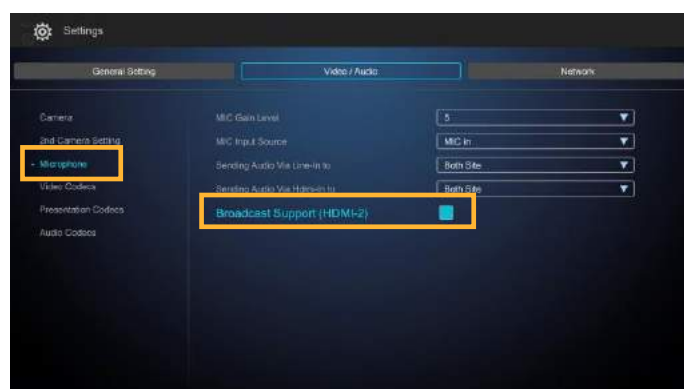


ブロードキャスト サポート (HDMI-2)

この機能はコーデック本体の HDMI-2 ポートに接続されているデバイスを通して、ビデオ会議中に自分の発話音声を聞こえるようにすることができます。

※マイク入力ソースでは[マイク入力] を選択してください。

デバイスがコーデック本体 HDMI-2 ポートに接続されていない場合は、声が TV またはスピーカーから出たときにハウリングが発生します。

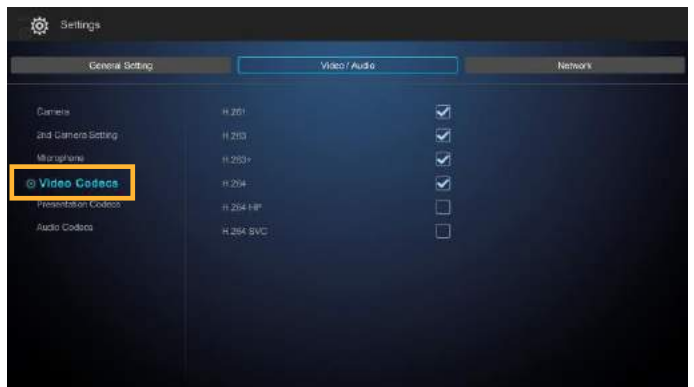


ビデオ/音声コーデック

ビデオ、ファイル共有および音声コーデックを設定します。

[ビデオ/音声]の[ビデオコーデック]、[ファイル共有コーデック]、[音声コーデック]を選択し、使用するコーデック形式を選択します。

を押して保存します。



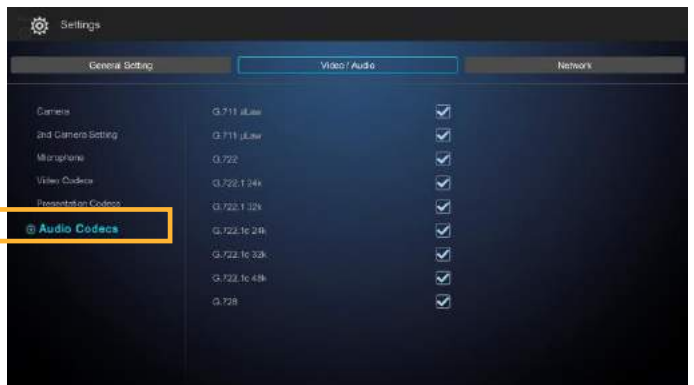
使用するビデオ/ファイル共有/音声コーデック形式を選択します。H.323 標準での接続時、各プロトコルは特定の通信状況に応じ、最適なパフォーマンスを発揮します。

ビデオコーデック

:H.261、H.264、H.263+、H.263、H.264HP、H264SVC

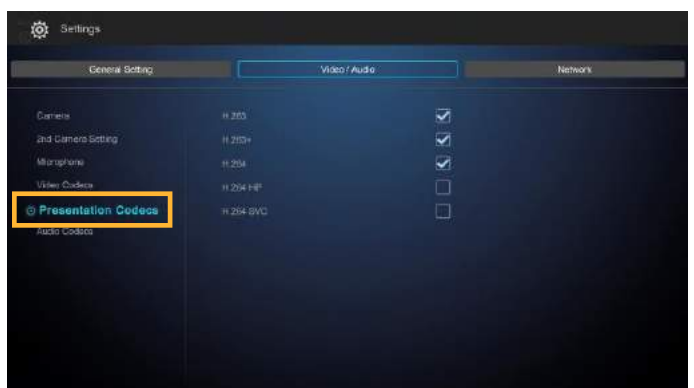
※H.261 は常に既定として有効化されています。

※H.264SVC は AVer 製品同士のみ互換性があります。
デフォルトはオフに設定されています。



ファイル共有コーデック

H.263、H.263+、H.264、H.264HP、H264SVC



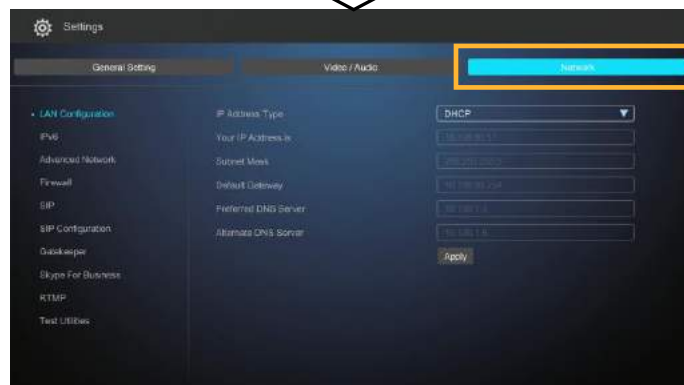
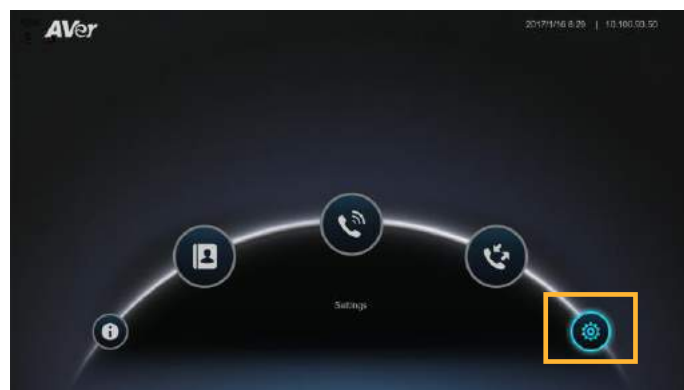
音声:G.728、G.722.1C、G.722.1*、G.722、G.711

*G.722.1/G.722.1C Polycom® 社よりライセンス付与

ネットワーク

ネットワーク設定では、[SIP サーバー]、[ゲートキーパー]、[ファイアウォール]、および [LAN 構成] を設定できます。

[LAN 構成]と[ファイアウォール]を設定する前に、P.105 の LAN 接続のシナリオを参照し、テレビ会議を使用する実際のネットワーク接続環境をご確認ください。



LAN 構成

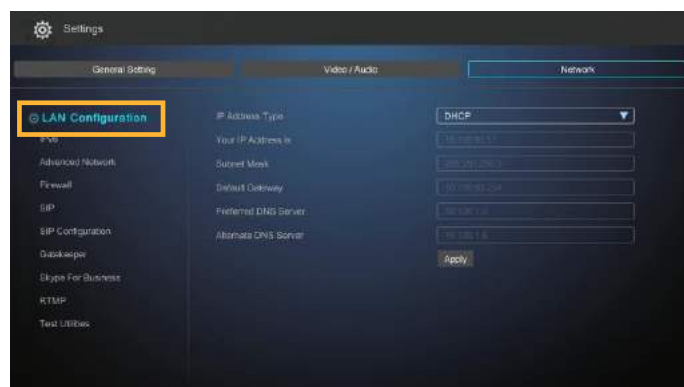
AVer SVC は IPv4 または IPv6 の IP アドレスに対応しております。

以下項目を設定して、LAN 設定を行います。

[設定]を選択して  を押します。

▶ を押して[ネットワーク]を選択します。

▶  を押して[LAN 構成]を選択して  を押します。

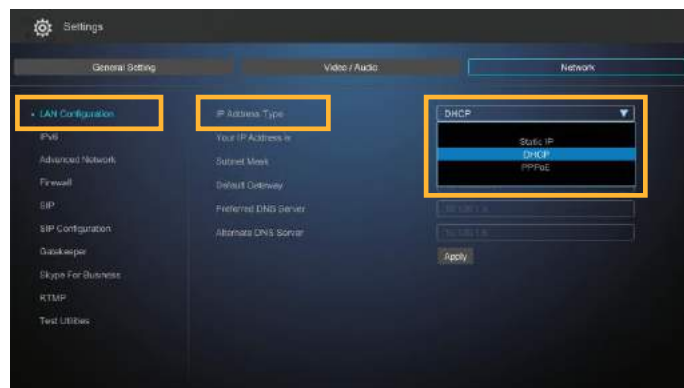


IP アドレス タイプ

DHCP:DHCP サーバーから自動的に IP アドレスを取得するようにシステムを設定します。

静的 IP:割り当てられた IP アドレスを使用するようにシステムを設定します。パブリック IP アドレスが利用可能な場合はこれを選択します。

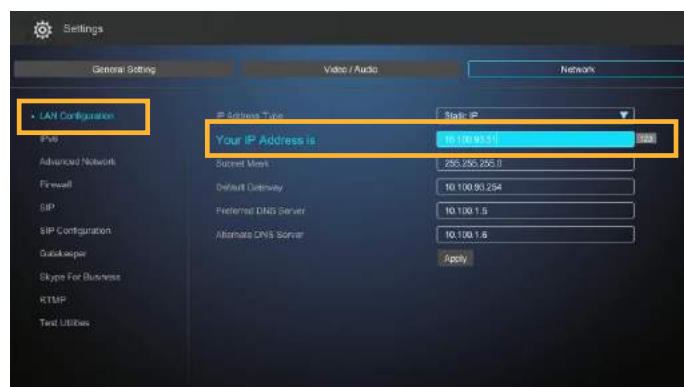
PPPoE: PPPoE アカウントのユーザー名とパスワードを入力します。



使用中の IP アドレス

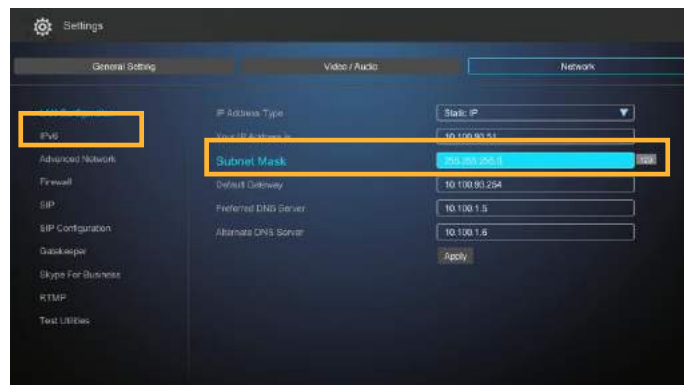
使用中の IP アドレスを表示します。

IP アドレスを手動で設定する必要があるときは入力します。



サブネット マスク

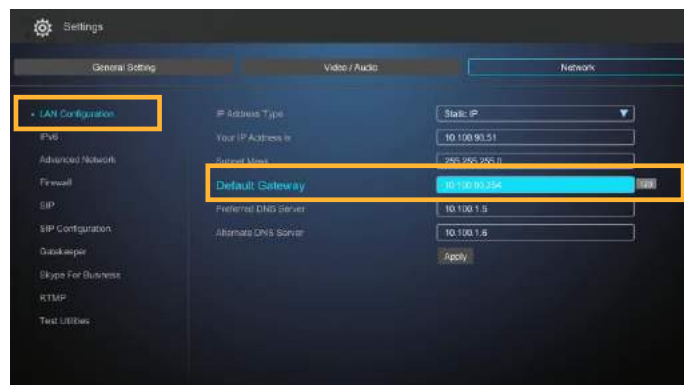
指定された IP アドレス ルーティング プレフィックスを表示します。システムが自動的にサブネット マスクを取得しない場合は、サブネットマスクアドレスを手動で入力します。



デフォルト ゲートウェイ

ゲートウェイとは、別のネットワークへの入口としての役割を果たすネットワーク ポイントです。

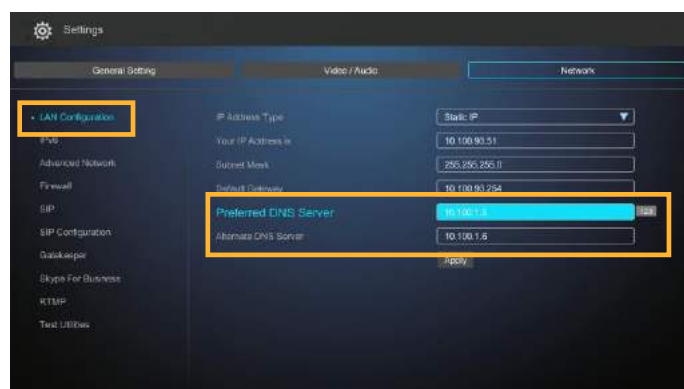
システムが自動的にゲートウェイを取得しない場合は、ゲートウェイアドレスを手動で入力します。



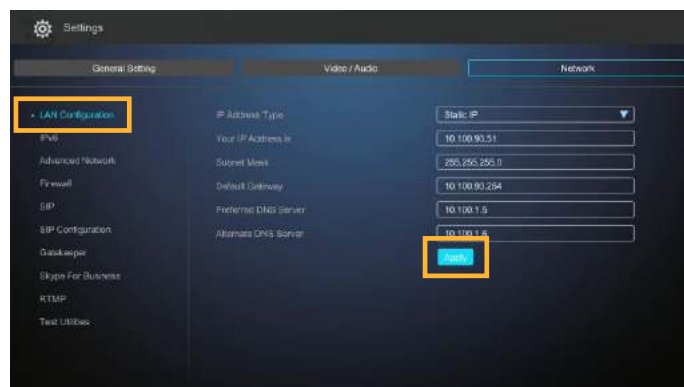
優先/代替 DNS サーバー

ドメイン ネーム システム (DNS) サーバーはネットワーク上でマシンを識別できるようにする IP アドレスに変換します。

テレビ会議に使用する優先および代替 DNS サーバーアドレスを入力します。



すべての設定を終了したら、[適用] を選択して、変更された設定を有効にします。

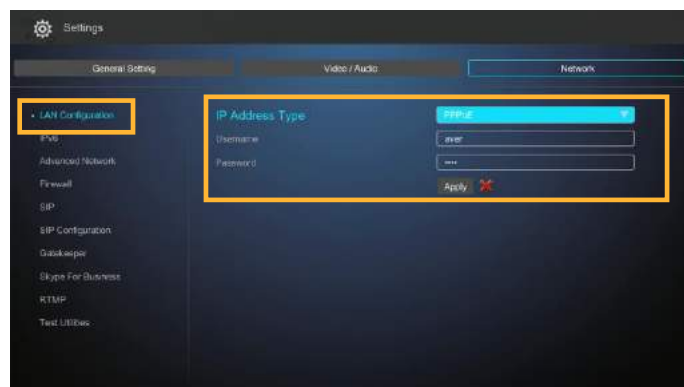


PPPoE

IP アドレス タイプ: [PPPoE]を選択します。

ユーザー名/パスワード: PPPoE アカウントのユーザー名とパスワードを入力します。

[適用]をクリックして接続します。



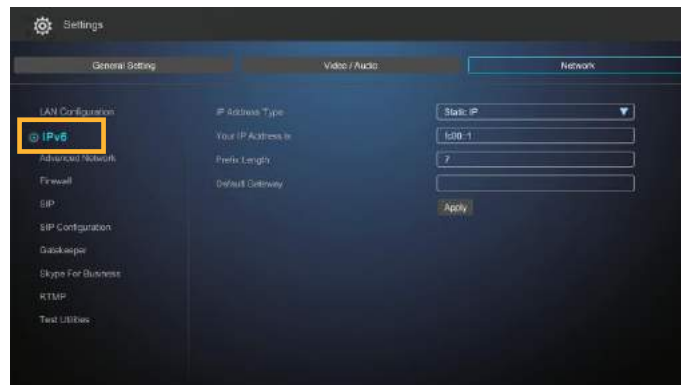
IPv6

IPv6 アドレスは、コロンで区切られた 16 進表記の 128 ビット IP アドレスです。

[設定]を選択してを押します。

を押して[インターネット]を選択します。を押して[IPv6]を選択してを押します。

以下の関連項目を設定して、LAN 設定 (IPv6) を行います。



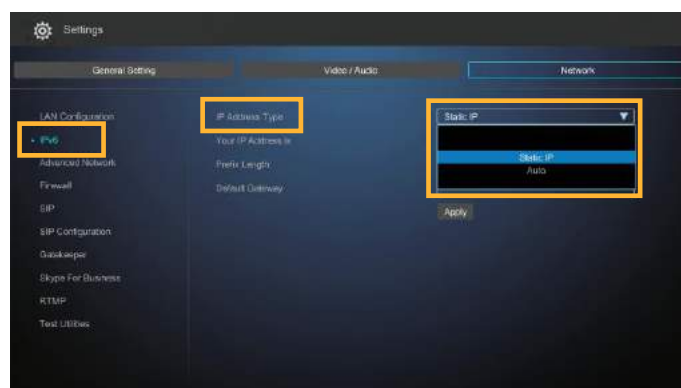
IP アドレスの取得

静的 IP:

割り当てられた IP アドレスを使用するようにシステムを設定します。パブリック IP アドレスが利用可能な場合はこれを選択します。

自動:

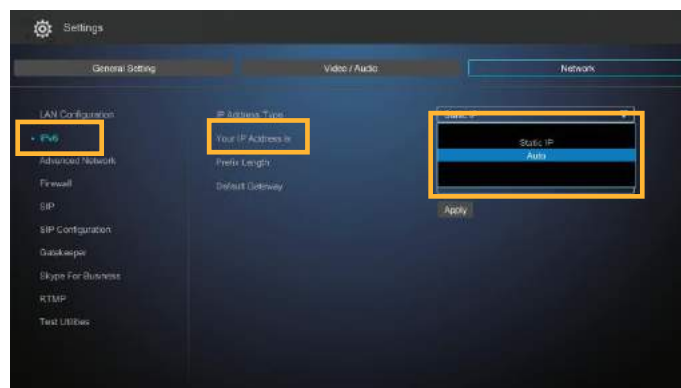
動的 IP アドレスを自動的に取得します。



使用中の IP アドレス

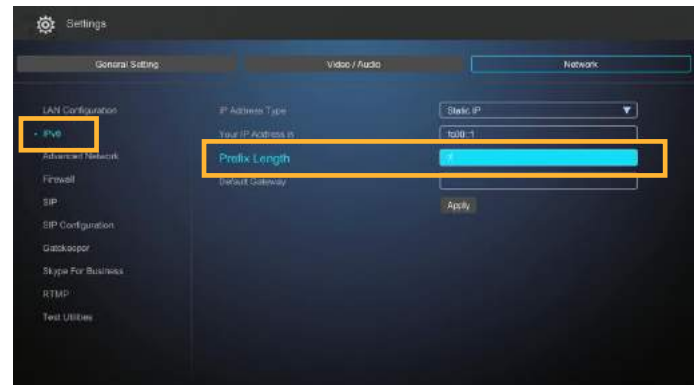
使用中の IP アドレスを表示します。

IP アドレスを手動で設定する必要があるときは入力します。



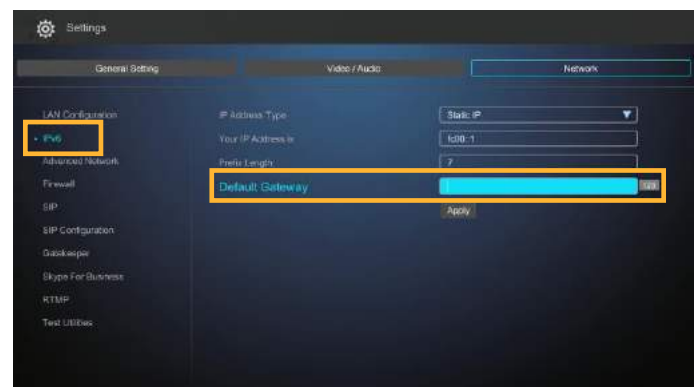
プレフィックス長

プレフィックス長により、基盤のネットワークメディアで許容される限りの IPv6 デバイスを配置できます。

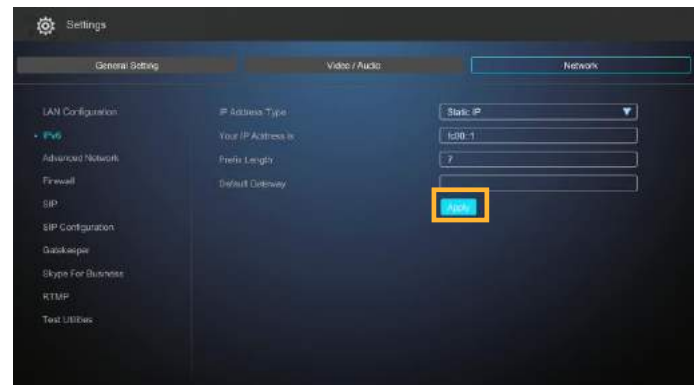


デフォルトゲートウェイ

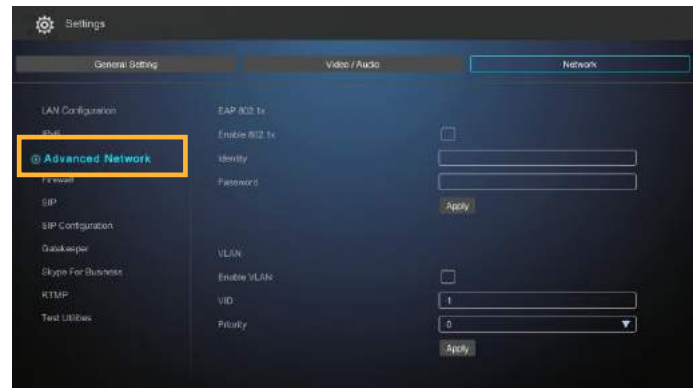
デフォルトゲートウェイが自動的に作成できない場合、手動で IP アドレスを入力します。



すべての設定を終了したら、[適用] を選択して、変更された設定を有効にします。



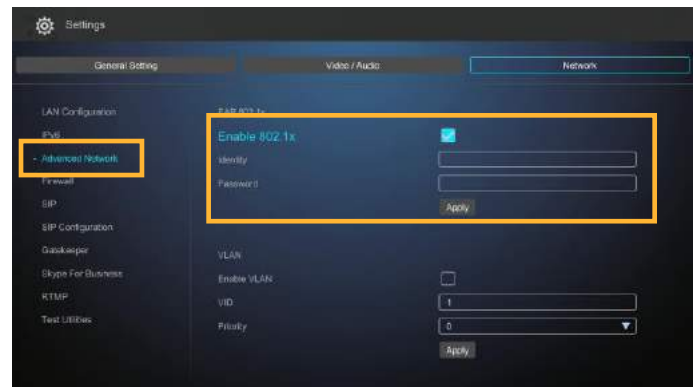
[ネットワーク]の[ネットワーク認証設定]を選択して、を押します。



EAP 802.1x

- **802.1xを有効にする**: 802.1x 協定を有効/無効にします。IEEE 802.1x は、ポートベースのネットワークアクセスコントロール(PNAC)の IEEE 標準であり、LAN または WLAN に接続するデバイス認証を提供します。
- **ユーザーID**: 802.1x 認証の ID を入力します。
- **Password**: Enter 802.1x's authentication password.

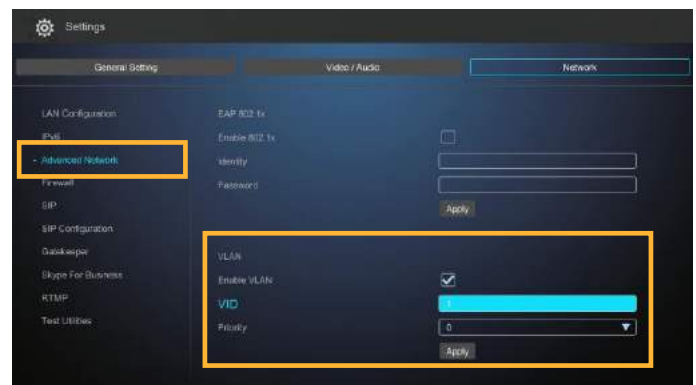
[適用]をクリックして、設定を保存します。



VLAN

- **VLANを有効にする**: VLAN を有効/無効にします。VLAN は、データリンク層でブロードキャストドメイン を分割する技術です。
- **VID**: VLAN のポートを入力してください。
- **優先順位**: VLAN パケットの優先順位を割り当てます。

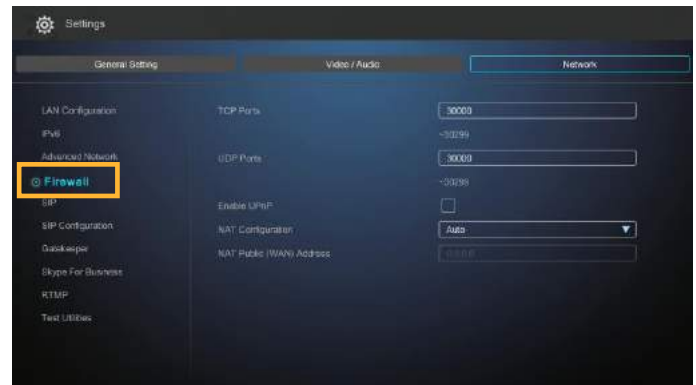
[適用]をクリックして、設定を保存します。



ファイアウォール

以下の項目を設定して、ファイアウォールをセットアップします。

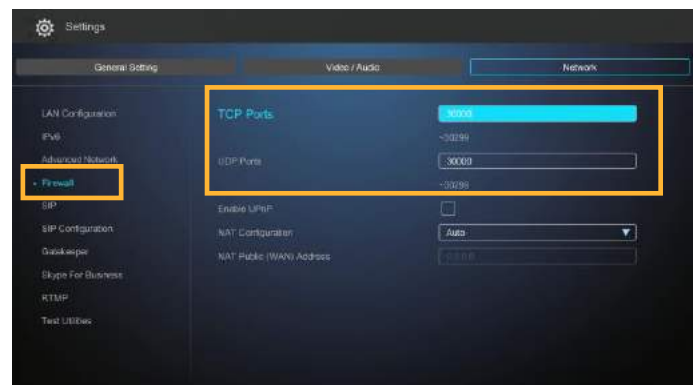
[ネットワーク] の [ファイアウォール] を選択して  を押します。



TCP/UDP ポート

既定では、システムは 30000 ~ 30999 の範囲の TCP/UDP ポートを通して通信を行います。

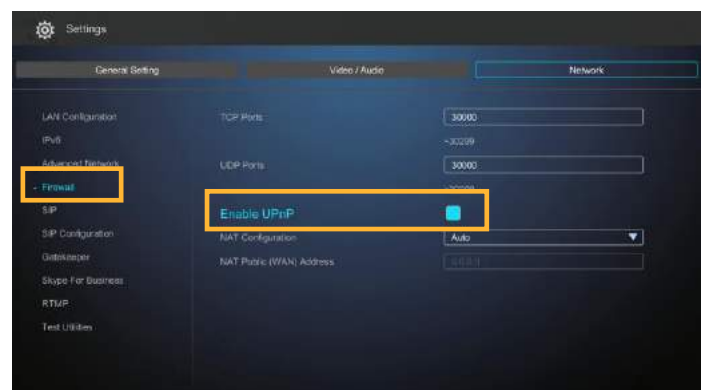
特定のネットワーク環境に合わせ、範囲指定ができます。



🔗 H.323 の通話セットアップには、“UDP (ポート 1719)”/“TCP (ポート 1720)” 経由での着信/発信トラフィックが可能になるようにファイアウォールを設定する必要があります。

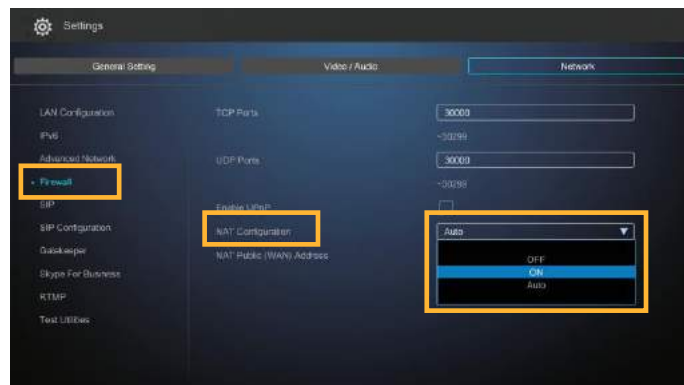
UPnP を有効にする

チェックを入れて UPnP を有効にします。



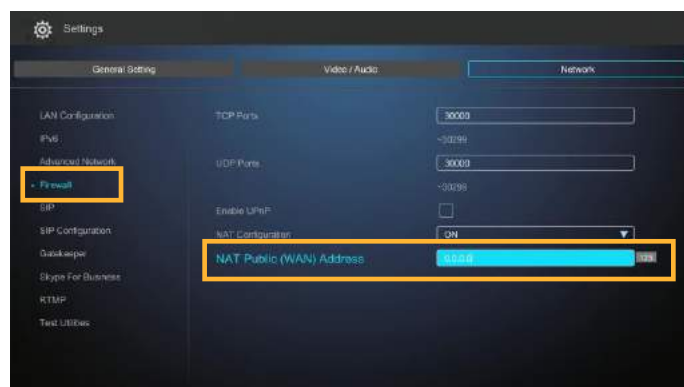
NAT 設定

SVC シリーズは、ローカル IP アドレスを使用して LAN 外部のデバイスと通信する NAT 変換をサポートしています。



NAT パブリック (WAN) アドレス

NAT を有効にする場合、
NAT パブリックアドレスを入力する必要があります。



SIP

SIP 通信方式により、インターネットを介して対応デバイスとビデオ通話を行うことができます。

[ネットワーク] の [SIP] を選択して

🔍 を押します。

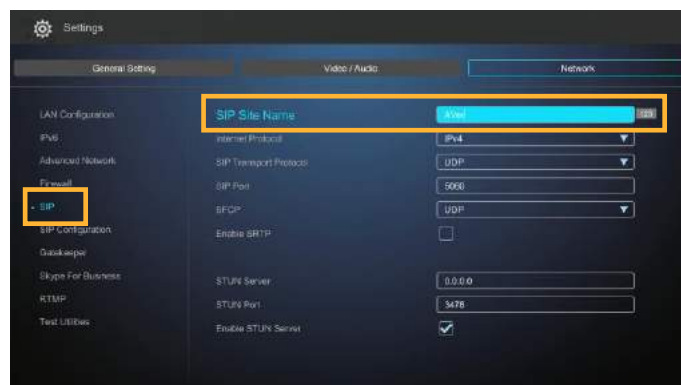
以下の関連項目を設定して、SIP をセットアップします。



SIP サイト名

他のユーザーが識別するための自拠点の SIP サイト名を入力します。

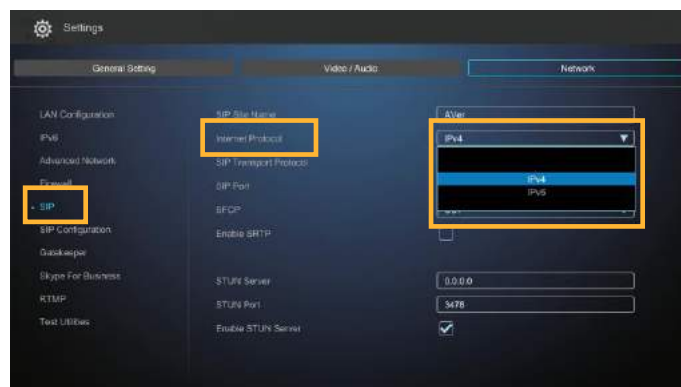
SIP サイト名は Web アクティビティのドメインと同じものでも異なるものでも構いません。



インターネット プロトコル

IPv4 または IPv6、

どちらのプロトコルを使用するか、選択します。



SIP トランスポート プロトコル

選択肢から SIP トランスポートに使用するプロトコルを選択します。

※適切な接続確立のために、通信を行う両者が同じプロトコルを使用しているかどうか確認してください。

※デフォルトでは UDP に設定されています。

TCP: TCP の動作は接続が前提となっています。接続が確立されると、データは双方向に送信できます。

UDP: UDP の動作は TCP よりシンプルで、接続を必要としないインターネットプロトコルです。複数のデータが、UDP によりパケットとしてまとめられて送信されます。

TLS: インターネットなどの TCP/IP ネットワークでデータを暗号化して送受信するプロトコルの一つです。

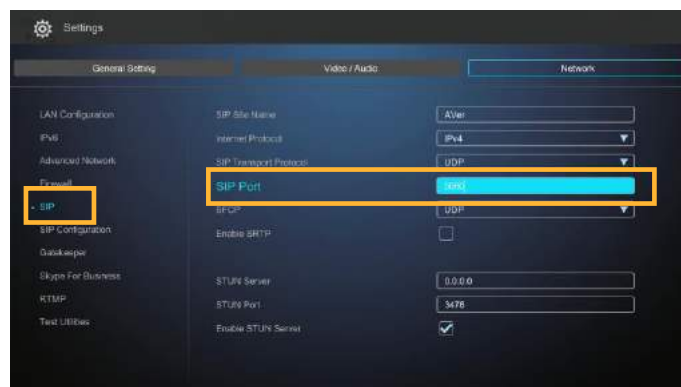


SIP ポート

この値は、お使いのネットワーク システムで特定の設定を使用する場合のみ変更してください。

※デフォルトでは 5060 に設定されます。

※TLS 使用時は 5061



BFCP

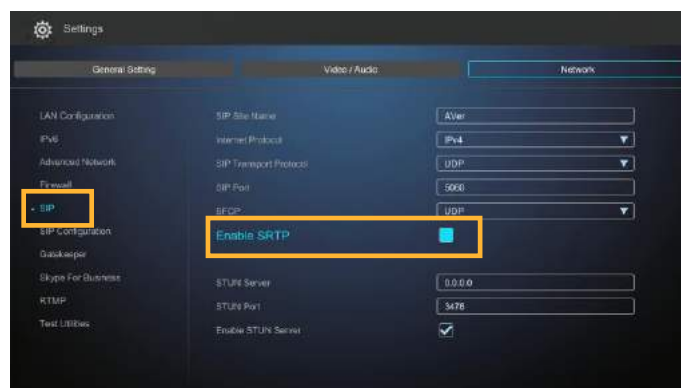
SIP 通話でのプレゼンテーション共有機能を有効にします。

テレビ会議中に通話相手とプレゼンテーション ファイル画面を共有できます。



SRTP を有効にする

SRTP を有効にすることで、暗号化による秘匿、メッセージの認証、リプレイ攻撃に対する保護を提供します。



STUN サーバー

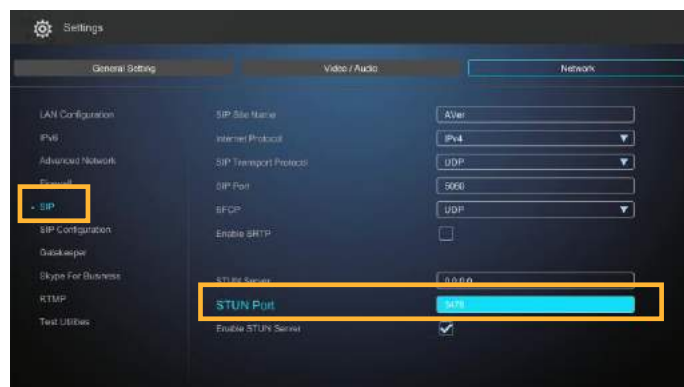
STUN (NAT 向けセッション トラバーサル ユーティリティ) は、標準化された一連のメソッドで、エンド ホストが NAT の外側にある場合にパブリック IP アドレスを検出できるようにするネットワーク プロトコルです。

SIP NATトラバーサルサーバーの IP アドレスを入力します。



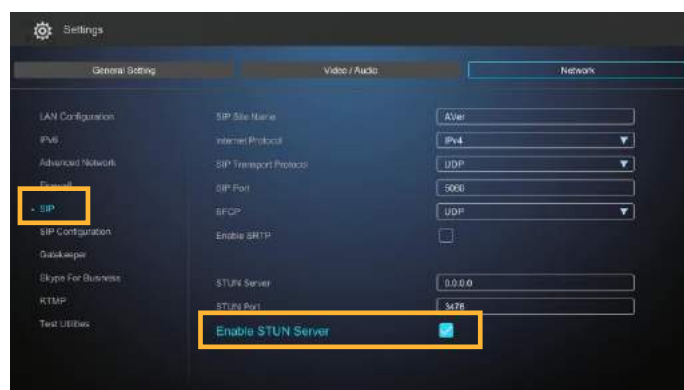
STUN ポート

STUN サーバーのポート番号を入力します。



STUN サーバーを有効にする

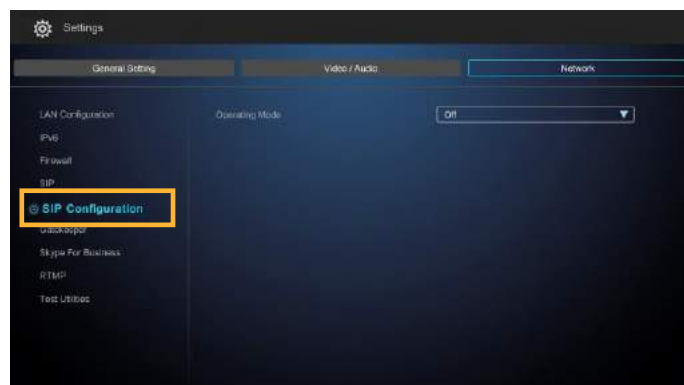
STUN サーバーの機能を有効にするには、これをオンにします。



SIP サーバー

通常の SIP セッションでは、クライアントが SIP サーバーに対してセッションをリクエストします。リクエストを受信すると、SIP サーバーはユーザーにレスポンスを返し、セッションが利用可能であるかどうかを示します。

1. [ネットワーク] の [SIP サーバー] を選択して  を押します。
2. 以下の関連項目を設定して、サーバーをセットアップします。



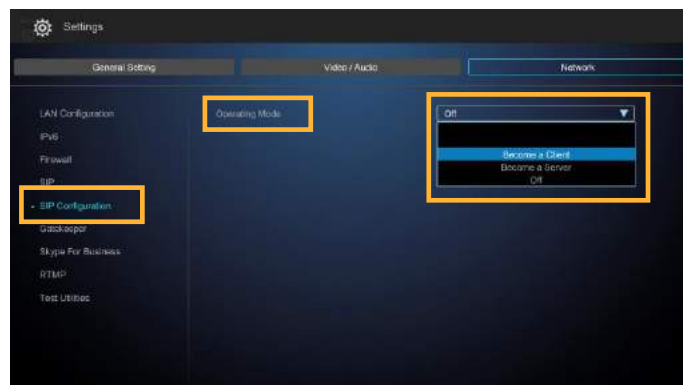
オペレーティングモード

「オペレーティングモード」を選択して  を押し、選択肢から使用するモードを選択します。

クライアントになる: 使用中の SVC を外部 SIP サーバーに登録します。SIP 方式による多拠点接続を行う場合はこのモードに設定する必要があります。

サーバーになる: 使用中の SVC を SIP サーバーとして設定します。

オフ: SIP の使用を無効にします。



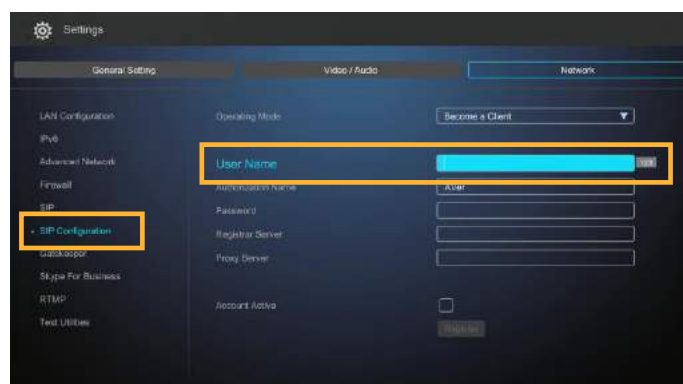
クライアントになる:

SIP 設定「動作モード」で「クライアントになる」を選択します。

次に、以下の情報を入力して SIP サーバーに登録します。

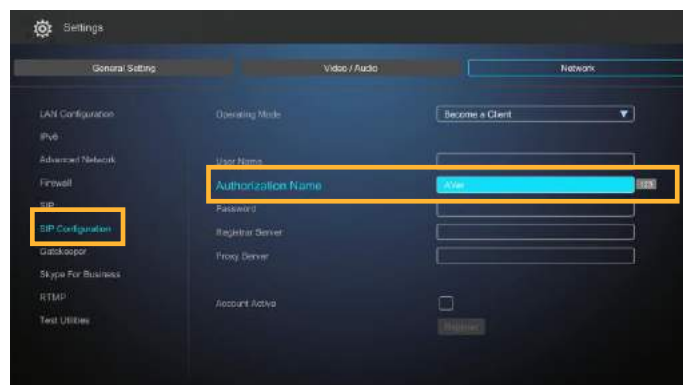
ユーザー名

「ユーザー名」を選択して  を押し、ユーザー名を入力します。



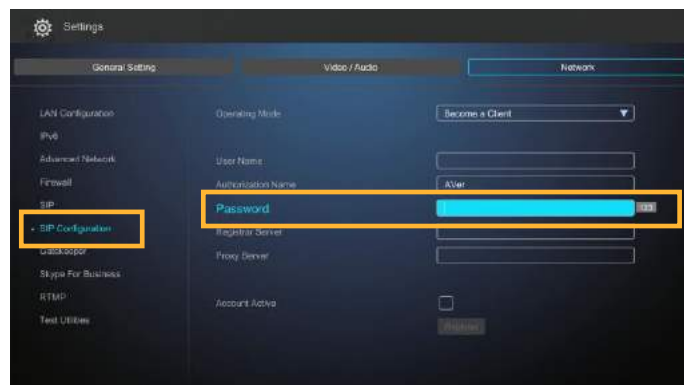
認証名

「認証名」を選択して  を押し、認証名を入力します。



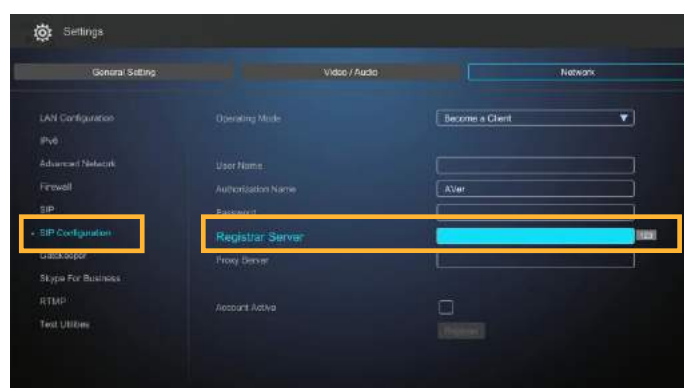
パスワード

[パスワード] を選択して  を押し、使用するパスワードを入力します。



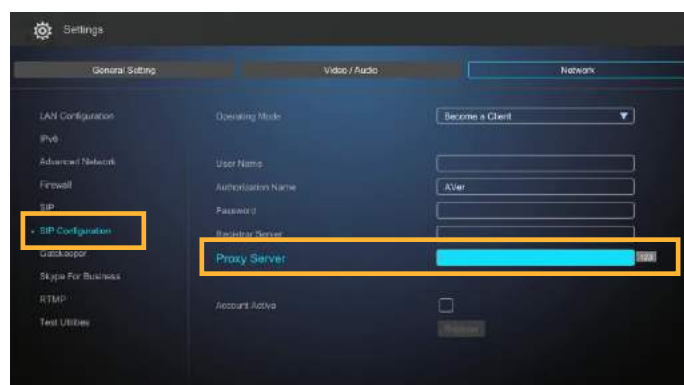
レジストラー サーバー

レジストラー サーバーはユーザーからの登録を受け入れ、ロケーション サービスとして知られるデータベースにこれらの登録情報（基本的にはロケーション情報）を入れます。使用するレジストラー サーバー名を入力します。



プロキシ サーバー

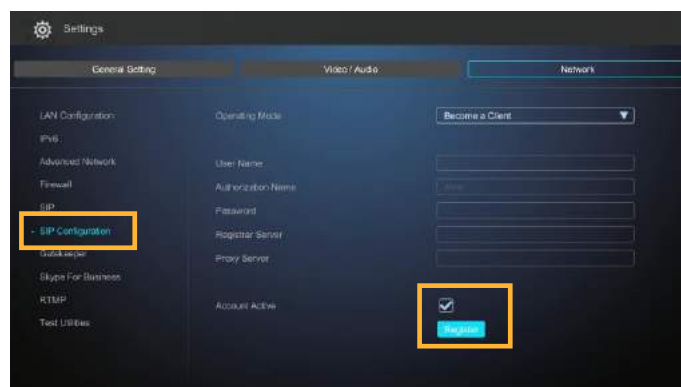
プロキシ サーバーは、通信ネットワーク内においてデータ処理デバイスとその他のデバイスとの間のインターフェイスとなるコンピューティング デバイス（通常はサーバー）です。これらのデバイスは同一のローカル エリア ネットワーク上または外部ネットワークにあります。プロキシ サーバー名を入力します。



アカウントを有効にする

「アカウントを有効にする」チェックボックスを選択して、 を押して有効/無効にします。

次に、「登録」ボタンに移動し、 を押して SIP サーバーを登録します。



サーバーになる:SIP 設定「動作モード」で「サーバーになる」を選択します。次に、以下の情報を入力して SIP サーバーとして動作するようにします。

認証モード

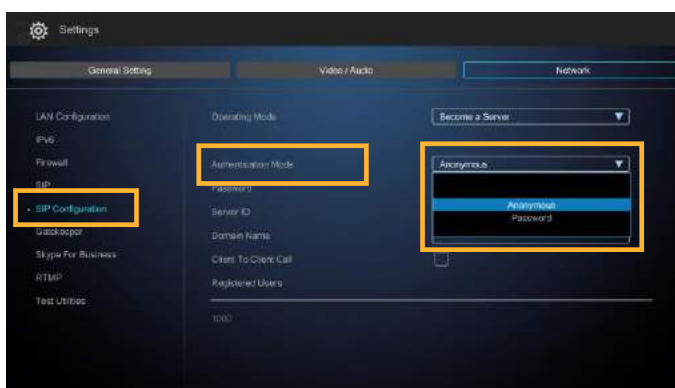
SIP クライアントに権限を与えるための認証方法を選択します。

匿名:

SIP クライアントにパスワードは必要ありません。

パスワード:

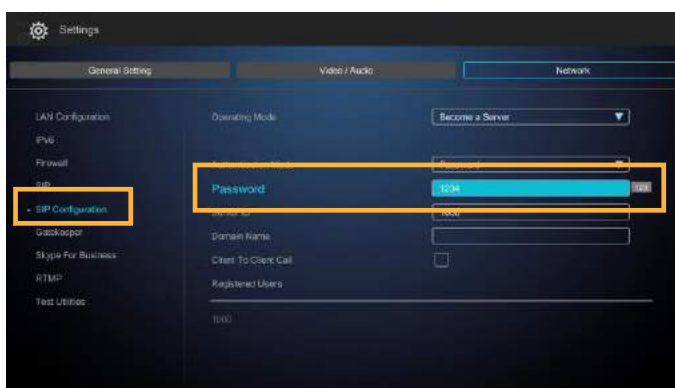
SIP クライアントが SIP サーバーに接続するにはパスワードが必要です。「パスワード」の項目からパスワードを設定します。



パスワード

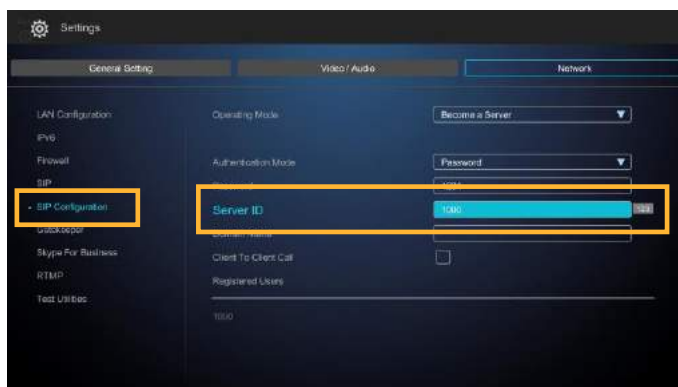
認証モードがパスワード認証の場合、パスワードを設定する必要があります。

既定のパスワードは“1234”です。



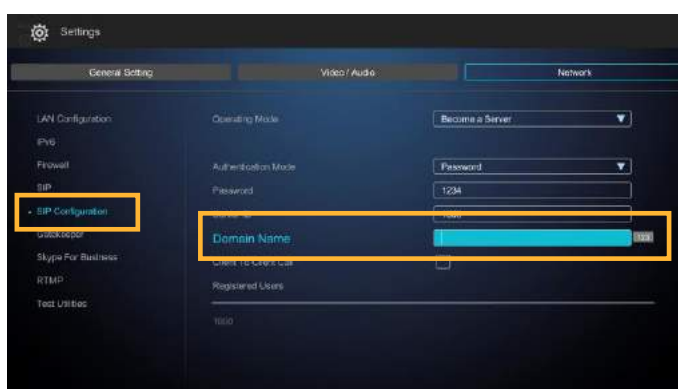
サーバー ID

接続先の SIP サーバーの ID です。SVC の既定のサーバー ID は“1000”です。



ドメイン名

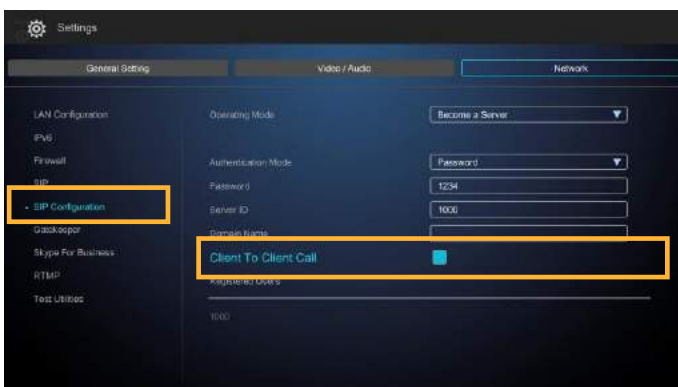
ドメイン名を入力します。



クライアント間コール

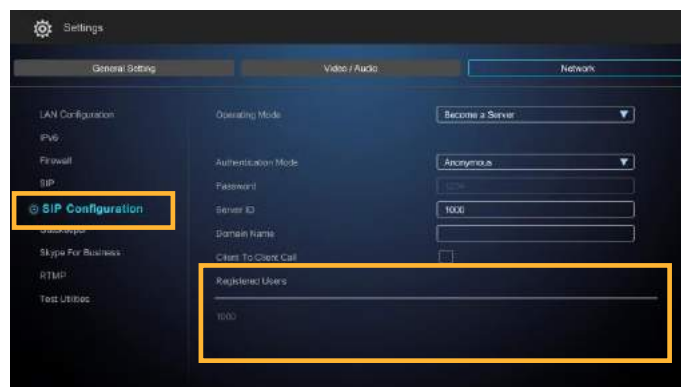
登録した SIP サーバを通して、SVC システム、EZMeetup、他社ビデオ会議装置から 1 対 1 のクライアント間コールを最大5組行うことができます。

1. 発信者と受信者は同じ SIP サーバーに登録する必要があります。
2. SVC(SIP サーバー)の電源を入れ、SIP サーバモードをオンにすることが必要です。
3. SVC(SIP サーバー)を中継し、バックグラウンドで稼働します。
4. ルータおよび SVC システムの TCP / UDP (30299 ~ 30699) ポートが有効になっていることをご確認ください。
5. ネットワークの帯域幅が十分であり、ビデオ会議に影響しないことを確認してください。
6. クライアント間コールでは BFCP ファイル共有が UDP プロトコルのみをサポートします。



登録ユーザー

登録されている SIP クライアントを表示します。

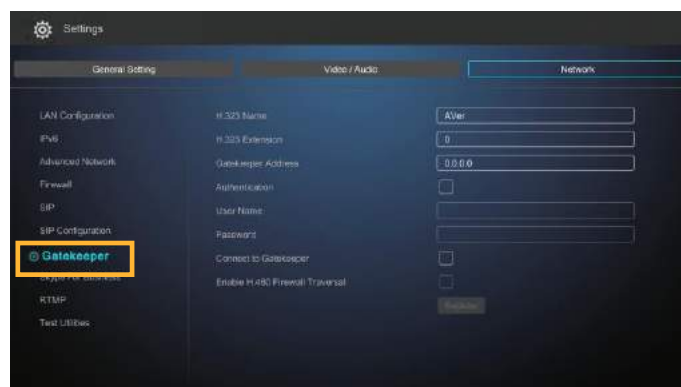


ゲートキーパー

AVer SVC のゲートキーパーは、H.323 ネットワークで E.164ID から IP アドレスへの変換を行う役割を果たします。

[ネットワーク] の [ゲートキーパー] を選択して  を押します。

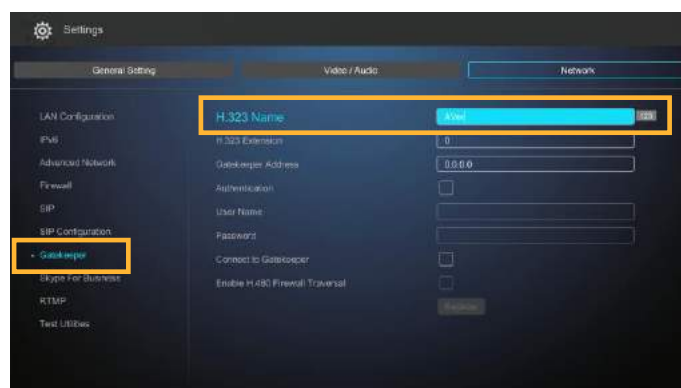
以下の関連項目を設定して、ゲートキーパーをセットアップします。



H.323 名

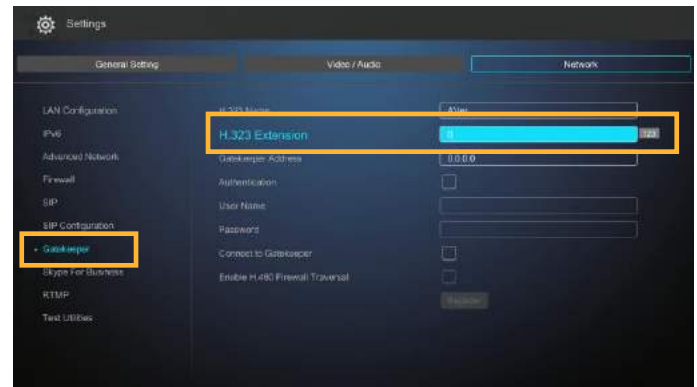
ゲートキーパーとゲートウェイがこのシステムを識別するために使用できる名前を指定します。

名前を入力すると、ゲートキーパーが識別にこの名前を使用します。



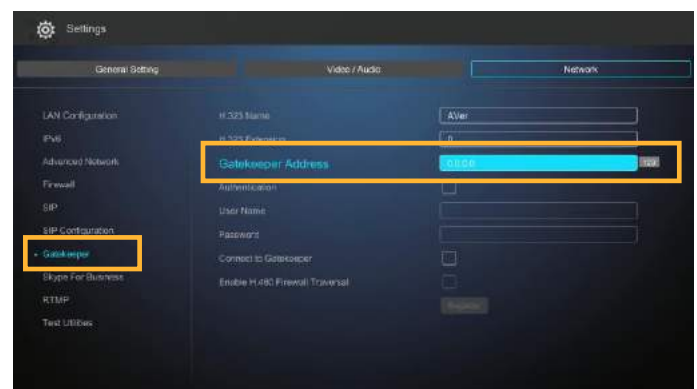
H.323 拡張

ゲートキーパーがシステムをさらに詳細に識別できる数値を入力します。



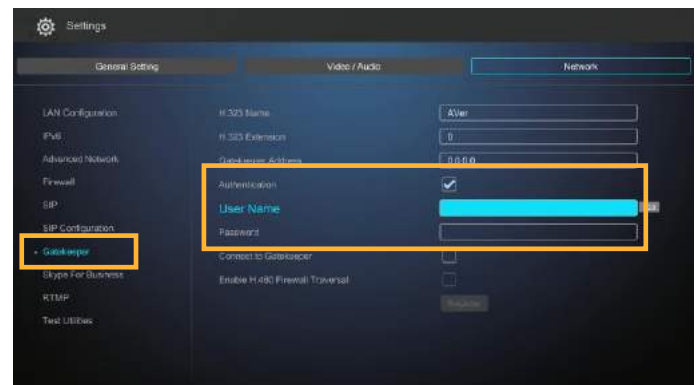
ゲートキーパーの IP アドレス

ゲートキーパーサーバーの IP アドレスを入力します。



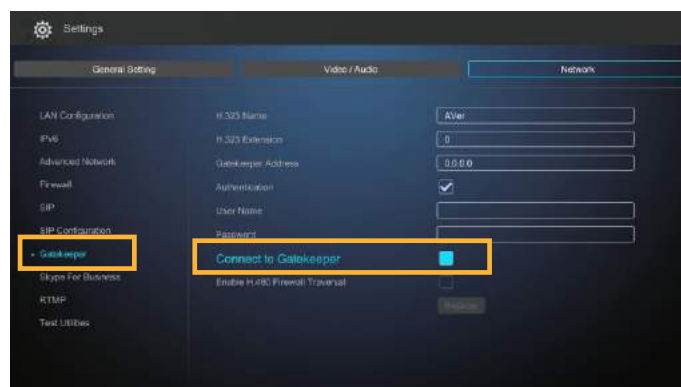
認証

[認証]にチェックを入れ、ゲートキーパー認証のため、ユーザー名とパスワードを入力します。



ゲートキーパーに接続

このチェック ボックスをオンにして、ゲートキーパーを有効/無効にします。

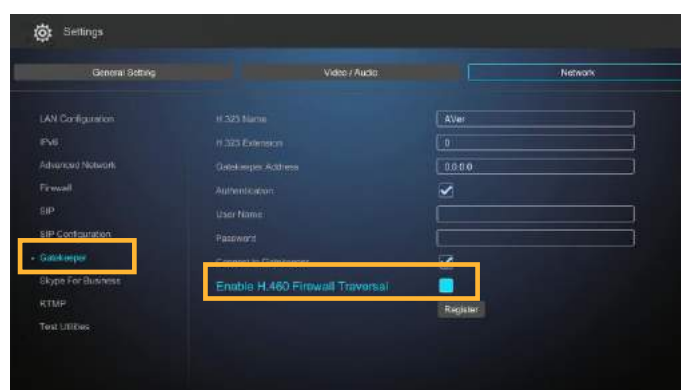


🔑 ファイアウォールをセットアップする前に、必ずゲートキーパーを設定してください。

H.460 ファイアウォール トラバーサルを有効にする

H.460 ファイアウォール トラバーサルを有効にする場合は、SVC の設置を開始する前に、ファイアウォール内のポート転送のポートを設定してください。

ポート	機能	タイプ
1719	ゲートキーパー	UDP
1720	H.323 通話セットアップ	TCP
30000~30999	音声、ビデオ、コンテンツ、データ/FECC 用のコントロール	TCP と UDP
80 443	HTTP インターフェイス (Web 管理ツール)	TCP
23	Telnet	TCP
5060 5061	SIP	TCP と UDP TCP



🔑 有効化の前に、ゲートキーパーが H.460 ファイアウォール トラバーサルがサポートされていることを確認してください。

Skype for Business のセットアップ

※SVC シリーズは Lync2013 と Skype for Business2015 以降に対応します。

[ネットワーク]の[Skype For Business]を選択し、を押します。

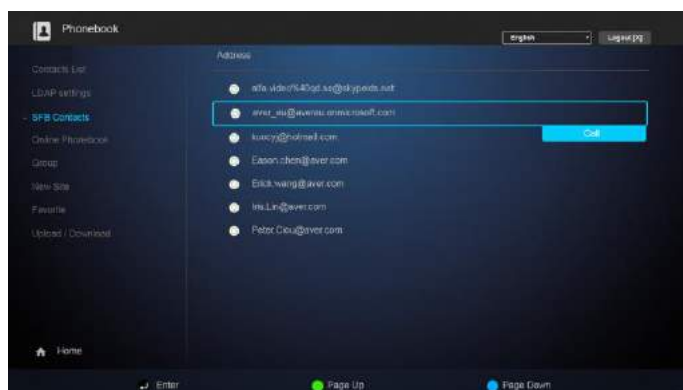
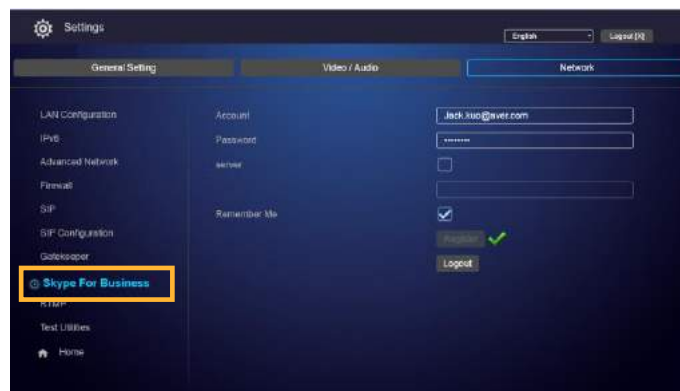
アカウント/パスワード: Skype for Business アカウントとパスワードを入力します。

サーバー: 内部サーバーを使用する Skype for Business アカウントを使用する場合、チェックボックスを有効にし、使用するサーバーの IP アドレスを入力します。

次回から入力を省略: 入力した項目を保存します。

SFB アカウント情報を入力してから[登録]をクリックします。登録後、SVC システム-Skype for Business に電話をかけることができます。

また、ユーザーは SFB 連絡先リストから直接電話をかけることができます。



- SFB コール中、SFB でコールをかけた側はプレゼンテーション画面かライブビューか一つのみを見ることができ、SVC 側はライブビューとプレゼンテーション画面両方のコンテンツを見ることができます。
- SVC サイトは PC 端末による SFB グループコールに参加できません(2 拠点以上)。また、SFB グループコール(2 拠点以上)は他の SVC を招待することはできません。

RTMP

テレビ会議中やローカルのカメラ映像を RTMP 対応の配信サービスを通じてライブ配信することができます。

[ネットワーク]の[RTMP]を選択し、を押します。

RTMP URL: 配信サービスで使用するストリーム URL を入力します。

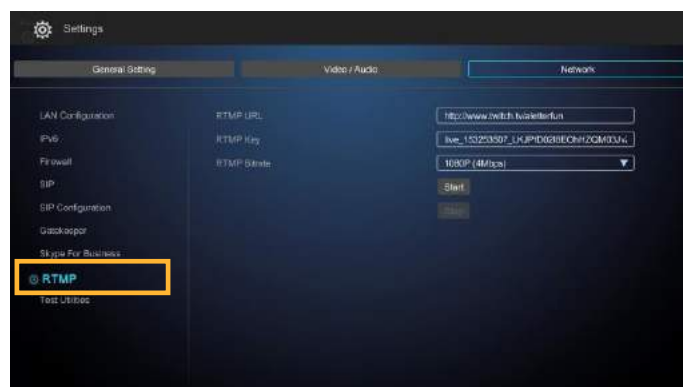
RTMP キー: 配信サービスから提供されるストリームキーを入力します。

RTMP ビットレート: 配信に使用するビットレートを選択します。

※使用する配信サービスにより、サポートされる帯域が異なります。配信サービスの仕様をご確認ください。

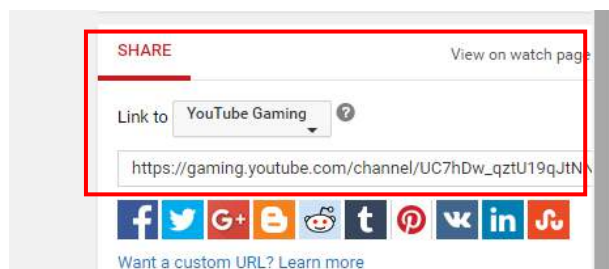
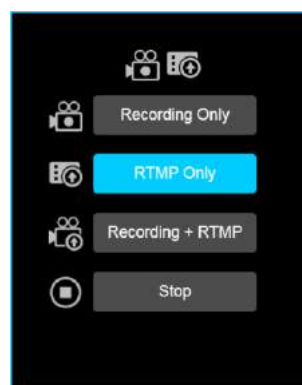
開始: 配信を開始します。

終了: 配信を終了します。



各項目を入力し、「RTMP 設定画面にある開始ボタン」を押すが、また「付属リモコンの赤ボタン」を押して[RTMP Only]を選択すると配信が開始されます。

ストリーミング配信時、YouTube のライブブロードキャスト設定ページの右下に表示されるURL(下図参照)をメールなどに添付することで、配信ページを共有することができます。



テスト ユーティリティ

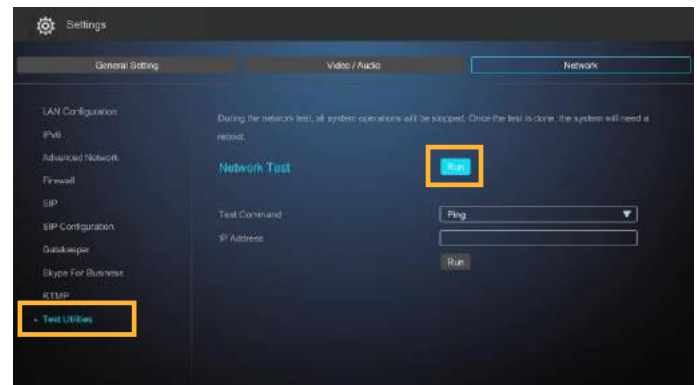
ネットワーク テスト

この機能は、ローカルサイトと通信先との間のネットワーク接続ステータスをテストします。

[ネットワーク]の[テスト ユーティリティ]をクリックします。

[実行]をクリックするとテストを開始します。

ネットワーク テストが完了すると、チェックマークが表示されます。テストが失敗した場合には、レポートを USB メモリに保存し、サポート窓口までお問い合わせください。



テストコマンド

相手側装置に“ping”または“traceroute”します。[ネットワーク]の[テスト ユーティリティ]をクリックします。

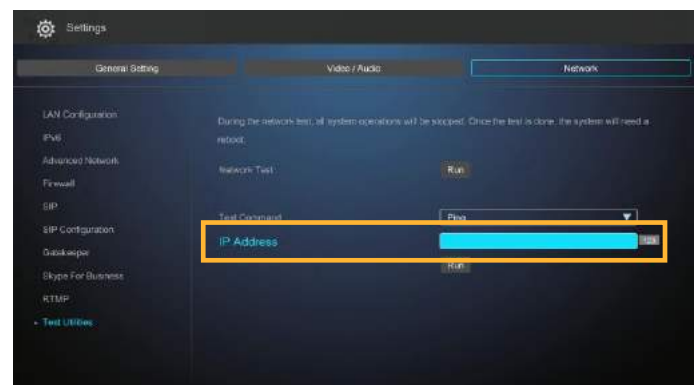
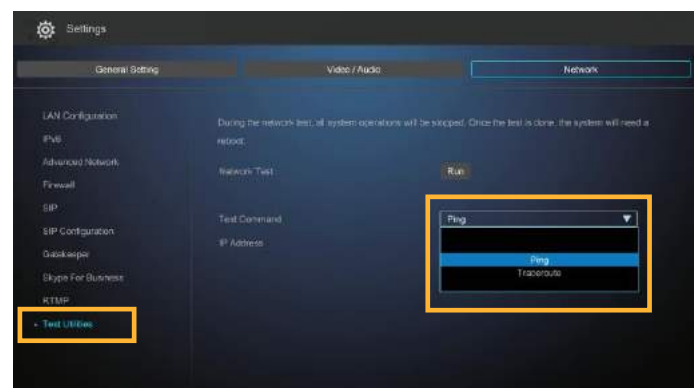
[テストコマンド]を選択して  を押します。

Ping: ping コマンドでホストにパケットを送信し、そのホストからパケットを返信してきた場合に通信可能な状態と判断できますが、リクエストの送信からリプライの受信までにはある程度の遅延が発生します。その時間を測定することによりネットワークの状況を確認することができます。

Traceroute: あるホストから別のホストまでのネットワーク経路をリスト表示するコマンドです。インターネットプロトコル (IP) ネットワークを通してパケットの通過遅延を測定します。

IP アドレス: 接続テストを行う相手側装置の IP アドレスを入力します。

[実行]を押して、“ping” または “traceroute” を実行します。

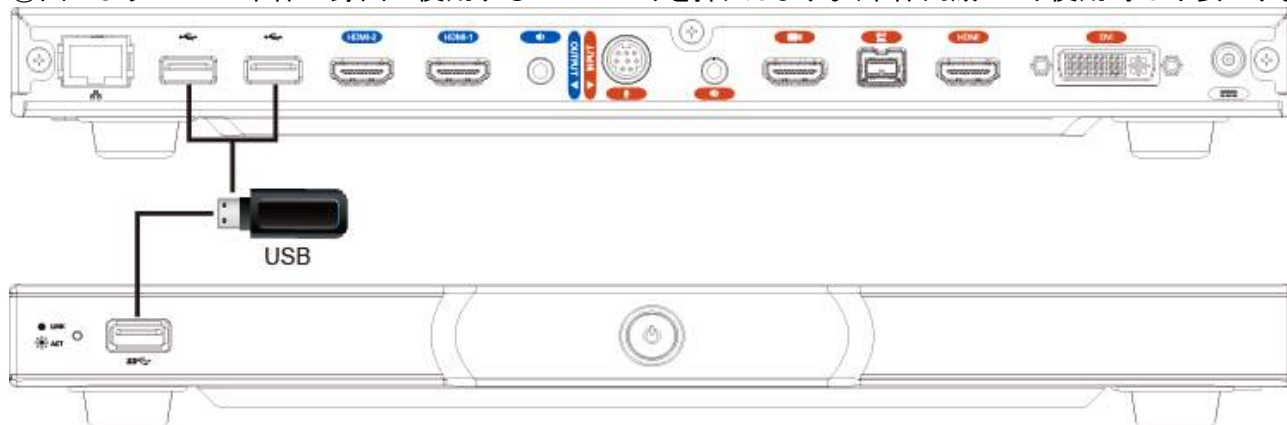


■会議中のカメラ映像録画・再生方法

AVerSVC シリーズにはカメラ映像の録画・再生機能が搭載されています。
本体内蔵メモリまたは USB メモリへ、映像データを録画・保存することができます。

【カメラ映像の録画・録画終了】

①図のように SVC 本体へ録画に使用する USB メモリを挿入します。(本体内蔵メモリ使用時は不要です。)



②操作リモコンの  録画ボタンを押すと下記メッセージが表示されますので「録画のみ」を選択します。



③録画を終了する場合は再度操作リモコンの  録画ボタンを押し、終了を選択しますと録画が終了します。

【カメラ録画映像の再生・消去・移動】

本体メニュー画面⇒情報⇒内部ストレージ(USB の場合は外部ストレージ)の項目を選択しますと、録画映像の一覧リストが表示されます。再生したい動画を選択し決定ボタン  を押すと動画の再生が開始されます。

■動画再生中のリモコン操作

-  再生の終了
-  再生・一時停止
-  前のファイルを再生
-  次のファイルを再生

Web 管理ツール

インターネットブラウザを使用し、リモートで AVer SVC システムのセットアップできます。

また、電話帳にアクセスして、エントリの追加、編集、削除、通話履歴の表示とダウンロード、システムのアップデート、前の設定の復元を行うことができます。

※ SVC をシリーズのデフォルト IP アドレスは 192.168.0.1 です。

※Web 管理ツールを使用する場合、テレビ会議とパソコンとの IP 通信が可能な環境である必要があります。

※Web 管理ツール推奨ブラウザ

Google Chrome バージョン 68.0.3440.106 以降

Firefox バージョン 61.0.1 以降

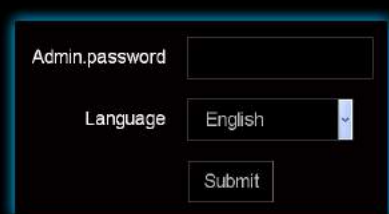
☞ Web 管理ツール使用前、SVC 本体の IP アドレスを、ネットワークで使用する IP アドレスへ変更してください。

Web 管理ツールの使用

URL フィールドに SVC の IP アドレスを入力します。[Web 管理者を有効にする] 設定を有効にし、ログインするための管理者パスワードを入力する必要があります。

Web 管理ツール ログイン画面では、ユーザーは Web 管理ツール の言語を選択し、パスワードを入力し、[送信] をクリックしてログインできます。

☞ デフォルトのパスワードは 1234 です。



Admin.password

Language

ログイン後、ローカル サイトのビデオ画面が表示されます。

バックグラウンドビューモードでは  が表示されます。リスト ビュー モードでは  が表示されます。



アイコンをクリックすると、オンスクリーンリモコンを呼び出せます。

マウスを使ってオンスクリーンリモコンを操作し Web 管理ツールを操作できます。



 Numeric Pad

ボタンをクリックすると、数字キーパッドと電話帳画面を切り替えます。

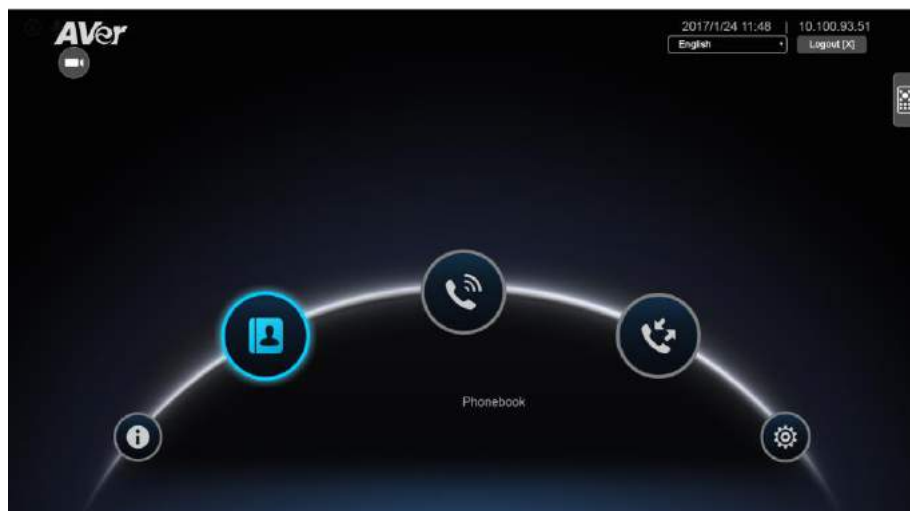


 Control Buttons

ボタンをクリックすると、ナビゲーション操作ボタン画面に戻ります。



ボタンをクリックすると OSD 設定メニューが表示されます。



 本体のリモコン操作と同様に、各項目の設定・英数字の入力操作を行うことができます。

電話帳の管理

Web 管理ツールの電話帳ページでは、OSD メニューでの操作とほぼ同じです。
異なるのは、[アップロード/ダウンロード] のみです。

編集と保存

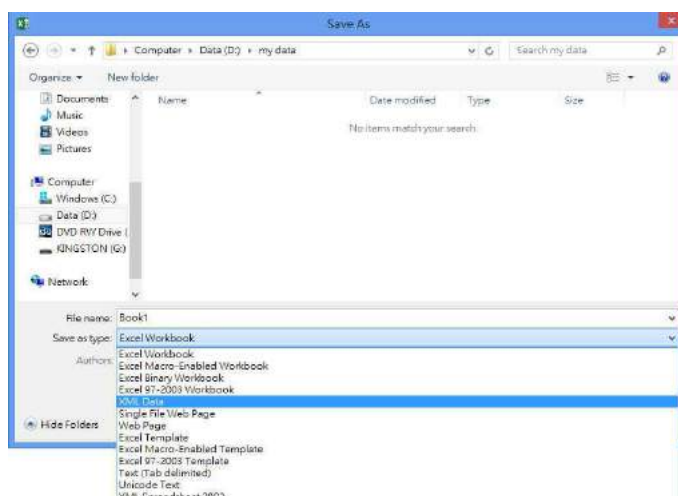
1. MS Excel を使用してファイルを開き、Office XML Handler を選択して、XML ソース データに基づいてスキーマを作成します。



2. ファイルを編集します。

	A	B	C	D	E
1	site	h323	call_quality	group	sip
2	China	10.100.91.49		256 Branch office	
3	US			512 Branch office	1234
4	SUPER	192.168.0.1		64 Customer	
5	Avte			1024 Customer	10.100.93.68
6	Jack Lin	192.168.0.8		64 Customer	
7	Lucky			768 Customer	10.100.93.67

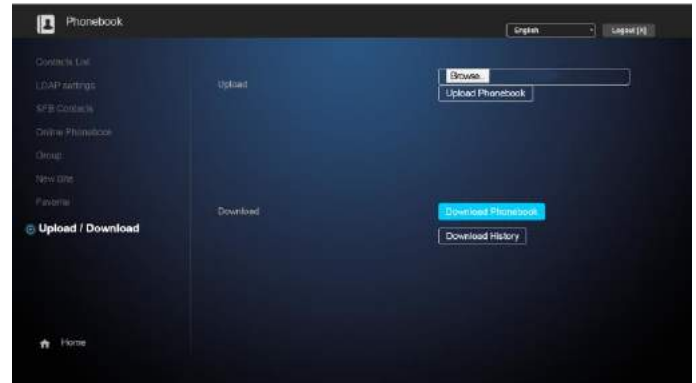
3. システムにアップロードし直せるように、必ずファイルを XML データとして保存してください。



電話帳エントリのダウンロード

ダウンロード機能により、AVer SVC システムから連絡先データをダウンロードできます。

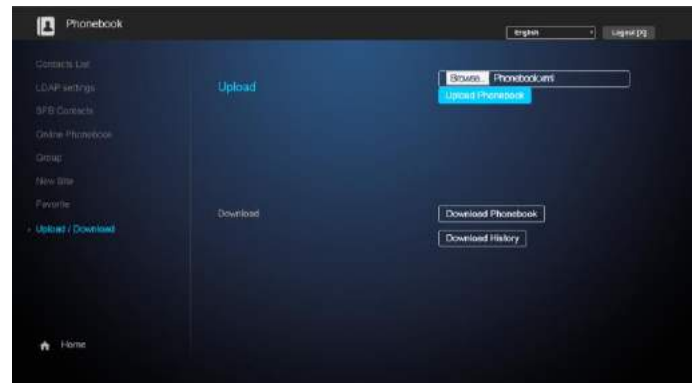
1. [電話帳] の [アップロード/ダウンロード] をクリックします。
2. [AVer SVC システムの電話帳データを保存] ダイアログ ボックスが表示されます。
3. [保存] をクリックしてファイルを保存します。
4. 保存したら、ブラウザーを再配置して Web 管理ツール 電話帳を更新し、SVC システムと同じになりますようにします。



電話帳エントリのアップロード

アップロード機能により、編集したデータまたは Web 管理ツール から追加したデータを AVer SVC システムにアップロードできます。

1. [電話帳] の [アップロード/ダウンロード] をクリックします。
2. [電話帳のアップロード] をクリックして、編集または追加された連絡先を AVer SVC システム に直接アップロードします。
3. また、[ブラウザー] をクリックして、PC に保存された電話帳ファイル .xml を開き、それを AVer SVC システムにアップロードできます。
4. アップロードが完了すると、AVer SVC システムの電話帳の内容がしばらくすると変更されます。

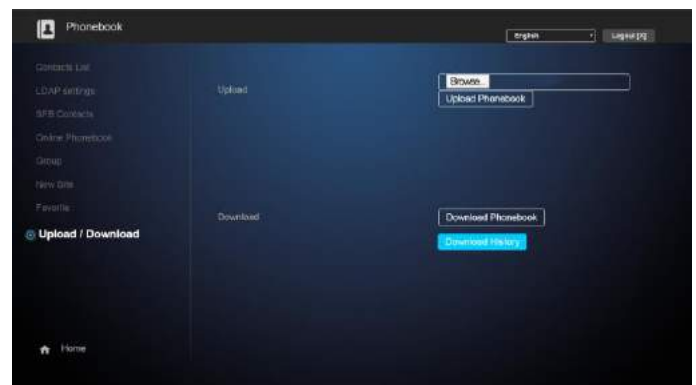


☞ また、電話帳エントリをダウンロードして、別の AVer SVC デバイスにアップロードすることもできます。

通話履歴をダウンロード

通話履歴をダウンロードします。

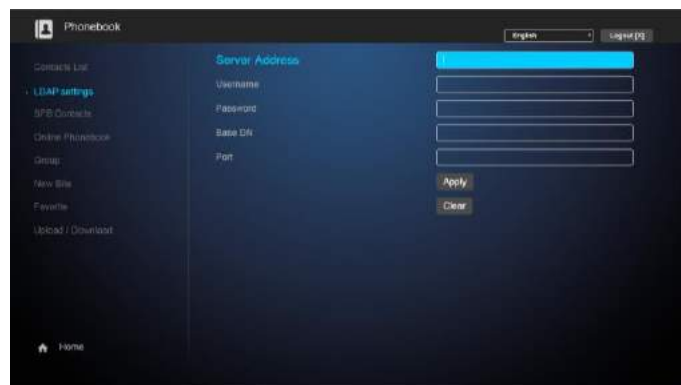
1. [電話帳]の[アップロード/ダウンロード]をクリックします。
2. [通話履歴をダウンロードする]をクリックして SVC システムから通話履歴をダウンロードします。



LDAP 設定

LDAP サーバーを設定し、オンライン電話帳をダウンロードします。

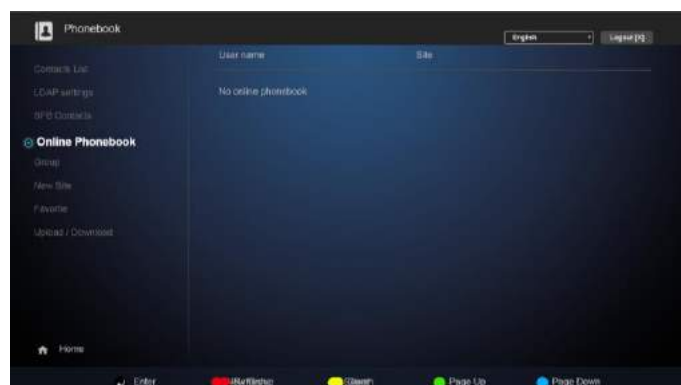
1. [電話帳]の[LDAP 設定]をクリックします。
2. 以下の情報を入力してください:
 - **サーバーアドレス**:LDAP サーバーIP を入力します。
 - **ユーザー名**:LDAP サーバーのユーザー名を入力します。
 - **パスワード**:LDAP サーバーのパスワードを入力します。
 - **Base DN**:LDAP の Object name/pathを入力します。ユーザー名とパスワードを入力した後、LDAP Base DN name/pase から検索が開始されます。
 - **ポート**:SVC は LDAP サーバーと通信するためのポートでデフォルト値は 389 です。
 - [適用]をクリックし、設定を保存します。
3. ダウンロードされた電話帳は[オンライン電話帳]に表示されます。



オンライン電話帳

ダウンロードしたオンラインの連絡先を表示します。直接電話をかけるか連絡先リストに保存するか両方できます。

電話帳 | オンライン電話帳をクリックします。



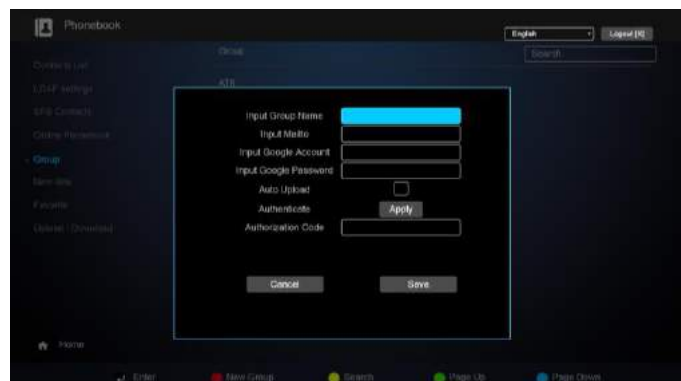
ファイルのアップロード設定 (グループコール のみ)

グループ通話中に記録された動画やスナップショットを Google ドライブへアップロードする機能を設定できます。

ビデオ会議終了後の 1 時間以内にビデオ会議や他の機能を行わない前提で、ビデオ会議終了の 1 時間後にアップロードが自動的に実行されます。

[メモ] ファイルをアップロードするときには、アップロードしたいファイルを保存する USB メモリを SVC システムに接続する必要があります。

1. [電話帳]の[グループ]をクリックします。
2. [新規グループ] をクリックし、新しいグループを追加します。
3. 次の情報を入力します:
 - **グループ名を入力する:** グループの名前を入力します。
 - **メールアドレスを入力する:** ファイルのアップロード通知を受け取るため、メールアドレスを入力します。
 - **Google アカウントを入力する:** [メールアドレスを入力する]に入力したメールアドレスからファイルアップロード通知を受け取る Google アカウントを入力します。
 - **Google パスワードを入力する:** [Google アカウントを入力する]で設定した Google アカウントのパスワードを入力します。
 - **自動アップロード:** チェックボックスにチェックを入れると、自動アップロード機能をオンにします。
 - **認証 & 認証コード:** [適用]をクリックして、Google ドライブアカウントから認証コードを取得します。[適用]ボタンをクリックすると、Google ドライブのアカウントとパスワードを入力する必要があります。次に[ログイン]と[同意する]をクリックして、Google ドライブアカウント表示と管理の権限を取得し、認証コードをコピーして[認証コード]に貼り付けます。
 - **[保存]**をクリックします。

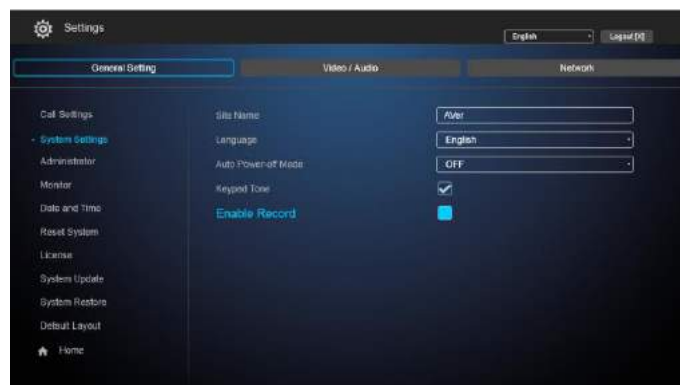


一般設定

録画機能オン/オフ

リモコンの録画ボタン機能をオンにします。

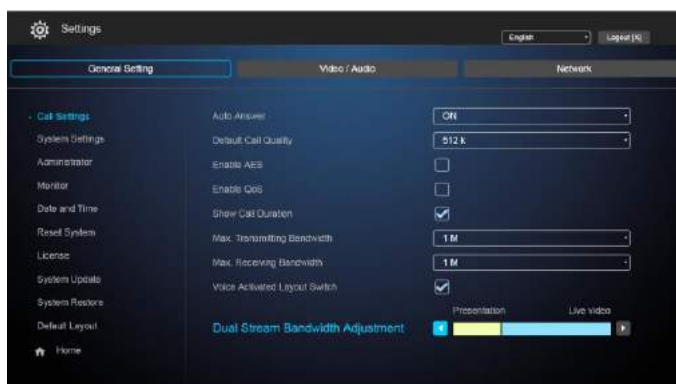
1. [設定]→[一般設定]→[システム設定]をクリックします。
2. [録画を有効にする]チェックボックスにチェックを入れます。



ファイル共有とビデオ通話の帯域幅調整

ファイル共有とビデオ通話の帯域幅を調整します。

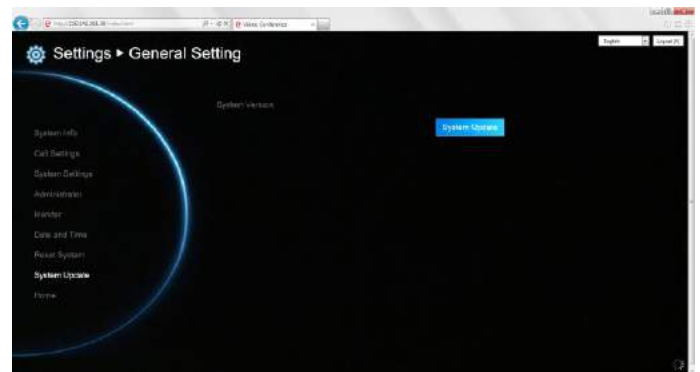
1. [一般設定]の[通話設定]をクリックします。
2. ◀ と ▶ を使い、ファイル共有とビデオ通話帯域幅の割合を調整します。



システムのアップデート

AVer SVC Web 管理ツールから最新の SVC ファームウェアを AVer SVC システムにアップデートできます。

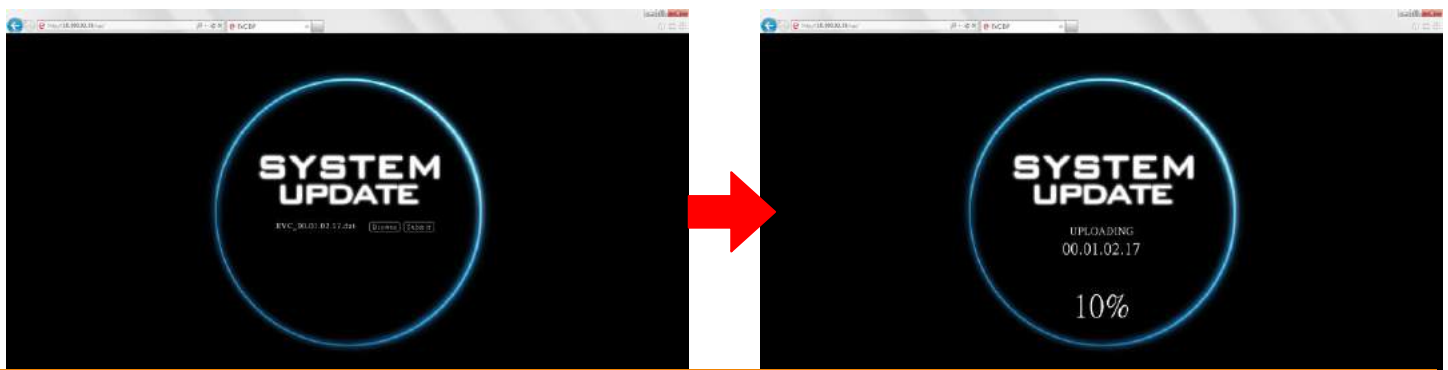
1. [一般設定] の [システム アップデート] をクリックします。
2. [システム アップデート] をクリックします。



3. [選択] をクリックして、ダウンロード済みの .dat ファイルを選択します。



4. [送信] をクリックしてシステム アップデートを開始するか、[キャンセル] をクリックしてこの操作を停止します。



警告! フォームウェアのアップデート実行中は、何も操作しないでください。

EZ Join

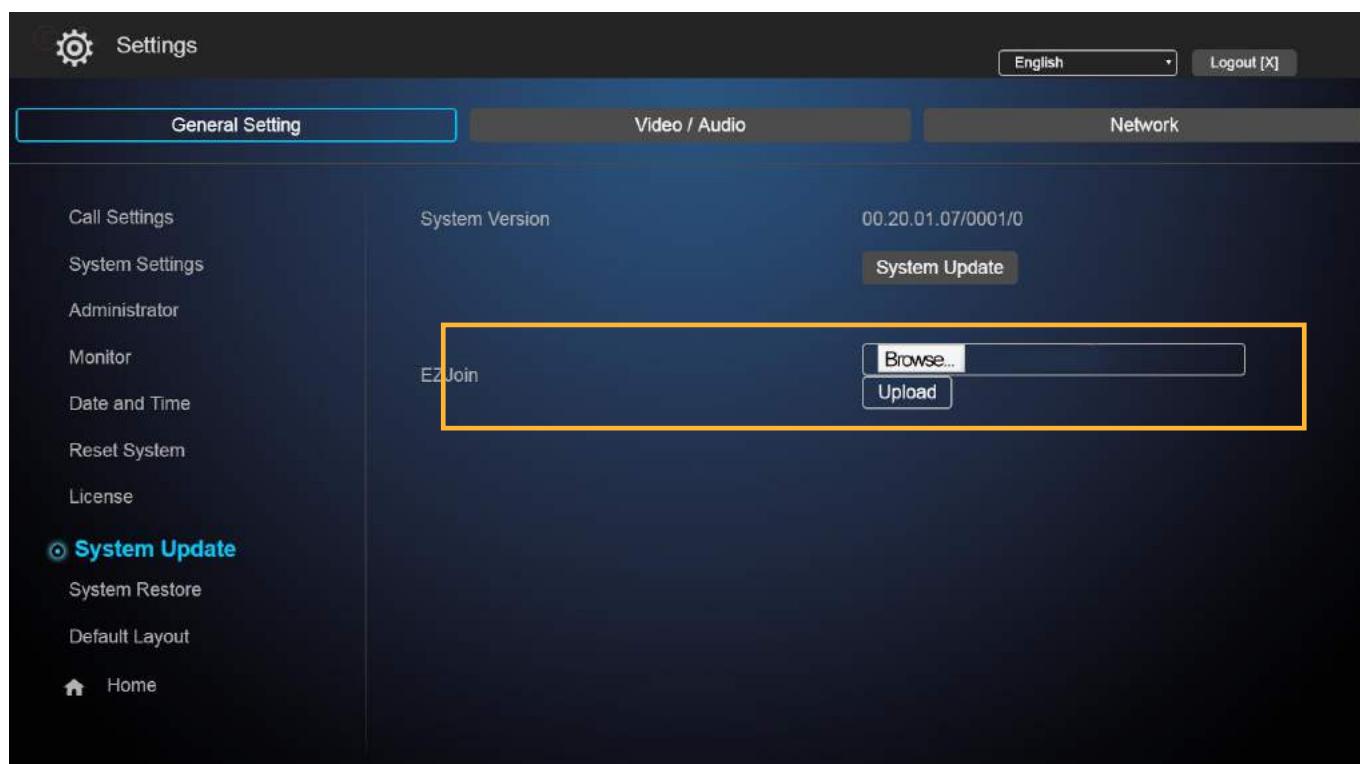
MCU ブリッジまたはクラウド通話へ簡単に参加できます。

ダイヤル画面に、最もよく使用するブリッジまたはクラウド通話のためのいくつかのエントリを作成するオプションがあります。これらのエントリは XML コンフィギュレーション ファイルで定義されます。

XML コンフィギュレーションファイル入手するには、AVer サポート チーム（SOBU.Support@AVer.com）にお問い合わせください。

サンプル XML を環境に合わせて編集して、Web 管理ツールでアップロードできます。

XML ファイルは最大で 7 ファイルまでアップロード可能です。



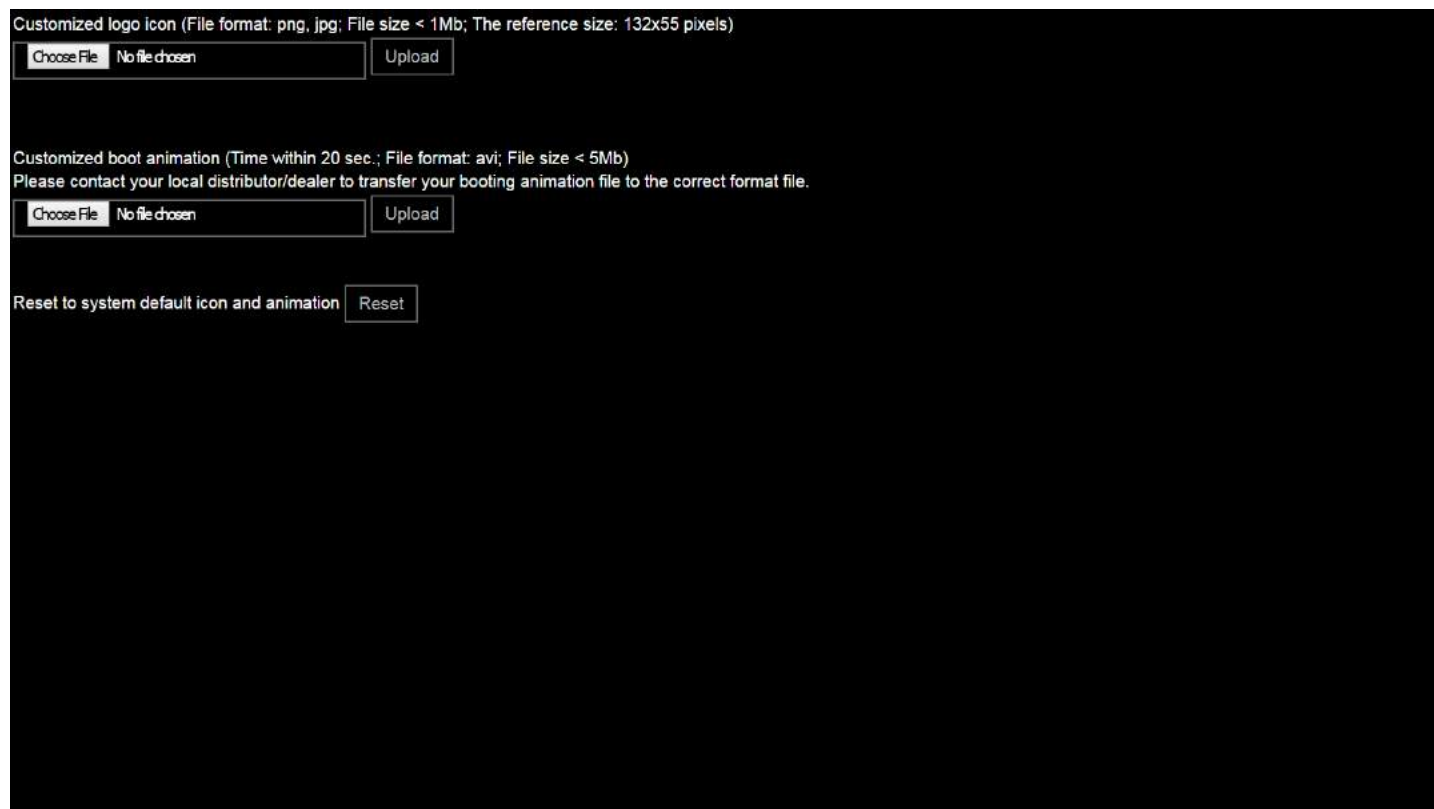
ロゴアイコンと起動アニメの変更

ユーザーはロゴアイコンと起動アニメーションファイルを変更できます。

1. ブラウザーに次の URL を入力してください。SVC の IP アドレスが必要です。

Http://SVC' s IP address/admin/customization/logo-manage.html

2. カスタマイズ画面が表示されます。



The screenshot shows a web interface for customizing the logo and boot animation. It has a dark background with white text and buttons. The first section is for the 'Customized logo icon', with instructions on file format (png, jpg), size (< 1Mb), and reference size (132x55 pixels). It includes a 'Choose File' button (showing 'No file chosen') and an 'Upload' button. The second section is for the 'Customized boot animation', with instructions on time (within 20 sec.), file format (avi), and size (< 5Mb). It includes a note to contact the local distributor/dealer for the correct format, a 'Choose File' button (showing 'No file chosen'), and an 'Upload' button. At the bottom, there is a 'Reset to system default icon and animation' label and a 'Reset' button.

3. [アップロード]ボタンをクリックし、ロゴ/アニメーションファイルを選択します。ロゴとアニメーション用のファイルはいくつかの制限があります:
 - **ロゴ ファイル:** ファイルサイズは 1MB 以下で、解像度は 132 x 55 ピクセルです。
 - **アニメ ファイル:** ファイルサイズは 5MB 以下でファイル形式が*.avi、アニメの長さが 20 秒以下という制限があります。起動アニメファイルを正しい形式へ変換するには、販売店またはディーラーまでお問い合わせください。
4. デフォルトのロゴとアニメーションファイルを使用する場合は、[リセット]ボタンをクリックします。

トラブルシューティング

音声

通話中に音声が届かない

- マイクが消音になっていないか確認してください。
- マニュアルで説明されているようにマイクが正しく接続されているかを確認してください。
- システムで適切な音量になっているか確認してください。

音声の質が悪い

- マイクが壊れていないか確認してください。
- [マイク ゲイン レベル] を適切な値に調節してください。
- エコーを避けるためにマイクが出カスピーカーから1m 以上離して設置してください。

ビデオ/表示

ビデオ会議通話が確立されていますが、ビデオも音声もありません。

- ファイアウォールで AVer SVC に接続している場合は、ポート転送を正しく行ったことを確認してください。H.323 ALG 以外のファイアウォールの場合は、NAT 設定を行って、AVer SVC システム上の WAN IP アドレスを入力します。
- AVer SVC システムには固定パブリック IP アドレスの使用を推奨します。ダイナミックパブリック IP アドレスを使用すると、ローカル ISP によっては一定期間が経過すると IP アドレスが変更される場合があります。
- 1 つのパブリック IP アドレスを共有する 2 つの AVer SVC システムをインストールしている場合は、ルーティング問題が発生します。

他のビデオ会議システムに接続できない

- 正しい IP アドレスをダイヤルしたか確認してください。
- 相手サイトのデバイスの電源ステータスがオンになっていることを確認してください。
- 相手サイトからの着信トラフィックをファイアウォールがブロックしていないか確認してください。
- 相手サイトがこちらのビデオ会議通話を拒否していないか確認してください。

OSD メニューが表示されません

- ケーブルが正しく接続されているかを確認してください。
- システムとディスプレイが正しく接続されているかどうかを確認して、システムをリブートしてください（システムをリブートする前にディスプレイの電源を入れる必要があります。）
- OSD メニューが現れるまで[自拠点/対向先]キーを長押しします。

スクリーンセーバーモードで HDMI ケーブルを接続し、AVer SVC システムに電源を入れた後に UI 設定画面が表示されません。

- HDMI ケーブルを1度外し、再度接続してください。

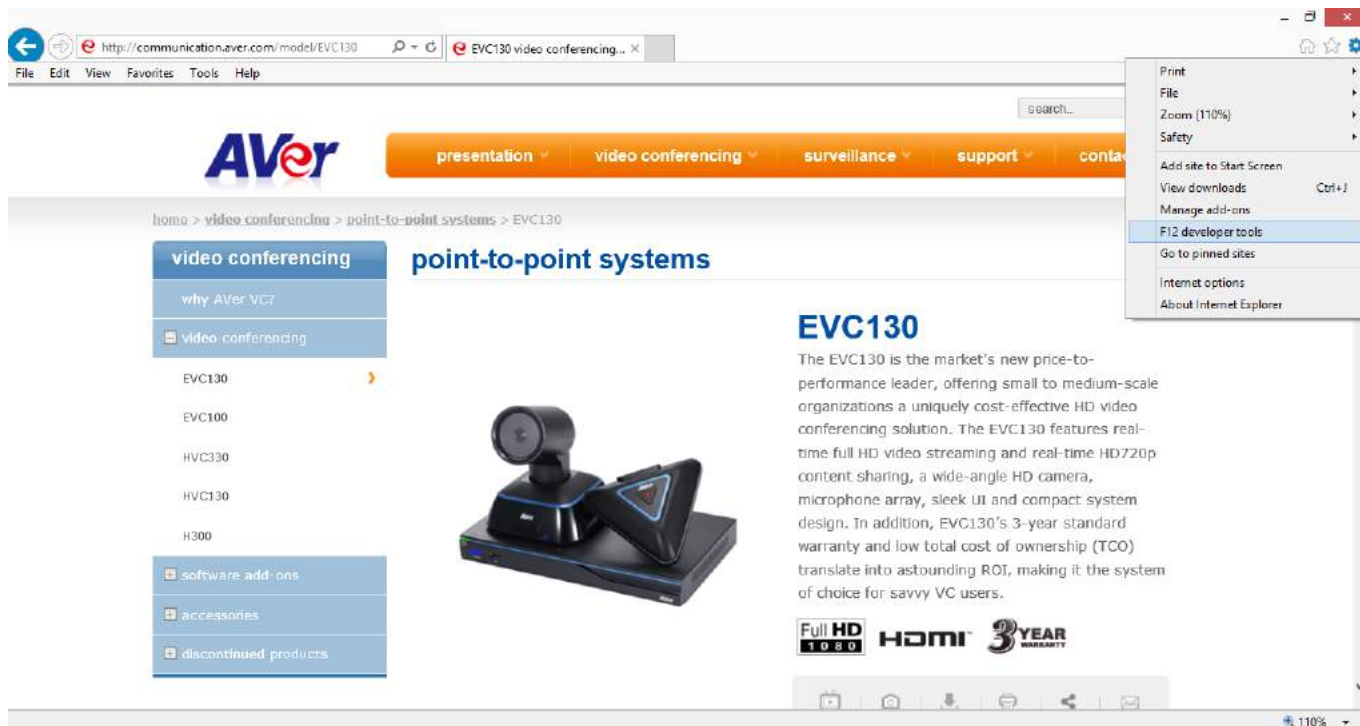
ネットワーク

LAN 接続が失敗する

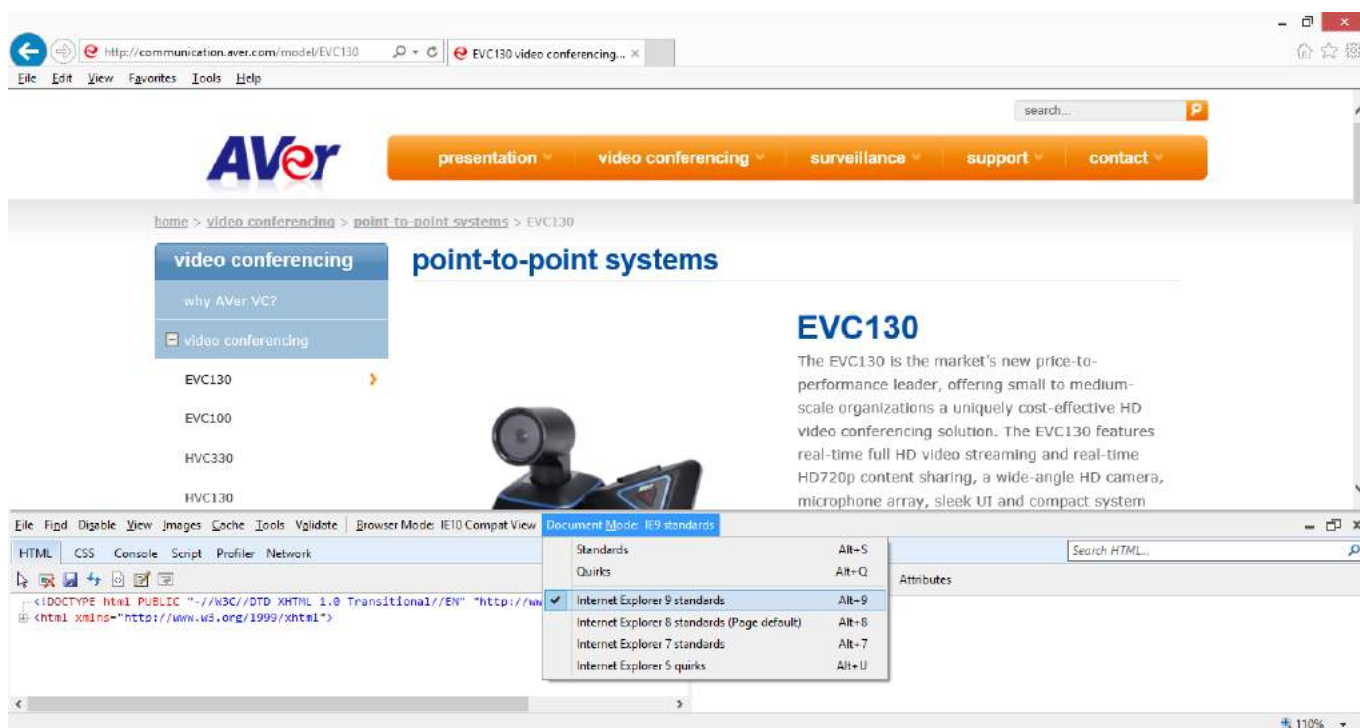
- デフォルトの IP アドレスを変更したことを確認してください。デフォルト IP アドレスは 192.168.0.1 です。同じ LAN で他のデバイスと競合しないようにするために、開始時に IP アドレスを変更してください。

IE9 と IE10 で Web 管理ツール を開けない

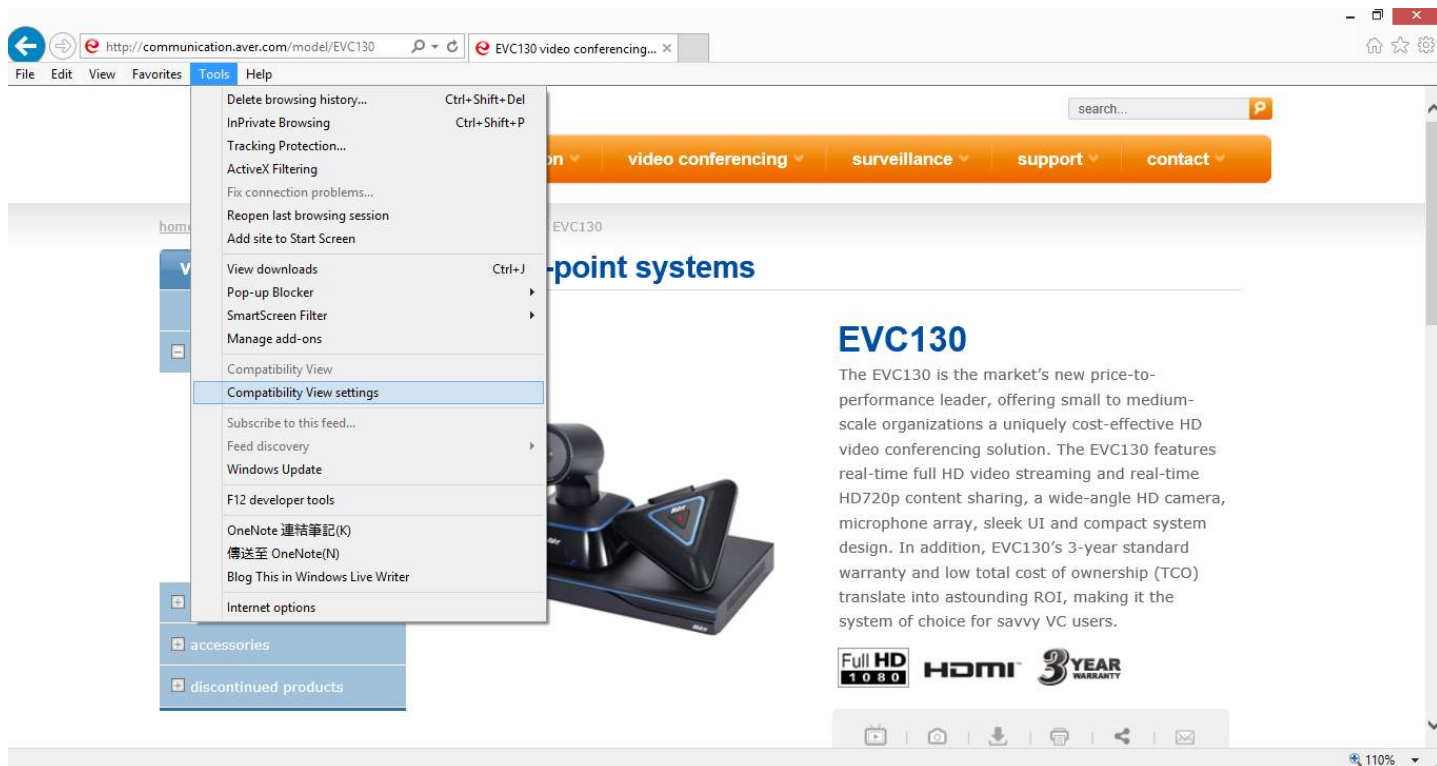
1. IE で  (一般設定アイコン) をクリックします。
2. [F12 開発者ツール] を選択します。



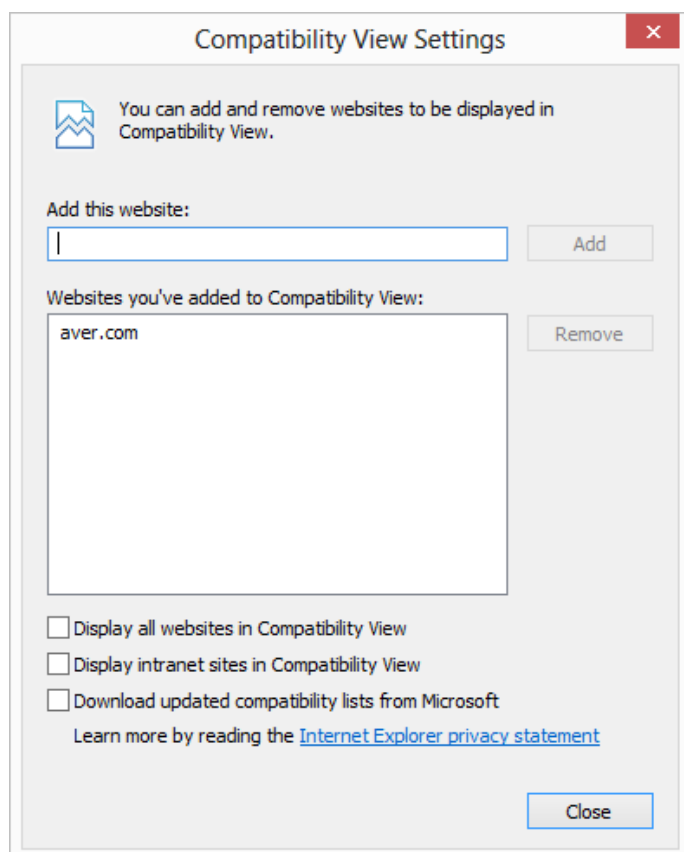
3. [ドキュメント モード] を [Internet Explorer 9 標準] に変更します。



4. 互換表示でイントラネット サイトを無効にします。[ツール] の [互換表示設定] を選択します。



5. [イントラネット サイトを互換表示で表示する] チェック ボックスをオフにして、[閉じる] をクリックします。



その他

発信を開始できず、「通話が失敗しました」というメッセージが画面に表示される

- 通話用の IP アドレスが正しいことを確認してください。
- 通話相手がシステムを「取り込み中」モードにして設定していないかどうか、電話を切っていないかどうか確認してください。
- 最大通話制限にすでに達しているシステムに発信していないことを確認してください。

管理者パスワードを忘れた

- AVer テクニカル サポートに連絡してください。

遠距離カメラをコントロールできない

- カメラ コントロール  アイコンが、コントロール対象の画面上にあることを確認してください。リモコンの「遠距離/近距離」 ボタンを押して、目的の画面に切り替えてください。
- 相手サイトが「近距離カメラの遠方コントロール」設定を有効にしていることを確認してください。この設定を有効にするには、「ホーム」 ボタンを押して「設定」の「システム」設定に移動し、「近距離カメラの遠方コントロール」を選択します。

AVer SVC が USB デバイスを検出しない

- USB Flash ドライブを取り外してもう一度挿入し、システムが新しい USB デバイスをもう一度検出するまで 10 ～ 15 秒間待ってください。
- 外部 HDD の使用はお勧めしません。システム エラーが発生するか、録音が失敗することがあります。

LAN 接続のシナリオ

パブリック IP 設定 (ファイアウォール外部)

お使いの SVC システムはインターネットに直接接続されている状態です。

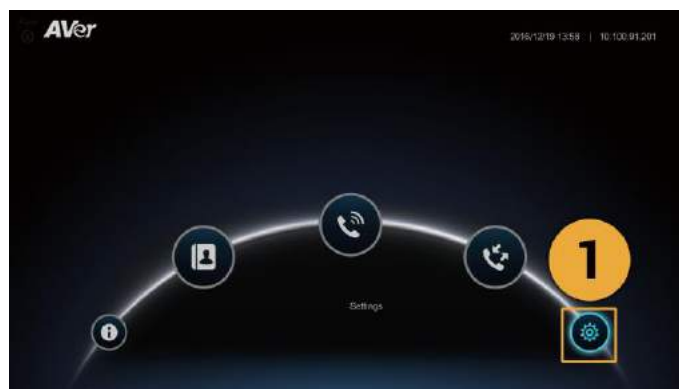


SVC



Internet

1. リモコンで、[ホーム] → → [設定] を選択します。



2. → [ネットワーク] を選択します。
3. [LAN 構成] を押します。
4. [IP アドレスを取得する]を押して、選択肢を開きます。
 - 静的 IP: [IP アドレス]、[サブネット マスク]、および [デフォルト ゲートウェイ] を入力します。
 - DHCP: DHCP サーバーから自動的に IP アドレスを取得するようにシステムを設定します。
 - PPPoE: PPPoE アカウントのユーザー名とパスワードを入力します。
5. [適用] を選択して (確定) を押します。
6. リモコンで [ホーム] を押して、ホーム メニューに戻ります。
7. リモコンの (発信) ボタンを押します。これで最初の電話をかける準備ができました。

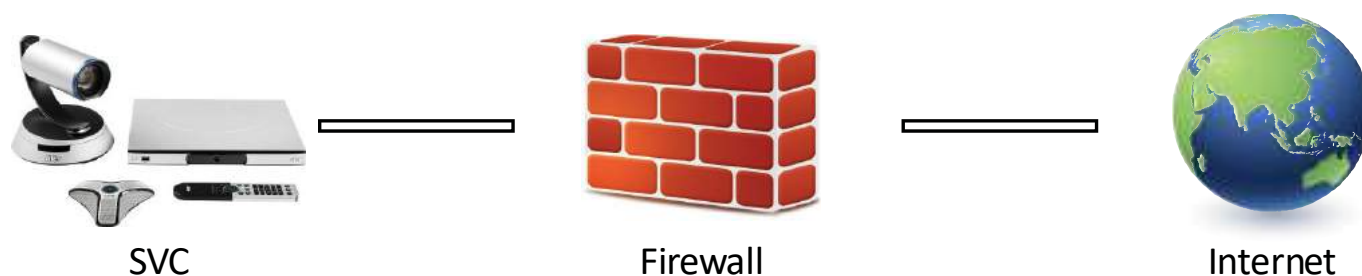


ローカル IP 設定（ファイアウォール外部とポート転送）

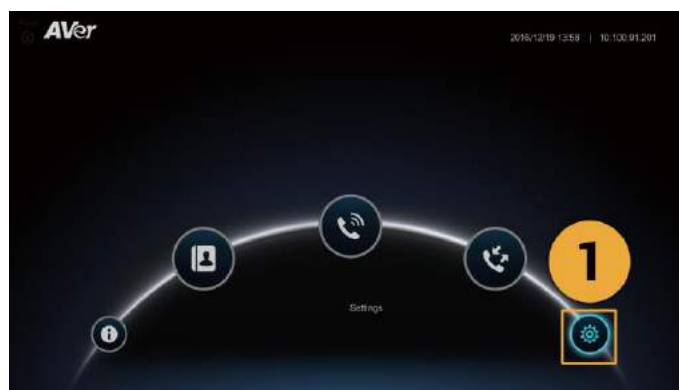
ファイアウォールでのポート設定にて下記ポートを解放してください。

ポート	機能	タイプ
1719	ゲートキーパー	UDP
1720	H.323 通話セットアップ	TCP
30000～30999	音声、通話、ビデオ、データ/FECC 用の信号発信とコントロール	TCP UDP
80 443	HTTP インターフェイス (Web 管理ツール)	TCP
23	Telnet	TCP
5060 5061	SIP	TCP UDP TCP

お使いの SVC システムはファイアウォール経由でインターネットに接続されています。



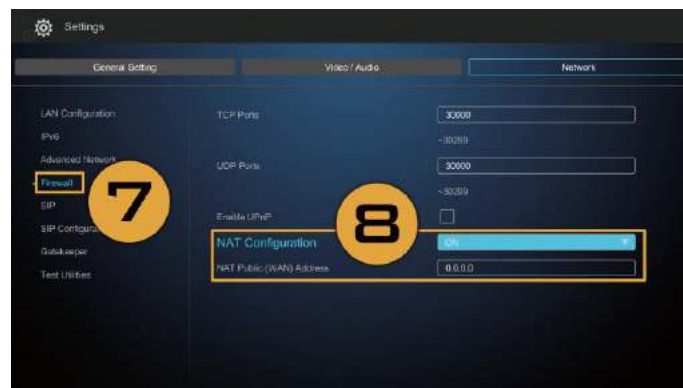
1. リモコンで、[ホーム] → → [設定] を選択します。



2. → [ネットワーク] を選択します。
3. [LAN 構成] を押します。
4. 選択肢[IP アドレスタイプ]で [静的 IP]を選択し、[IP アドレス]、[サブネットマスク]、[デフォルトのゲートウェイ]を手動で入力します。
5. [適用] を選択して (確定) を押します。
6. リモコンで (戻る) を押して前のメニューに戻ります(H.323 ALG が有効になっている場合は、手順 9 に進んでください)。

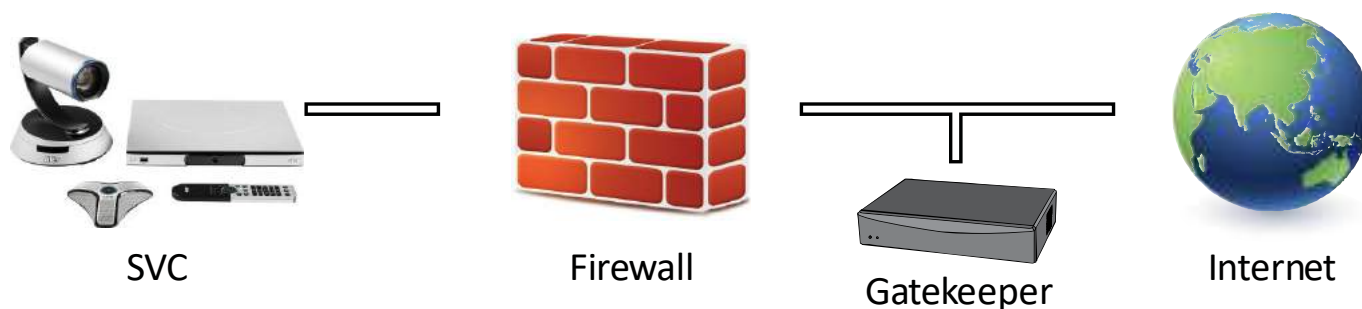


7. [ネットワーク] -> [ファイアウォール]を選択します。
8. NAT チェック ボックスをオンにして、[NAT Public (WAN)アドレス] フィールドに IP アドレスを入力します。
9. リモコンで [ホーム] ボタンを押して、ホーム メニューに戻ります
10. リモコンの  (発信) ボタンを押します。これで最初の電話をかける準備ができました。

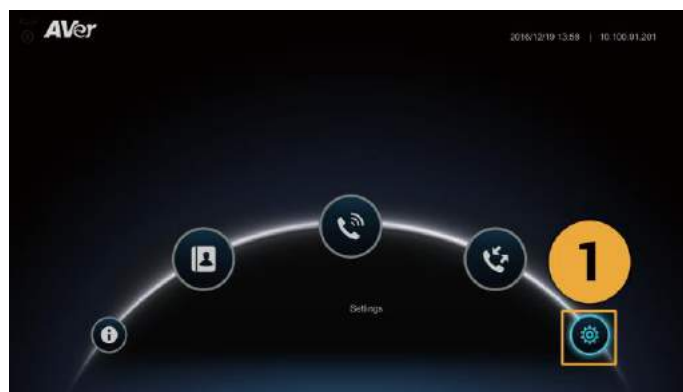


H.460 ゲートキーパーとファイアウォール トラバーサル

SVC システムはファイアウォール経由でインターネットに接続されていて、ゲートキーパーがファイアウォールの外側にあります。



1. リモコンで、[ホーム] ->  ->  [設定] を選択します。



2.  -> [ネットワーク] を選択します。
3. [LAN 構成] を押します。
4. 選択肢[IP アドレスタイプ]で [静的 IP]を選択し、[IP アドレス]、[サブネットマスク]、[デフォルトのゲートウェイ]を手動で入力します。
5. [適用] を選択して  (確定) を押します。



6. [ネットワーク] -> [ゲートキーパー]を選択します。
7. [ゲートキーパー IP アドレス] フィールドにゲートキーパーの IP アドレスを入力して、[ゲートキーパーを使用] チェック ボックスをオンにします。
8. [H.460 ファイアウォール トラバース] オプションを有効にします。
9. リモコンで [ホーム] ボタンを押して、ホーム メニューに戻ります。
10. リモコンの  (発信) ボタンを押します。これで最初の電話をかける準備ができました。



リモコンの電池に関する安全上の注意

1. 電池は湿気のない涼しい場所に保管してください。
2. 使用済みの電池を家庭用のゴミとして廃棄しないでください。電池は指定の収集場所に廃棄するか、該当する場合は店舗にお返してください。
3. 長時間にわたって電池を使用していない場合は取り外してください。電池の漏電と腐食により、リモコンが破損する恐れがあります。電池は安全に配慮して廃棄してください。
4. 古い電池と新しい電池を一緒に使用しないでください。
5. 異なる種類の電池（アルカリ、標準（炭素亜鉛）、または再充電可能（ニッケルカドミウム））を一緒に使用しないでください。
6. 電池を火で燃やして処分しないでください。
7. 電池の端子をショートさせないでください。

保証について

該当する製品の購入日から「**Warranty Period of AVer Product Purchased**（購入された AVer 製品の保証期間）」セクションに定める期間、AVer Information, Inc.（「AVer」）は、該当する製品（「製品」）が、AVer の製品向け文書に実質的に適合し、通常の使用では、その製造とコンポーネントに材料および仕上りの欠陥がないことを保証します。この契約で使用される「使用者」は使用者個人、または該当の製品を使用またはインストールする対象となる事業体を意味します。この制限付き保証は本来の購入者としての使用にのみ限定されます。前述の場合を除き、製品は「現状のまま」提供されます。AVer はいかなる状況でも、使用者が問題または中断なく製品を操作できること、または製品が使用者の目的に適合していることを保証するものではありません。この節における使用者の唯一の救済および AVer の全責任は、AVer の選択で、同じまたは同等の製品で、製品の修理または交換を行うことです。この保証は、(a) 製品のシリアル番号が判別不能、修正された場合、または (b) 本製品と一緒に使用されるカートン、ケース、バッテリー、キャビネット、テープ、アクセサリには適用されません。この保証は、(a) 事故、乱用、誤用、粗雑な取扱い、火、水、落雷などの自然災害、商業的または工業的使用、不適切な改造、製品に含まれる指示に従わないこと、(b) 製造元の担当者以外の者によるサービスの誤用、(c) 出荷による損傷（そうした賠償は運送業者に請求しなければならない）、または (d) 製品の不具合に関係のない他の原因によって、損傷、機能悪化、異常が生じた製品には適用されません。製品を修理または交換する保証期間は、(a) 本来の保証期間、または (b) 修理または交換した製品の出荷日から 30 日以内とします。

保証の制限

AVer はいかなる第三者に対しても保証する責任を負いません。製品の使用または不使用によって使用者に要求されたすべての賠償、損害、返済、費用、弁護士費用については、使用者が責任を負います。この保証は、製品が AVer の仕様に従って設置、操作、保守、使用された場合にのみ適用されます。特に、保証は、(i) 事故、異常な物理的、電氣的、電磁氣的ストレス、粗雑な取扱い、誤用、(ii) AVer の仕様の範囲を超える電力の変動、(iii) AVer または同社の正式代理店によって提供されたのではないアクセサリやオプションの併用、または (iv) AVer または同社の正式代理店以外の者による製品の設置、改造、修理によって引き起こされるいかなる障害にも適用されません。

保証の放棄

AVer は、明白に規定されている場合を除き、および法律で最大限に認められる範囲で、明示的か、暗黙か、法令によるかを問わず、品質の満足、売買の過程、取引利用や慣行や商品性の暗黙的保証、特定の目的への適合性、第三者の非侵犯を含む、またはそれらに限定されない製品に関する他のすべての保証を放棄します。

責任の限定

AVer はいかなる事態が発生しようとも、過失または他の法的理論を含む契約または不法行為に基づき、この制限付き保証、またはいかなる製品の使用または性能に関連して発生した利益、データ、売上、利用の損失、またはビジネスの中断、または代替商品やサービスの提供コストを含む、またはそれに限定されない、直接的、間接的な、特殊な、偶発的な、深刻な、必然的な損害および損失に対して、そのような損害の可能性が事前に何らかの形で指摘されていたとしても、責任を負わないものとします。いかなる形態の行為に起因するものであれ、損害に対する AVer 責任は、責任が求められる特定の製品に対して使用者が AVer に支払った額を超えないものとします。

準拠法と使用者の権利

この保証は使用者に特定の法的権利を付与します。